ディジタルシステム コードレス電話機

取扱説明書

このたびは、ディジタルシステムコードレス電話機をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。

●お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

技術基準適合認証品

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

注意
この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

ご使用にあたってのお願い

- 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障・誤動作・不具合・停電などの外部要因によって、通信・録音などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- 本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄・譲渡・返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を取扱説明書の消去方法（☛P79 、85、88）にしたがって消去願います。
- 主装置や電話機を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。分解･改造は法律により禁止されています。
- この取扱説明書とともに、必ずご使用になっているネットコミュニティシステム取扱説明書をよく読み理解したうえでお使いください。
- 本商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。
- 使用済の電池パックなどは貴重な資源です。使用後は端子や接続コードが接触しないように、端子や接続コードにテープを貼るなどの処置をしてから当社のサービス取扱所などへお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。リサイクルの推進にご協力をお願いします。

⚠危険

●電池パックの充電は、本商品に装着し専用の充電台を使用して行ってください。その他の充電条件で充電すると、電池パックの液もれ・発熱・破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

●電池パックは、プラス（赤）・マイナス(黒)・温度監視（白）の向きが決められています。本商品に接続するときは、コネクタの向きを確かめて正しく差し込んでください。まちがった接続をすると、電池パックの液もれ、発熱・破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

●電池パックを単体では充電しないでください。電池パックの液もれ、発熱・破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

●電池パックは、本商品専用です。本商品以外の機器で使用すると、電池パックの液もれ・発熱・破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

●電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。電池パックの液もれ・発熱・破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

- 火の中に投入したり、加熱しない。
- 直接はんだ付けしない。
- プラス(赤)・マイナス(黒)・温度監視(白)を針金などの金属類で接触しない。
- 電池カバーを取り付けるとき、電池パックのコードを挟まない。
- 外装チューブ（被覆）をはがしたり、傷つけない。
- 水や海水につけたり、ぬらさない。
- 電池パックのプラス（赤）・マイナス(黒)をショートさせないでください。やけどの原因となることがあります。

●電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの液もれ、発熱・破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

●電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

●電池カバーが外れている状態で水などの液体がかかった場合は、すぐに本商品の使用をやめ、本体の電池パックを取り外し、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、電池パックの液もれ・発熱・破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

設置について

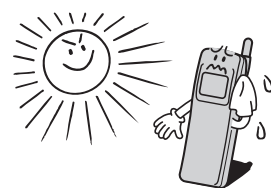
⚠警告

●本商品のそばに、水や液体の入った花びん・植木鉢・コップ・化粧品・薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。

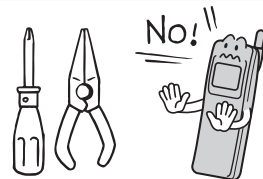
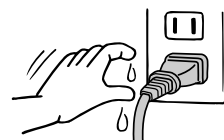
●本商品を次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

- 直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所。
- 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
- 湿気の多い場所や水·油·薬品などのかかる恐れがある場所。
- ごみやほこりの多い場所、鉄粉・有毒ガスなどが発生する場所。
- 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。

お取り扱いについて

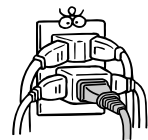
⚠警告

●電源は、AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態が発生した場合、そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品の充電をやめ、本体の電池パックを取り外し、充電台の電源プラグを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

●本商品を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検・調整・清掃・修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された主装置は修理に応じられない場合があります）。

●本商品や充電台に水をかけたり、ぬれた手での操作や電源プラグの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

⚠警告

●本商品のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、本商品の充電をやめ、本体の電池パックを取り外し、充電台の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●充電台の電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードが傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

●テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●充電台の電源コードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品の電源スイッチを切り、充電台の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

●万一、本商品を落としたり、本商品内部に水などの液体が入った場合、すぐに本商品の充電をやめ、本体の電池パックを取り外し、充電台の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

●電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。

●本商品から異常音がしたり、熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品の充電をやめ、充電台の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。

●充電台の電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントへ確実に差し込んでください。また、半年から１年に１回は、電源プラグを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠警告

●充電台の充電端子部分に指輪やクリップなどの金属類を置かないでください。金属類が熱くなり、火災・やけどの原因となることがあります。

●自動車などの運転中に、絶対に本商品を操作したり、見たりしないでください。交通事故の原因となることがあります。

●歩行中に、絶対に本商品を操作したり、見たりしないでください。転倒・交通事故などの原因となることがあります。

●本商品をねじったり、重い物をのせたり、強く押しつけたりして、圧迫しないでください。破損して、火災・やけど・けがの原因となることがあります。

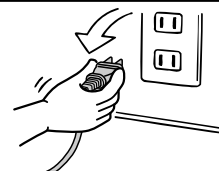
●本商品や電話機コード類を熱器具に近づけないでください。本商品や電話機コード類の被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●本商品は、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域では、電源を切るか持ち込まないでください。電子機器や医療機器に影響を与え事故の原因となることがあります。

●高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くで使用しないでください。電子機器が誤動作したりするなど影響が出る可能性があります。
また、使用を制限された場所での使用はお控えください。（ご注意いただきたい電子機器の例；補聴器、医療用電子機器など）医療機関が個々に使用禁止・持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

●満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカを装着している方がいる可能性がありますので、本電話機の電源を切るようにしてください。電波によりペースメーカの作動に影響を与える場合があります。

●近くに雷が発生したときは、すぐに充電台の電源プラグを電源コンセントから抜き、ご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。

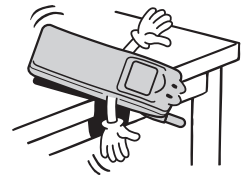
●充電台の電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。

●動いている機械の近くでイヤホンマイクを使用している場合は、コード類の機械への巻き込みに十分注意してください。大けがの原因になります。

●雷が激しい時は、電源コードに触れないでください。感電の原因となります。

●故障したまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに本商品の使用を中止し、本体の電池パックを取り外し、充電台の電源プラグを電源コンセントから抜いて、修理をご依頼ください。

設置について

●本商品は次のような場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。
- 振動、衝撃の多い場所。

お取り扱いについて

●本商品の上に重い物をのせないでください。バランスがくずれて落下やけがの原因となることがあります。

●充電台の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

●本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず充電台の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

●本商品や充電台をお手入れするときは、安全のため必ず充電台の電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

●本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。

●本商品は高度な技術によって構成された精密機器です。より安心して使用していただくためには、当社の定期点検をお受けすることをお勧めします。詳しくは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

●充電台を移動させる場合は、電源プラグを電源コンセントから確実に抜いた上で、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

●電話機のアンテナを誤って目にささないようにしてください。

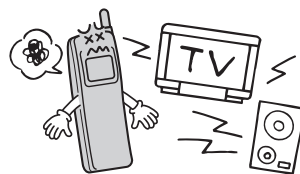
●本機から送話をする時は、通話ボタンを押し、ダイヤルしてから耳に近づけてください。通話ボタンを押さずに耳に近づけると、呼び出し音で耳を痛めることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

設置について

お願い

●本商品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ・スピーカ・テレビ・ラジオ・蛍光灯・インバータエアコン・電磁調理器など）。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、電話機などの設置場所を移動してみてください。

●硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

●金属製家具などの近くへの設置は避けてください。電波が飛びにくくなります。

●周囲の環境（壁・家具など）によっては使用範囲が狭くなります。

- 本商品の液晶ディスプレイ上で電波の強さを確認して通話できる範囲を確かめてください。

●本商品を汚れやすいところに置かないでください。故障の原因となることがあります。

●本商品を設置するときは、以下の点に留意してください。

- ディジタルシステムコードレス接続装置とディジタルシステムコードレス電話機間、またはディジタルシステムコードレス電話機どうし間は3m以上離してご使用ください。

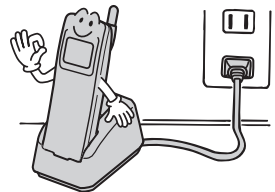
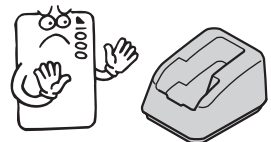
お取り扱いについて

●本商品をぬれたぞうきん・ベンジン・シンナー・アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

●本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

●停電のときは、停電用電話機を使用してください。自営モードでの本商品は使用できません。

●充電台の電源プラグを抜いたままにしないでください。

- 電池が消耗すると自営モードで本商品が使用できません。
- 本商品が充電できません。
- 本商品のクイック発信が設定されている場合、充電中に充電台の電源プラグが外れると、本商品はお話し中の状態となります（自営モードに限ります）。

●充電台にキャッシュカード・テレホンカードなどの磁気を利用したカード類を近づけないでください。カード類が使えなくなることがあります。

●本商品の電源はいつも「ON（入)」にしてください。「OFF（切)」になっていると、電話がかかってきても受けられません。お買い求め時は「OFF（切)」になっていますので、必ず「ON（入)」にしてからお使いください。

●本商品は充電を必要としますので、ご使用にならないときは、確実に充電台に置き、充電ランプの点灯を確認してください。

●ナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

●ナンバー・ディスプレイを利用して着信拒否を設定している場合は、緊急の件でも着信音は鳴りませんのでご注意ください。

●イヤホンマイクのプラグは、イヤホンマイク差込口にしっかりと差し込んでご使用ください。プラグがしっかりと差し込まれていないと、ハウリング音が発生することがあります。

●イヤホンマイクをご使用になる場合は、モデム通信を解除してからお使いください。

●本商品は、ディジタル信号を利用した通話を傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法がとられた場合には、第三者が故意または偶然に通話を受信することも考えられます。この点に十分配慮してご使用ください。

防水性能について

本電話機は、電池カバーをしっかり取り付けた状態で、IPX4(※)相当の防水性能(当社試験方法による)を有しています。下記の注意事項をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。

※ IPX4とは、JIS指定のノズルを使用し、30 ～ 50cmの距離から約10リットル/分の水を5分間あらゆる方向から散水しても、電話機としての機能を有することを意味します。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合、保証の対象外となります。

■本電話機をお使いになるときの注意事項について

本電話機の防水性能を維持するために、以下の点に注意してください。

●電池カバーをしっかり取り付けてください。電池カバーの間に細かいゴミ(微細な繊維・砂・毛髪など)が挟まると、電話機内部に水が入る原因となります。

●本電話機の防水性能は、常温の真水および水道水にのみ対応しています。

●常温の真水・水道水以外の液体(石けん・洗剤・入浴剤・温泉・熱湯・冷水・アルコールなど)をかけないでください。

●蛇口やシャワーなどの水流を当てないでください。

●受話口・送話口・スピーカ口の穴などに水滴がついたときは、水滴を取り除いてからお使いください。(☛P12)
また、先の尖った物でつつかないでください。

●本電話機が水にぬれた場合はそのまま放置せず、なるべく早く乾いたやわらかい布などでふき取ってください。
また、電池カバーがぬれた場合は、すぐに乾いたやわらかい布などでふき取ってから取り付けてください。ぬれたままの状態で使用すると、故障の原因となることがあります。

●本電話機がぬれているときや手がぬれている場合は、電池カバーの開閉をしないでください。

●ぬれたまま0℃以下になる場所に放置しないでください。

●結露防止のため、寒い場所から暖かい場所への移動は、本電話機が常温になってから行ってください。

●充電台、電池パックは防水対応ではありません。水がかかるような場所や湿気の多い場所では使用しないでください。

●本電話機を落としたり、強い衝撃が加わった場合は、防水性能を維持できない場合がありますので、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。

●ご使用状況にもよりますが、防水性能を維持するために、本体と電池カバーのゴムパッキンは、異常の有無にかかわらず1年を目安に交換することをお勧めいたします。ゴムパッキンの交換は有償にて承ります。詳しくは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

■ 本電話機を充電するときの注意事項について

充電台は防水対応ではありません。本電話機を充電するときには以下の点に注意してください。

●本電話機がぬれているときは絶対に充電しないでください。

●本電話機がぬれているときに充電する場合は、乾いたやわらかい布などでふき取ってから充電してください。

●充電台はぬれた手で触れないでください。

■ 電池カバーについての注意事項

電池カバーは、本電話機の防水性能を維持するための重要な部分となりますので、以下の点に注意してください。

●電池カバーを取り付ける場合は、ゴムパッキンが付いていることを確認してください。

●電池カバーをしっかり取り付けてください。電池カバーの間に細かいゴミ(微細な繊維・砂・毛髪など)が挟まると、電話機内部に水が入る原因となります。

●電池カバーは、ねじるなどして変形させたり、穴を開けたりしないでください。
すきまができると電話機内部に水が入る原因となります。

●電池カバーのすきまに物を差し込まないでください。電池カバーやゴムパッキンが損傷し、電話機内部に水が入る原因となります。

●電池カバーのゴムパッキンを取り外したり、傷つけたりしないでください。電話機内部に水が入る原因となります。

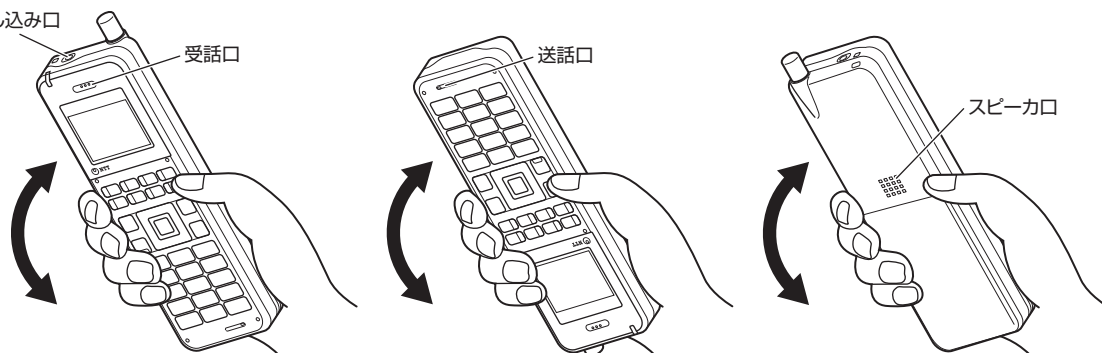
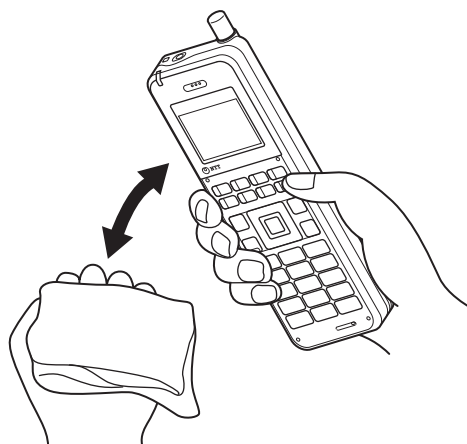
●電池カバーやゴムパッキンが変形したり損傷した場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

■水抜きについて

本電話機が水にぬれたときは、以下の手順で「イヤホンマイク差し込み口」「受話口」「送話口」「スピーカ口」の水抜きを行ってください。ぬれたまま使用すると通話不良の原因となったり、イヤホンマイク端子がショートする恐れがあります。

① 電源を切る。

② 本電話機の表面の水分を乾いたやわらかい布などでふき取る。

③ 本電話機をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る。

④ 「イヤホンマイク差し込み口」「受話口」「送話口」「スピーカ口」やボタン周りの水分を乾いたやわらかい布などを軽く押し当ててふき取る。

⑤ 常温でしっかり乾燥させる。

●「イヤホンマイク差し込み口」「受話口」「送話口」「スピーカ口」に綿棒などを押し込んだりしないでください。また、電話機の表面を布などでふく場合は、強く押し当てないでください。

●水分をふき取った後に電話機内部に水分が残っている場合は、使用中に水が染み出ることがありますのでご注意ください。

●ハンドストラップがぬれている場合は、ハンドストラップもしっかり乾燥させてください。

この取扱説明書の見かた

この取扱説明書は、ネットコミュニティシステムαNX ／αNXⅡシリーズ、ネットコミュニティシステムBX ／BXⅡシリーズの内線電話機としてご利用になれるディジタルシステムコードレス電話機の機能を説明しています。各主装置の取扱説明書とあわせて参照してください。
なお、各主装置の取扱説明書を参照する際、各主装置の機能ボタンおよび設定ボタンなどを使う操作は、次のとおり読み替えてください。

標準電話機の操作	ディジタルシステムコードレス電話機の操作
設定ボタン	[F]ボタン、[# 記号 マナー]
機能ボタン	[F]ボタン、[F]ボタン
短縮ボタン	[短縮ボタン] または [F]ボタン、[9 ラ WXYZ]
ワンタッチダイヤル（1 ～ 6）	[F]ボタン、[1 ア] ～ [6 ハ MNO]
再送ボタン	[F]ボタン、[7 マ PQRS]
クリアボタン	[F]ボタン、[8 ヤ TUV]
電話帳ボタン※	[F]ボタン、[電話帳]
メニューボタン※	[F]ボタン、[メニュー]
発信履歴ボタン※	[F]ボタン、[発信履歴]
着信履歴ボタン※	[F]ボタン、[着信履歴]

※ BX ／ BXⅡ-RM、BX ／ BXⅡ-MEでは、これらの操作はご利用できません。

この取扱説明書では、ご利用の主装置により異なるもの（ディジタルシステムコードレス電話機の液晶ディスプレイ表示や主装置に依存するボタン操作など）は、αNX ／αNXⅡ-L（主装置タイプ）、αNX ／αNXⅡ-L（サーバタイプ）に接続した場合を記述しています。
αNX ／αNXⅡ-Lには主装置タイプとサーバタイプがあります。
また、
ネットコミュニティシステムBX-ISDN用主装置／アナログ用主装置　：BX-ME
ネットコミュニティシステムBXⅡ-主装置／ ISDN用主装置／アナログ用主装置　：BXⅡ-ME
ネットコミュニティシステムBX-ISDN用主装置内蔵電話機／アナログ用主装置内蔵電話機　：BX-RM
ネットコミュニティシステムBXⅡ-ISDN用主装置内蔵電話機／アナログ用主装置内蔵電話機　：BXⅡ-RM
と以下記述します。

<例>個別（自己専用）保留

標準電話機の操作	ディジタルシステムコードレス電話機の操作
①機能ボタンを押す ②保留ボタンを押す →個別（自己専用）保留となる	①通話中に、[F]ボタンを2回連続で押す ②[保留]ボタンを押す →個別（自己専用）保留となる

この取扱説明書の見かた

この取扱説明書の構成

1 お使いになる前に

お使いになる前に知っておいていただきたいことをまとめています。

2 電話をかける／受ける（自営モード）

電話をかけたり、受けたりする基本機能や自営モード利用時の便利な機能について説明しています。

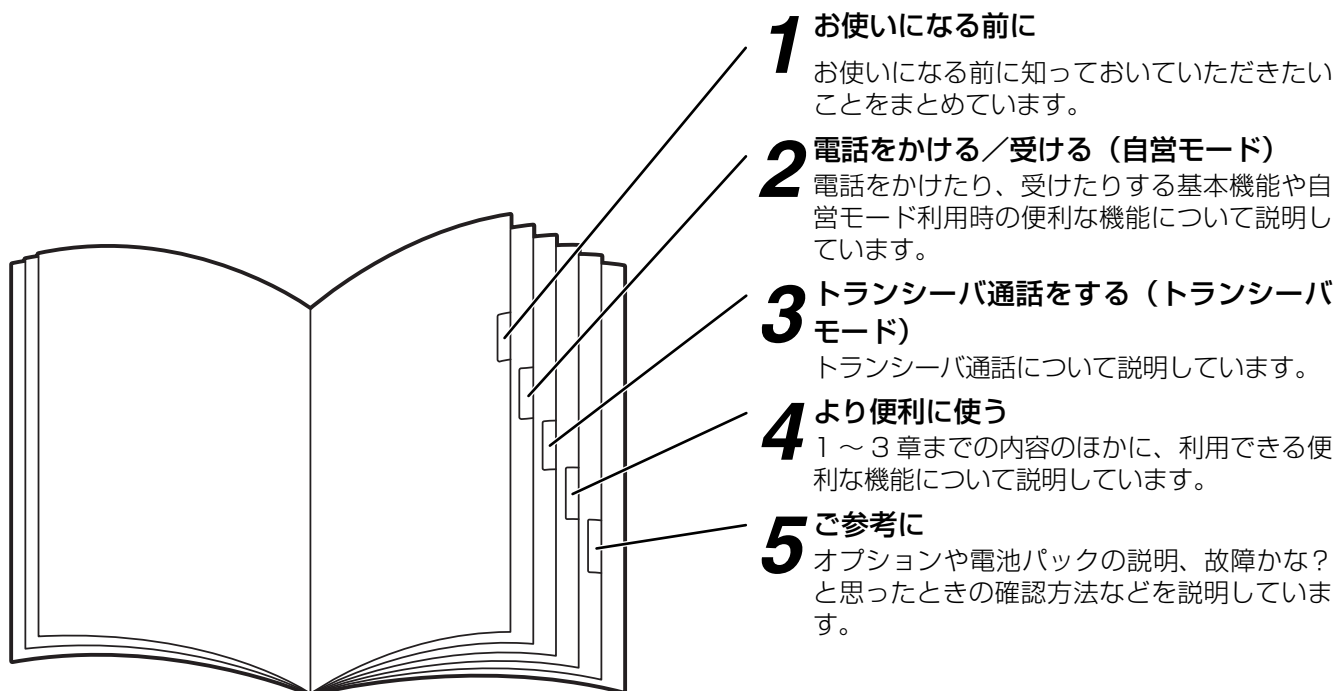
3 トランシーバ通話をする（トランシーバモード）

トランシーバ通話について説明しています。

4 より便利に使う

１～３章までの内容のほかに、利用できる便利な機能について説明しています。

5 ご参考に

オプションや電池パックの説明、故障かな？と思ったときの確認方法などを説明しています。

操作説明のページの構成

章タイトル
章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル
目的ごとにタイトルが付けられています。

操作手順説明
順番に操作を説明しています。
ディジタルシステムコードレス電話機で、クイック通話を設定していないときの状態で説明しています。

ワンポイント
知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明を示しています。

モードのマーク

自営モードでのみ利用できる機能です。

トランシーバモードでのみ利用できる機能です。

＊ モードのマークがないところは、すべてのモードで利用できます。

お願いまたはお知らせ

〈お願い〉
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。

〈お知らせ〉
この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

Q&A参照アイコン
第4章「Q&A」の同じアイコンの項に、説明や操作方法が書かれていることを示します。

＜例＞

3 会議招集番号（1 1【　　】）を押す。

特番（〜用の番号）
各種機能を利用できるようにする番号です。
特番は「システム設定」で変更することもできます。
この取扱説明書では、特番について次のように表しています。
＜例＞
会議招集番号（1 1【　　】）

お買い求め時の番号

「システム設定」で変更した場合の番号を記入してください。

目　次

3 トランシーバ通話をする

4 より便利に使う

目　次

5 ご参考に

特　長

1つのコードレス電話機を自営・トランシーバで活用

ディジタルシステムコードレス接続装置からの電波の届く範囲（エリア）で内線電話機として使用できます。（☛P39）

ディジタルシステムコードレス接続装置などを介さずディジタルシステムコードレス電話機どうしで直接トランシーバ通話ができます。（☛P63）

ご利用になれるネットコミュニティシステム・ビジネスホンのシリーズ

ディジタルシステムコードレス電話機は、ネットコミュニティシステムαNX／αNXⅡシリーズ、ネットコミュニティシステムBX／BXⅡシリーズでご利用になれます。

(平成27年3月現在)

半径100m程度なら持ち運びが自由

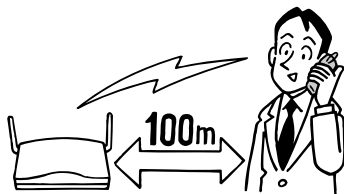
ディジタルシステムコードレス接続装置などから半径100m程度（見通し距離）まで、お話ししながら移動できます。

他の内線電話機と通話・転送可能（自営モード時）

自営モードのとき、他の内線電話機との間でお話ししたり（☛P55）、外の相手の方のお話しを他の内線電話機に取りつぐことができます。（☛P54）

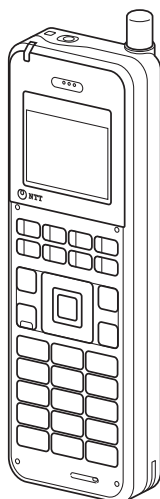
高音質・盗聴防止のディジタルコードレスホン

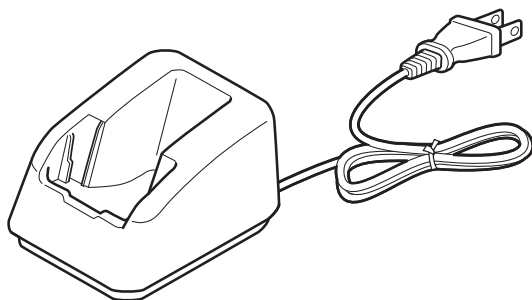
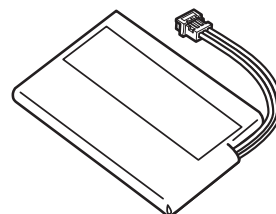
信号の送受信をディジタル信号で行っているため高音質です。また、盗聴の心配も少なくなります。

※第三者が特殊手段を講じた場合、盗聴されることがあります。

500件まで登録できる電話帳ダイヤル

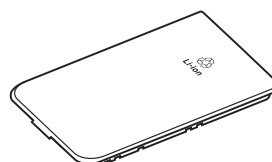
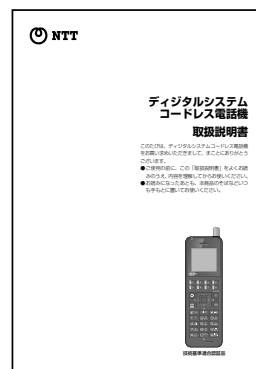
最大500件まで名前と電話番号を登録でき、簡単な操作で電話をかけることができます。（☛P71）

セットを確認してください

■本体

ディジタルシステムコードレス電話機
（1台）

■付属品

充電台（1台）
（コード：約1.5 m）

電池パック（1個）

電池カバー（1個）

壁掛け用木ネジ（2本）

ハンドストラップ（1本）

取扱説明書（1部）

●セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所へご連絡ください。

各部の名前

着信／充電ランプ
電話がかかってきたときに点滅します。充電中は赤色に点灯します。

外線ボタン
ボタン電話機と同様、システムの設定により、いろいろな機能を割り付けることができます。

メニューボタン
メニューを選択するときなどに使います。メニュー操作時には決定ボタンと同じはたらきをします。

内線ボタン
内線でお話しするときやいろいろな登録操作を行うときに使います。

クリアボタン
入力した電話番号や文字を訂正するときに使います。

通話／フックボタン
電話をかけるときや受けるときに使います。通話中は「フック」ボタンになります。

ダイヤルボタン
電話番号や文字を入力するときに使います。

送話口（マイク）

アンテナ

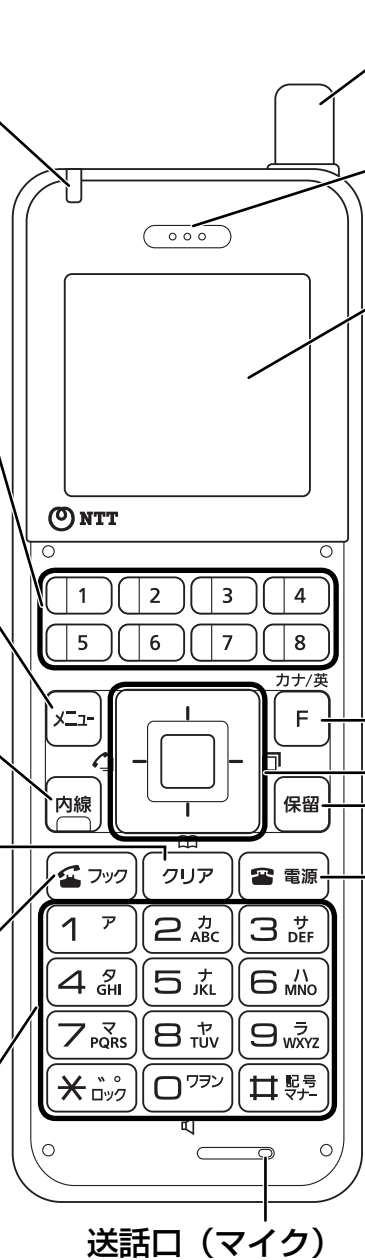
受話口

液晶ディスプレイ
ダイヤルモニタやいろいろな状態表示を行います。

F／カナ／英ボタン
他のボタンと組み合わせていろいろな機能を使ったり、文字の入力モードの選択に使います。

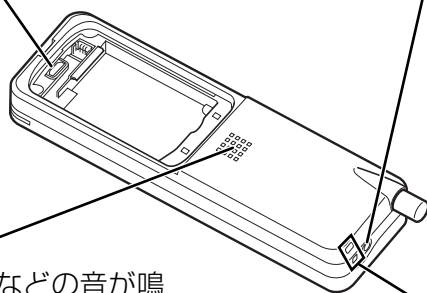
上下左右（短縮ボタン／電話帳ボタン／着信履歴ボタン／発信履歴ボタン）／決定ボタン
電話帳を使って電話をかけるときに使います。
発着信記録の確認に使います。受話音量、着信音量およびスピーカ音量を切り替えるときにも使います。

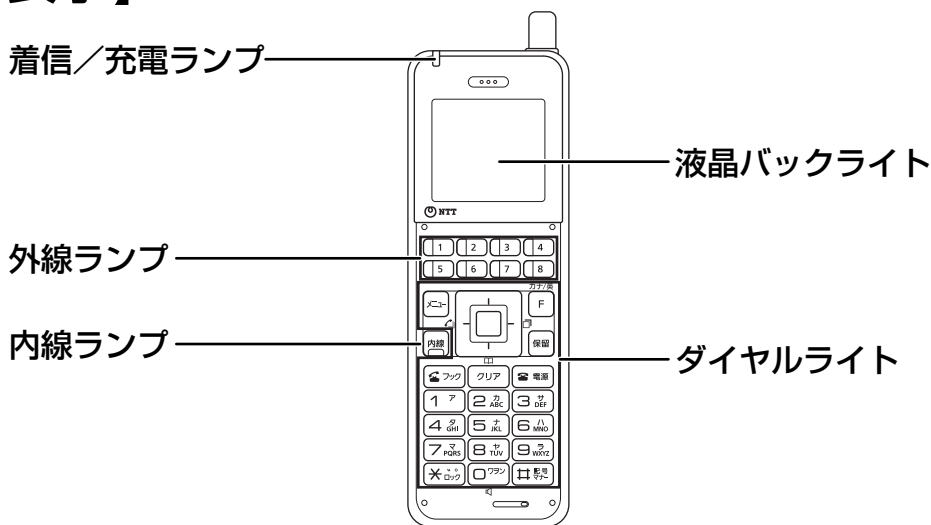
保留ボタン
電話を保留するときに使います。

切／電源ボタン
電源を入／切するとき、通話を終わるときに使います。

外部接続端子
保守用のため、通常はお使いにならないでください。

イヤホンマイク差込口
市販のイヤホンマイクを差し込んで使用します。(☛P118)

スピーカ口
着信音、警告（報）音などの音が鳴る部分です。

ハンドストラップ取付穴

※ ダイヤルボタン［5 ナ JKL］の部分に突起が付いていますが、この突起は目のご不自由な方の操作を容易にするためのものです。

【ランプ表示】

■ランプの表記について

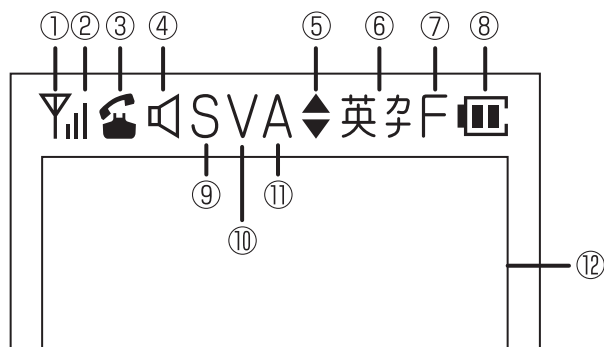
この取扱説明書では、ランプについて以下のように表します。

ランプの種類	ランプのつきかた（色）		電話機の状態
外線ランプ	自営モード	2回消える　（緑）	自分の電話機でお話し中のとき
		点灯　（赤）	他の内線電話機が外の相手の方とお話し中のとき
		点滅　（緑）	外線電話が転送されているとき
		点滅　（赤）※	電話がかかってきたとき
		遅い点滅　（赤）	他の内線電話機が保留中のとき
		2回点灯　（緑）	自分の電話機で外の相手の方とのお話しを保留中のとき
内線ランプ	自営モード	点滅　（赤）	内線で呼び出されているとき
		2回消える　（緑）	自分の電話機で内線通話をしているとき
		2回点灯　（緑）	自分の電話機で内線通話を保留中のとき
ダイヤルライト	点灯　（緑）		ダイヤルボタンなどの操作をしているとき
液晶バックライト	点灯　（白）		
着信／充電ランプ	消灯		充電がほぼ完了したとき
	点灯　（赤）		充電中のとき
	遅い点滅　1秒　（赤）		電池の異常などで充電できないとき
	遅い点滅　0.5秒（赤）		温度の異常などで充電できないとき
	点滅　（赤）		電話がかかってきたとき

※ 保留警報時、ダイヤルイン着信時などの場合は緑色になります（BX ／ BXⅡ-RMでは、ダイヤルイン着信時は赤色のままとなります）。

液晶バックライトかつダイヤルライトは、待ち受け状態でメニューボタン、[5]、[9]、決定ボタンの順に押すと、点灯を設定／解除できます。

各部の名前

【液晶ディスプレイの見かた】

■こんなときに表示されます

① Y	接続装置と通信が可能なことを表します。
② ıll	接続装置から受けている電波の強さを4段階で表します。 電話をかけるときはできるだけバーが2本以上立っているところで操作してください。
③ ☎	点滅：接続装置と制御信号のやり取りをしています。 点灯：電話中であることを表します。
④ ◁	スピーカがオンになっていることを表します。
⑤ ⬍	上下ボタンで中の項目をスクロールすることができるとき点灯します。
⑥ 英 カナ	電話帳登録などの際に入力モードがカナ入力／英字入力になっていることを表します。
⑦ F	Fボタンを使った操作を行っていることを表します。
⑧ 電池	電池残量の目安を3段階で表します。 電池中の表示がなくなり枠だけの表示になったら、できるだけ早めに充電するようにしてください。 電池残量警報状態になったときは電池の枠が点滅します。
⑨ S	着信音を鳴らさない設定になっていることを表します。
⑩ V	着信を振動で知らせる設定になっていることを表します。
⑪ A	時計アラームが設定されていることを表します。
⑫表示部	入力されたダイヤル番号や各種の状態を表示します。 次の表示で各種の状態をお知らせします。 ・「I」：着信できない。（☛P40） ・マナー：マナーモード。（☛P93） ・不在：未確認の着信記録あり。（☛P87）

●液晶ディスプレイに実際に表示される文字と一部異なる部分があります。
●表示部は、接続装置の種類によっては、10桁、12桁または16桁分の表示のみとなります。

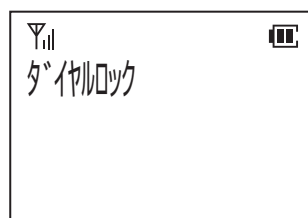
こんなときはご利用になれません

液晶ディスプレイの𝚈マークが消えているとき

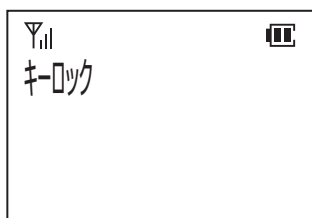
サービスエリア以外の場所や、サービスエリア内でも電波の弱い場所にいるために、電話をかけたり受けたりできません。

（対処方法）
𝚈マークが表示されるように電波状態のよい場所まで移動してください。

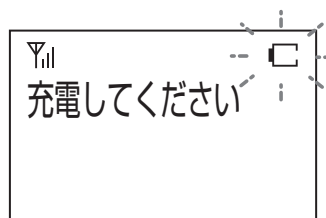
液晶ディスプレイに「ダイヤルロック」が表示されるとき

発信を禁止するダイヤルロックが設定されています。

（対処方法）
ダイヤルロックを解除してください。
<ダイヤルロックの解除>（☛P98）

液晶ディスプレイに「キーロック」が表示されるとき

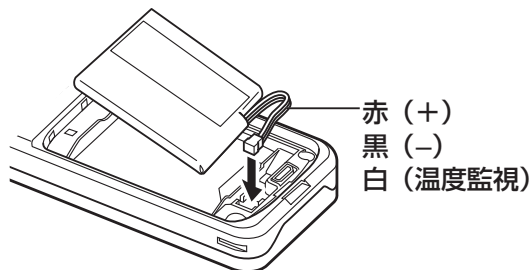
誤操作を防止するキーロックが設定されています。

（対処方法）
キーロックを解除してください。
<キーロックを解除する>（☛P95）

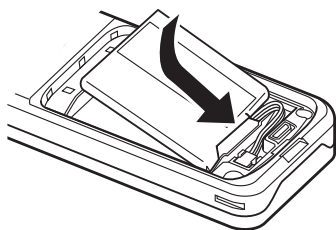
液晶ディスプレイの□マークが点滅しているとき

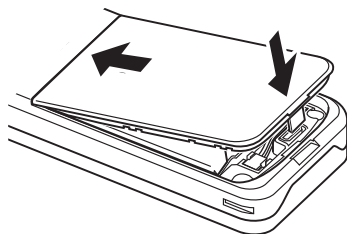
電池がなくなりかけています。このとき「ピ…ピ…ピ…」という電池残量警報音が鳴ります。

（対処方法）
電話機を充電してください。
<ディジタルシステムコードレス電話機を充電する>（☛P27）

ディジタルシステムコードレス電話機の準備をします

■ディジタルシステムコードレス電話機の準備をする

① 同梱の電池パックのコネクタを差し込む。

② 下部のクッションに押し当てながら、電池パックを電話機にセットする。

バッテリーケーブルを溝に押し込んでください。

③ 同梱の電池カバーを取り付ける。

電池カバーのツメを本体に差し込み、本体と電池カバーの間にすき間ができないように上から押さえます。
バッテリーケーブルをケースに挟まないように取り付けてください。

電源ボタンを電源が入るまで押す。

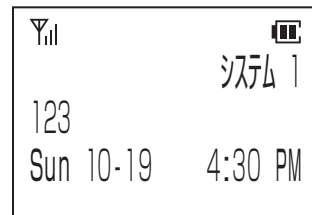
（5秒以上押しても電源が入らない場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。）

- 液晶ディスプレイに表示が出て「ピー」という音が鳴ります。

- 待ち受け中の液晶ディスプレイ表示は、モードにより異なりますが、設定により変更できます。

システム 1
123
Sun 10-19 4:30 PM

お願い

●電池カバーを取り付けるときは、ゴムパッキンが付いていることを確認してください。
●電池カバーをしっかり取り付けてください。電池カバーの間に細かいゴミ（微細な繊維・砂・毛髪など）が挟まると、電話機内部に水が入る原因となります。

ワンポイント

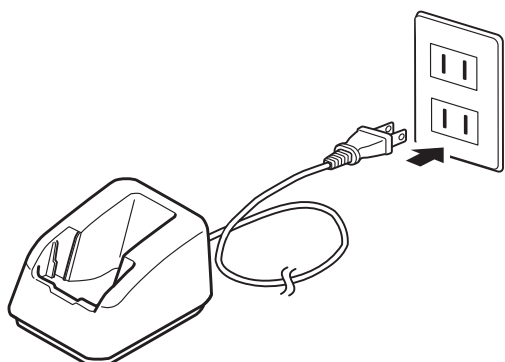
●電源を切るには電源ボタンを2秒以上押します。

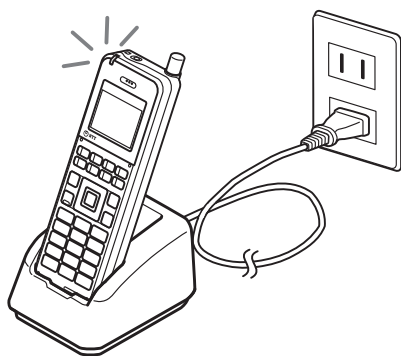
お知らせ

●電池を取り付けるときは、電池パックのコネクタを本体のコネクタにあわせた後、PUSHの場所を押して取り付けてください。

■ディジタルシステムコードレス電話機を充電する

充電台は必ず同梱されている専用の充電台をお使いください。

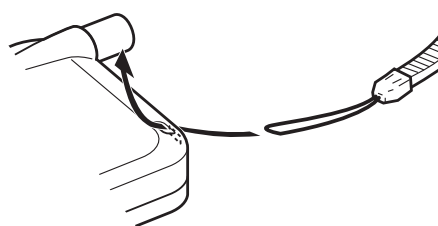
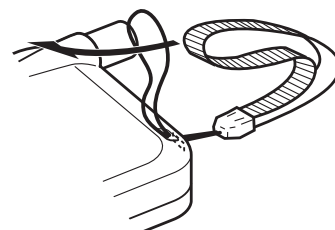
電源プラグを電源コンセント（AC100 V）に差し込む。

2 電話機を充電台に置き、9時間以上充電する。

充電台に置いたとき、充電ランプが赤く点灯することをご確認ください。

お知らせ

- ●電話機の充電ランプは充電がほぼ終了すると消灯します。
- ●充電中は充電台や電話機があたたかくなることがありますが故障ではありません。
- ●充電中は電話機の電源を入れることはできません。電話機を充電台から取りあげて電源を入れてください。
- ●電話機の電源が入っているときは、充電完了まで9時間以上かかる場合があります。

■ハンドストラップを取り付ける

携帯するとき、思わぬ落下を防ぐために手首に通してお使いいただくことをお勧めします。

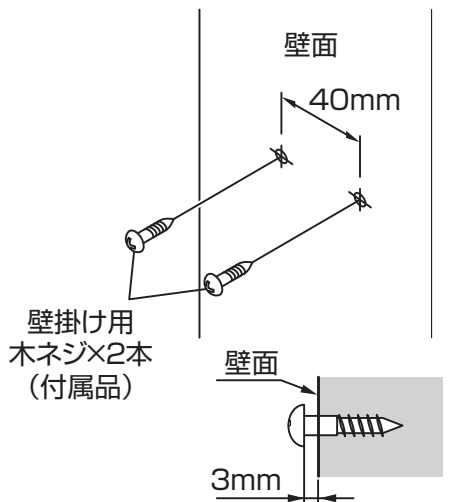
ハンドストラップの細いひもの輪の部分を、取り付け穴の上から通します。

2 出てきた細いひもの中に反対側のひもを通して引き絞ってください。

お願い

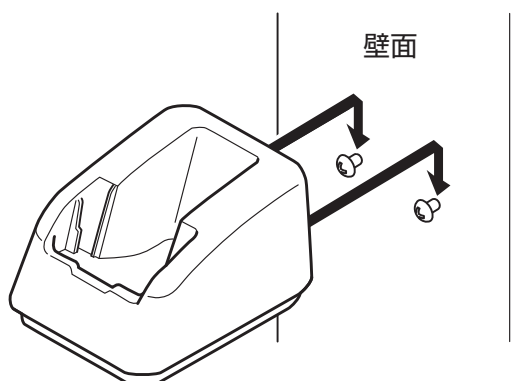
- ●はじめてお使いのときや、長い間お使いにならなかったときは、必ず9時間以上充電してください。
- ●電話機および充電台がぬれているときは、必ず乾いた布などでふき取ってから充電してください。
- ●充電は周囲の温度が5℃～ 35℃の間で行ってください。5℃～ 35℃以外のときは正しく充電できないことがあります。
- ●充電が正しく行われていないと、電話機の充電ランプが赤く点滅します。このときは電話機を充電台に正しく置き直してください。また、電池が古くなったり壊れたりしているときにも赤く点滅します。このときは電池パックの交換が必要です。当社のサービス取扱所にお申し付けください。
- ●電池残量が極めて少ない場合は、充電台に置いても充電ランプが点灯しないときがあります。電池が古くなったり壊れたりしていなければ、約5分ほどで充電ランプが点灯します。

ディジタルシステムコードレス電話機の準備をします

■充電台を壁掛け設置する

1. 壁掛け前に機器重量に十分耐えられるように、取り付け部分の強度を確保し、落下防止の対策を行ってください。

2. 壁掛け用木ネジ2本（付属品）を40mmの間隔をあけて、壁掛け用木ネジの頭部が壁面より3mm浮くように取り付けてください。

※ 壁が中空壁（石膏ボード等）の場合は、必要に応じて市販のプラスチックアンカ等を使用してください。

3. 充電台裏面の壁掛け用引っ掛け穴を壁に取り付けた木ネジにはめこみ、本体を下向きに引いて固定してください。

ディジタルシステムコードレス電話機は、ご利用に合わせてモードを切り替えることができます。

■モードを設定する

自営モード

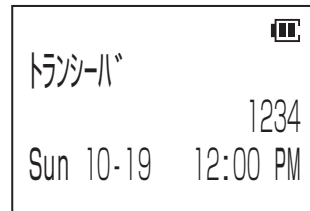
●自営で利用する場合

αNX／αNXⅡシリーズ、BX／BXⅡシリーズの内線ディジタルシステムコードレス電話機としてご使用になれます。ディジタルシステムコードレス接続装置などに接続されている電話回線を通じて電話をかけたり、受けたりすることができます。

トランシーバモード

●トランシーバ通話を利用する場合

トランシーバ通話は、同じ主装置に収容されているディジタルシステムコードレス電話機どうしでのみ、ご利用いただけます。
ディジタルシステムコードレス電話機を増設して、ディジタルシステムコードレス接続装置などを介さず、ディジタルシステムコードレス電話機どうしで直接お話しできます（通話料金はかかりません）。

トランシーバ
1234
Sun 10-19 12:00 PM

ワンポイント

●待ち受け中の液晶ディスプレイの表示について

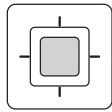
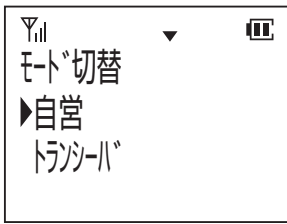
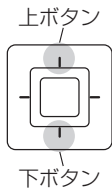
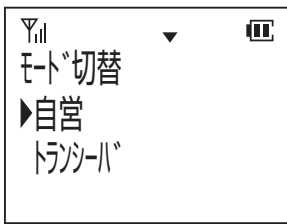
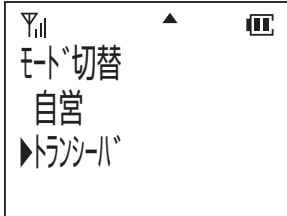
- 自営モード時
  「システム設定」で変更できます。
- トランシーバモード時の中段
  「使用者名を登録する」(☛P111)で登録された名称が表示されます。

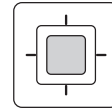
ディジタルシステムコードレス電話機の準備をします

■モードを切り替える

自営では内線電話機としてご利用になっていて、外出先でトランシーバモードに変更するような場合、以下の手順でモードを変更します。

1 待ち受け状態で、メニューボタン、1ア 3サDEF、決定ボタンの順に押す。

現在のモードが選択表示され、モードの切り替えが可能になります。

2 上下ボタンでご利用になるモードを選択する。

3 決定ボタンを押す。

「ピピ」という確認音が鳴り、表示されているモードが設定されます。

ワンポイント

●**電源を入れながらモードを選択するには**

電源を切った状態で下記の各ダイヤルボタンを押しながら、電源ボタンを電源が入るまで押します。
（5秒以上押しても電源が入らない場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。）

自営モード 2カABC
トランシーバモード 8ヤTUV

お知らせ

●待ち受け状態とは、発信・着信・通話などの操作を行っていない状態のことです。
このとき液晶ディスプレイには、登録された文字や数字が表示されています。

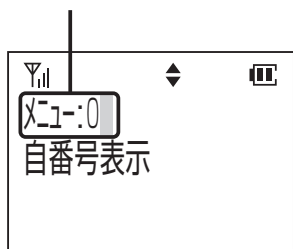
●トランシーバモードをご利用いただくためには、トランシーバモードの番号を設定してください。（☛P64）

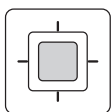
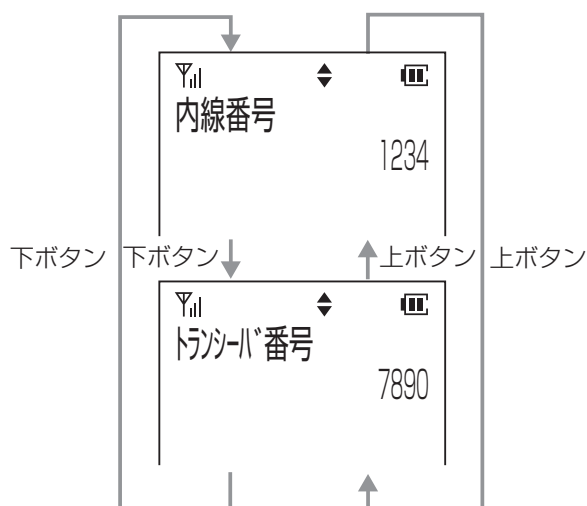
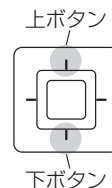
●動作モードの設定は、電源を切っても保持されます。

お客様の電話機に登録された電話番号を表示します。
電話番号には、内線電話番号・トランシーバ番号の2つがあります。

■電話番号を確認する

1 **待ち受け状態で、[メニュー]ボタン、[0 ワラン]の順に押す。**

メニューボタン＋機能番号で、機能番号に対応したメニューが表示されます。

2 **決定ボタンを押す。**

液晶ディスプレイに、そのときの動作モードにおける電話番号が表示されます。

3 **上下ボタンで次のモードの電話番号を表示する。**

お知らせ

- ●メニューボタンを押してから機能番号（メニュー番号）を入力すると、ディスプレイには機能番号に対応したメニューが表示されます。
- ●登録されていないモードの電話番号は表示されません。
- ●トランシーバ番号を設定していない場合は、トランシーバ番号は表示されません。

ディジタルシステムコードレス電話機の準備をします

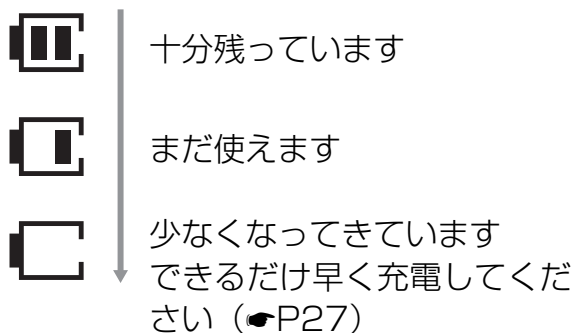
■電池残量を確認する

電池残量は､液晶ディスプレイに表示されます。電池残量はご利用いただける目安の表示です。

電池残量

十分残っています

まだ使えます

少なくなってきています
できるだけ早く充電してください（☛P27）

電池パックを交換したときは、必ず9時間以上充電してください。（☛P115）

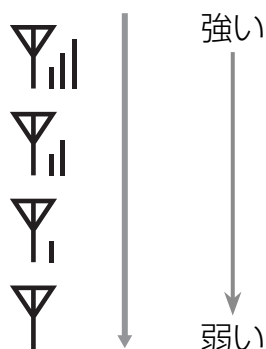
(電池の使用可能時間の目安)

条件		使用可能時間
自営モード	待ち受け	約320時間
	連続通話	約4.5時間
トランシーバモード	待ち受け	約100時間
	連続通話	約4.5時間

- 連続通話時間は常温での算出値です。周囲の温度や電池の状態によって変わります。
- 連続待ち受け時間は、接続装置や基地局等からの電波が安定している場所における算出値です。モードが異なる場合や電波の弱い場所、電波の届かない場所では電池の消耗が多いため､表中の数値とは異なります。
- 自営モードでは、外線ランプが消えている場合の時間です。外線ランプが表示されていると電池の消耗が多くなり、表中の数値とは異なります。
  数値は外線ランプの使用状態により変わります。

■電波の状態を確認する

電話をかけたり受けたりすることができる状態のときは、液晶ディスプレイに が表示されます。また4段階で電波の強さを表示します。

電波の強さ

- 電波の届かない場所（圏外）では、お話しすることはできません。（☛P120）
- 圏外では は表示されません。

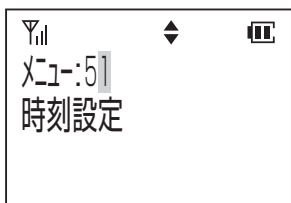
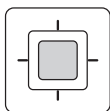
お知らせ

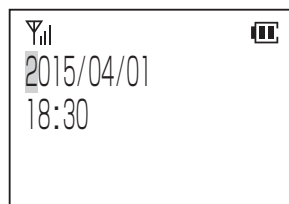
- トランシーバモードで待ち受け中のときは､ が表示されません。
- 自営モードでお使いのときは、ディジタルシステムコードレス接続装置から100 m以内の場所でも、周囲の環境によりお話しできない場合がありますので、あらかじめ内線通話によりお話しできる範囲を確認しておくことをお勧めします。
- 電波の弱い場所では、電話をかけたり受けたりすることができない場合があります。
- 電波の強い場所でも接続装置などに登録動作を行っているときは、電話をかけたり受けたりすることができない場合があります。

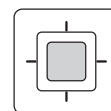
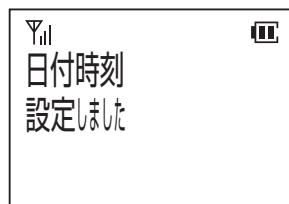
電話機の現在の時刻を設定します

電話機に内蔵された時計の日付と時刻を設定します。
(時刻を設定しないとアラーム機能などが正しく動作しません。)

1 **待ち受け状態で、[メニュー]ボタン、[5][1]の順に押す。**

「時刻設定」が表示されます。

2 **決定ボタンを押す。**

3 **現在の時刻を入力する。**

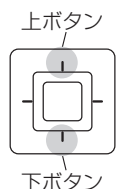
年→月→日→時刻の順に入力します。
左右ボタンでカーソルの移動ができます。
時刻は24時間制です。

4 **決定ボタンを押す。**

設定が正常に終了すると「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

お知らせ

- 電池が消耗した場合や電池交換時に時刻は初期状態に戻ります。その場合は再度設定してください。
- 時計の精度は1か月に±60 秒程度の誤差があります(常温(25 ℃)の場合)。

電話機の受話音量を調節します

通話中に受話音量を5段階に調節できます。

1 通話中に上下ボタンを2秒以上押す。

2 下ボタンを押すと↓の方向に、上ボタンを押すと↑の方向で順番に受話音量が変わる。

調節したあと、約3秒で元の表示に戻ります。

ワンポイント

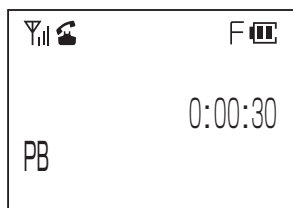
- ●設定した受話音量は、通話を終了しても保持されます。
- ●設定した受話音量は、電源を切っても保持されます。
- ●待ち受け状態でメニューボタン、[3 サ DEF][7 マ PQRS]、決定ボタンの順に押しても、受話音量を調節することができます。

お話し中にスピーカ受話に切り替えます

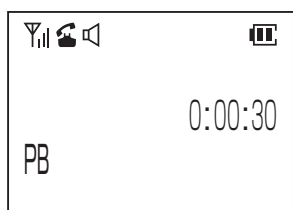
通話中にスピーカ受話に切り替えることができます。

■スピーカ受話に切り替える

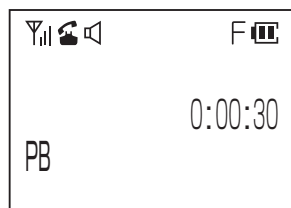
1 通話中に F ボタンを押す。

Yıl ☎ F
0:00:30
PB

2 ワンを押す。

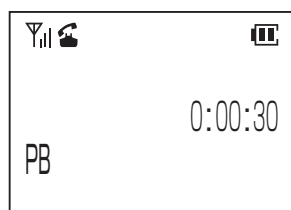
スピーカから相手の方の声が聞こえます。
「スピーカ」ピクトが点灯します。

Yıl ☎ ◁
0:00:30
PB

■通常の受話に切り替える

1 通話中に F ボタンを押す。

Yıl ☎ ◁ F
0:00:30
PB

2 ワンを押す。

通常の通話に切り替わります。
「スピーカ」ピクトが消灯します。

Yıl ☎
0:00:30
PB

- 手順1 ～ 2を行うたびに、スピーカ受話と、通常の通話が交互に切り替わります。
- 待ち受け中に F ボタン、ワン を押すとスピーカ受話による発信ができます。

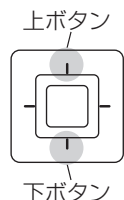
お知らせ

- スピーカ受話中、こちらの声は相手の方には聞こえません。
- スピーカ受話中、電源ボタンを押すと通話は切れます。
- 充電台に置いたままでもスピーカ受話できます。このとき、充電台から取りあげるとスピーカ受話は解除され通常の通話となります。
- 自営モードのとき、主装置のスピーカ受話機能とは関係ありません。
「ワンタッチオンフックダイヤル」を利用されている場合、待ち受け中に外線ボタンを押しても自動的にスピーカ受話にはなりません。

▶ *クイック通話が設定されているときは（クイック設定）（☞P113）*

電話機のスピーカ音量を調節します

通話中にスピーカ音量を5段階に調節できます。

1 通話中（スピーカ使用中）に上下ボタンを2秒以上押す。

2 下ボタンを押すと↓の方向に、上ボタンを押すと↑の方向で順番にスピーカ音量が変わる。

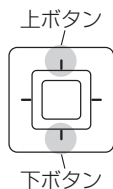
調節したあと、約3秒で元の表示に戻ります。

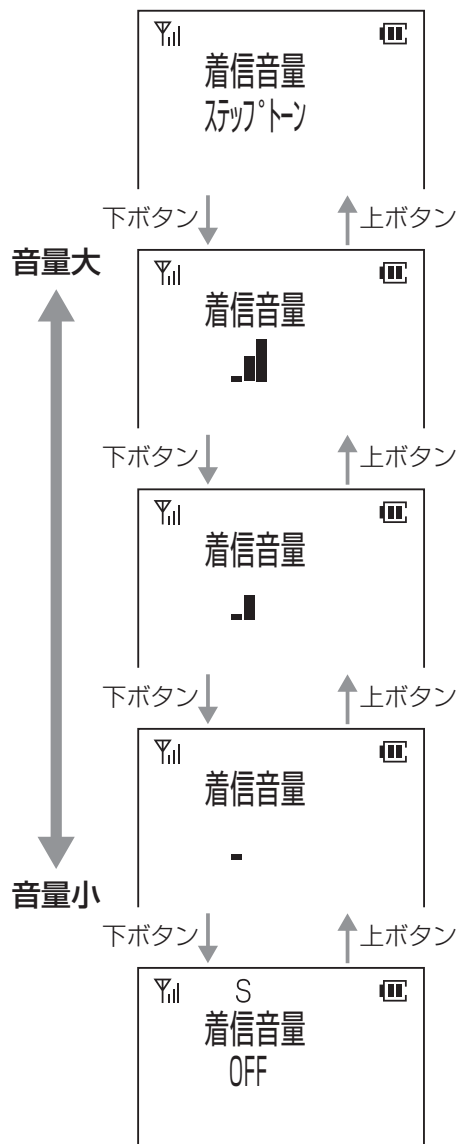
ワンポイント

- 設定したスピーカ音量は、通話を終了しても保持されます。
- 設定したスピーカ音量は、電源を切っても保持されます。
- 待ち受け状態でメニューボタン、［3］［8］、決定ボタンの順に押しても、スピーカ音量を調節することができます。

電話機の着信音量を調節します

電話がかかってきたことをお知らせする着信音の大きさを3段階に調節できます。また、着信音を鳴らないようにすることもできます。

1 待ち受け状態または着信中に、上下ボタンを2秒以上押す。

2 下ボタンを押すと↓の方向に、上ボタンを押すと↑の方向で順番に着信音量が変わる。

調節したあと、約3秒で元の表示に戻ります。

ワンポイント

- **ステップトーンとは**
  着信音量をステップトーンに設定すると、着信音が「小」→「中」→「大」と1段階ずつ大きくなります。
- **着信音量の設定は、通話を終了しても保持されます。**
- **着信音量の設定は、電源を切っても保持されます。**
- **待ち受け状態でメニューボタン、3、6、決定ボタンの順に押しても、着信音量を調節することができます。**

お知らせ

- 着信音が鳴らないように設定されているときは「S」ピクトが点灯します。
- バイブレーション着信が設定されているとき、ステップトーンは「バイブレーション」→「小」→「中」→「大」となります。
- マナーモード中はマナー設定で選択された動作に従います。
  ＜マナーモードの機能を設定する＞（☛P93）

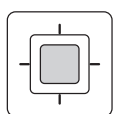
電話機のメニュー機能を操作します

各種機能の設定を選ぶにはメニュー番号で選ぶ方法と、メニューを検索して選ぶ方法があります。

■メニュー番号で選ぶには

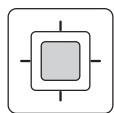
<例>メニュー番号52（クイック通話）の場合

1 **待ち受け状態で、[メニュー]ボタン、[5][2]、決定ボタンの順に押す。**

「クイック通話」の設定画面が表示されます。

2 **設定する内容を選択し、決定ボタンを押す。**

「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

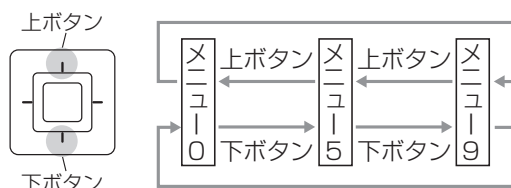
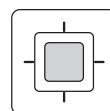
お知らせ

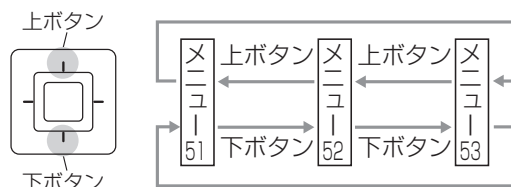
- 決定ボタンの代わりに[クリア]ボタンを押すとひとつ前の画面に戻ることができます。
- メニューの表示内容一覧は「設定できる機能の一覧」をご覧ください。（☛P114）
- [電源]ボタンを押すとメニュー機能の操作を中止することができます。

■メニューを検索して選ぶには

<例>メニュー番号52（クイック通話）の場合

1 **[メニュー]ボタンを押す。**

2 **上下ボタンで「メニュー 5」を選択する。**

メニューがスクロール表示されます。

3 **決定ボタンを押す。**

4 **上下ボタンで「メニュー 52」を選択する。**

メニューがスクロール表示されます。

5 **決定ボタンを押す。**

クイック通話の設定画面が表示されます。

6 **設定する内容を選択し、決定ボタンを押す。**

「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

自営モードとは

ディジタルシステムコードレス電話機は、主装置に接続されたディジタルシステムコードレス接続装置を利用して、外線ボタン付きの内線電話機としてご利用になれます。

使える事業所（システム）の数

ディジタルシステムコードレス電話機は、最大9か所の事業所（システム）に登録することができます。

事業所（システム）の選択

事業所（システム）を移動したときは自動的に設定が切り替わります。
2か所以上の事業所のサービスエリアが重なっているときは、P40の手順で事業所を選択します。

移動
ワンポイント

●**通話できる範囲から外れたときは**
「自営圏外通知」を設定すると、範囲外となったときには、音でお知らせします。

●**外線ボタンについて**
8個の外線ボタンを主装置の設定により、フレキシブルにご利用になれます。
また、外線の使用状況を赤または緑のランプでお知らせします。

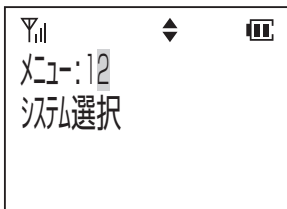
●**液晶ディスプレイ表示**
主装置のサービス機能をご利用になる場合は、それぞれのサービス機能の状態が表示されます。

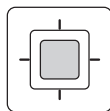
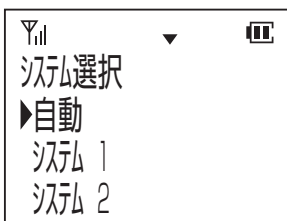
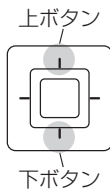
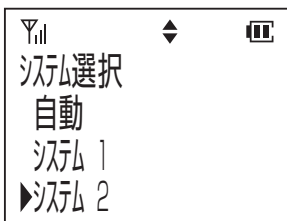
●**着信音の識別**
内線からの着信や、外からの着信を音で識別することができます。

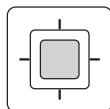
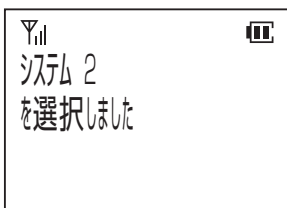
自営モードとは

事業所（システム）を選択する

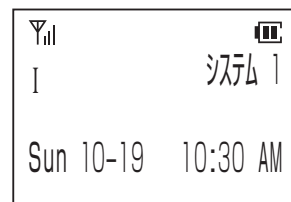
1 待ち受け状態で、［メニュー］ボタン、［1 ア］［2 カ ABC］の順に押す。

「システム選択」が表示されます。

2 決定ボタンを押す。

現在選択しているシステムの名称が表示されます。

3 上下ボタンで登録されているシステムを選択する。

4 決定ボタンを押す。

「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

お知らせ

- 「Ｉ」が表示されているときはディジタルシステムコードレス接続装置がビジー等の理由で、着信ランプ表示や液晶ディスプレイの表示ができないことを示しています。
  ただし、発信は通常のとおり利用できます。

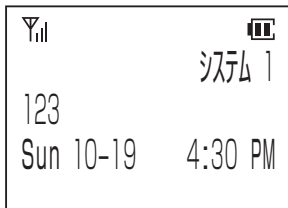
I　システム 1
Sun 10-19　10:30 AM

最適な接続装置を選択します

ディジタルシステムコードレス電話機は、自動的に接続装置を選択して使用できますが、待ち受け状態で移動したとき、必ずしも最も距離の近い接続装置を選択しているとは限りません。このようなときは、以下の操作で最適な接続装置を選択し、接続し直すことができます。

＜例＞ すぐ近くに接続装置があるにもかかわらず「電波レベル」が低い場合。

1 待ち受け状態で、F ボタンを1秒以上押す。

「アンテナ」が点滅して「電波レベル」が上がります。

```
                システム 1
123
Sun 10-19     4:30 PM
```

最適な接続装置の選択が完了します。

お知らせ

●上記手順を行っても、最寄りの接続装置がふさがっている場合や、電波の状態などで、接続が失敗することもあります。

電話をかけるには（外線発信）

外線ボタンを押してかける方法のほかに、押した電話番号を確認してからかける方法（プリセットダイヤル）があります。

外線ボタンを押してかける

1 外線ボタンを押す。

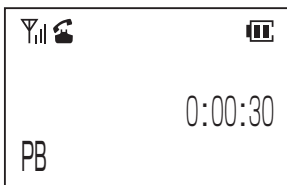
「ツー」という発信音を確認してください。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

2 電話番号をダイヤルボタンで押す。

電話番号が表示されます。

3 相手の方が出たら、お話しする。

通話時間が表示されます。

0:00:30
PB

4 お話しが終わったら、［電源］ボタンを押す。

ワンポイント

- **主装置側で「発信自動捕捉」を設定しているときは**
  ［フック］ボタンを押すだけで、外線の発信ができます。
- **相手の方の声が聞き取りにくいときは（受話音量）（☞P34）**

お知らせ

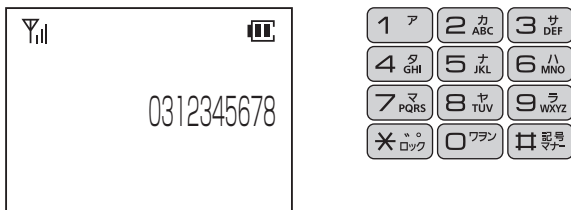
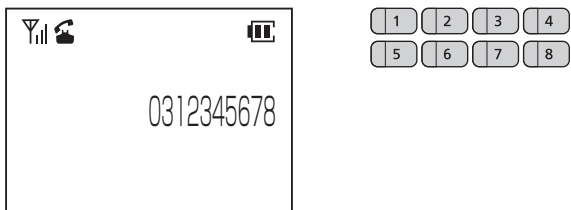
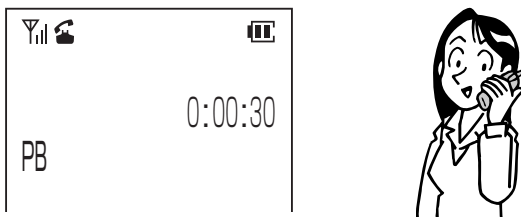
- 外線ランプが赤く点灯しているときは、他の内線電話機が外の相手の方とお話し中です。外線ボタンを押しても電話をかけることはできません。

▶ *クイック通話が設定されているときは（クイック通話）（☞P113）*
▶ *主装置側で「プリセレクションサービス」を利用されているときは（☞P113）*
▶ *PBXなどに接続しているときは（☞P113）*

▶ *液晶ディスプレイに表示される通話時間は（☞P113）*

電話番号を確認してからかける（プリセットダイヤル）

外線ランプや内線ランプが消えていることを確認します。

1 **電話番号をダイヤルボタンで押す。**
電話番号が表示されます。

2 **外線ボタンを押す。**
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

3 **相手の方が出たら、お話しする。**
通話時間が表示されます。

4 **お話しが終わったら、[電源]ボタンを押す。**

ワンポイント

●**プリセットダイヤルの場合、電話番号を間違えたときは電話番号を表示しているときに[クリア]ボタンを押すと1桁削除されます。**
電話番号を全部消したいときは[電源]ボタンを押してください。

●**続けて電話をかけるときは**
次のどちらかの方法で、通話をいったん切ってから再発信することができます（切断再捕捉）。
- [フック]ボタンを押す
- [F]ボタン、[F]ボタン、[フック]ボタンの順に押す

どちらの方法を使うかは主装置側で設定します。

お知らせ

●プリセットダイヤルは、32桁までダイヤルできます。
[フック]ボタン以外を利用した発信の際には、29桁までしかダイヤルできません。

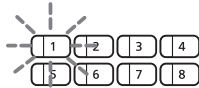
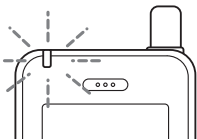
●ダイヤル操作を途中でやめると、約6秒で液晶ディスプレイは待ち受け状態の表示に戻ります。

▶ *クイック通話が設定されているときは（クイック通話）（☞P113）*
▶ *主装置側で「プリセレクションサービス」を利用されているときは（☞P113）*
▶ *PBXなどに接続しているときは（☞P113）*

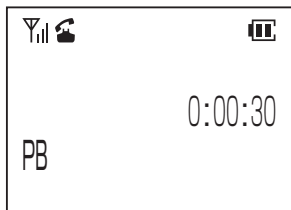
▶ *液晶ディスプレイに表示される通話時間は（☞P113）*

電話がかかってきたときは（外線着信）

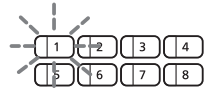
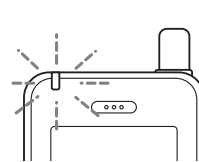
外から電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプと外線ランプが赤く点滅します。また、主装置によっては、着信時に相手の方の電話番号が表示されます。

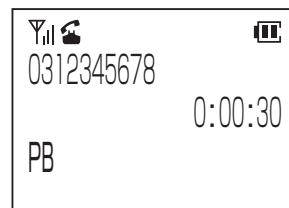
手に持ってお話しする

着信音が鳴ったら･･･

1 [フック] ボタンを押して、相手の方とお話しする。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。
通話時間が表示されます。

2 お話しが終わったら、[電源] ボタンを押す。

電話番号を確認してから受ける

着信音が鳴ったら･･･

1 電話番号を確認し、[フック] ボタンを押して、相手の方とお話しする。

通話時間が表示されます。

2 お話しが終わったら、[電源] ボタンを押す。

ワンポイント

- **着信音が鳴っているときに [電源] ボタンを押すと、その着信に関してのみ着信音およびバイブレーションを止めることができます。**
- **[フック] ボタン以外のボタンを押して電話に出るには（エニーキー応答）**
  「エニーキー応答」が設定されていて、かつ主装置の設定で着信自動応答が設定されていると、電話がかかってきたときにダイヤルボタンを押して電話に出ることができます。（☛P106）
- **着信音の音量を変えるには（☛P37）**
- **相手の方の声が聞き取りにくいときは（受話音量）（☛P34）**
- **着信音を変えるには（☛P91）**
- **着信を振動で知らせるには（バイブレーション着信）（☛P92）**

お知らせ

- ディジタルシステムコードレス電話機のモードが異なっていたり、電源を切っていると着信しません。
- ダイヤルイン着信などの外線ランプは、緑点滅します。
  （BX ／ BXⅡ-RMでは、ダイヤルイン着信時は赤点滅のままとなります。）
- 主装置の設定によっては、[フック] ボタンを押すだけではかかってきた電話に出ることができません。点滅している回線ボタンを押すと、相手の方とお話しできます。
- 相手の方の電話番号がディジタルシステムコードレス電話機の電話帳に登録されている場合、相手の方の名前も表示されます。

▶ *液晶ディスプレイに表示される通話時間は（☛P113）*

お知らせ

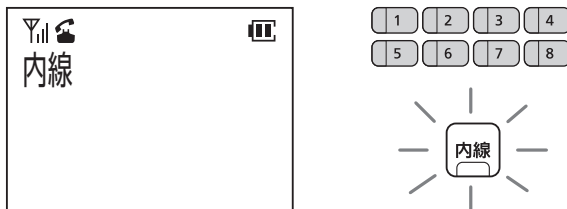
●BX／BXⅡ-RMでは、BX／BXⅡ-RM（主電話機）の電話帳またはワンタッチダイヤルに登録された名称データに、全角文字と半角文字を混在して登録されていると、本ディジタルシステムコードレス電話機での名称表示が正しく表示されません。BX／BXⅡ-RM(主電話機）では、全角文字と半角文字を混在させずに登録してください。

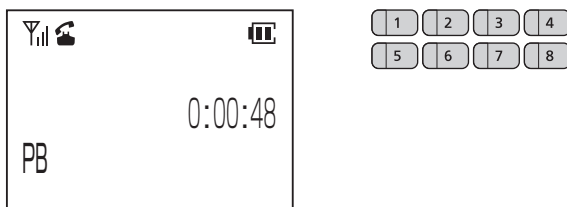
相手の方に待っていただくには（保留）

お話しを一時中断して、相手の方に待っていただくときは保留機能をご利用ください。相手の方へは保留メロディが流れます。
保留には、下記の3通りがあります。
- 共通保留　保留にしたあと、他の内線電話機でも電話に出ることができます。
- 個別保留　保留にしたあと、他の内線電話機では電話に出られません。
- パーク保留　同じパーク保留ボタンを設定した内線電話機で電話に出ることができます。

普通に保留する（共通保留）

お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。

1 保留ボタンを押す。
相手の方には保留メロディが流れます。
外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

2 お話しに戻るときは、保留にしている外線ボタンを押す。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。
通話時間が表示されます。

3 相手の方とお話しする。

ワンポイント

●**他の電話機で保留を解除するには（口頭転送）**
保留にしている外線ボタンを押すと、他の内線電話機で電話に出ることができます。
●**内線通話を保留するには**
①内線通話中に保留ボタンを押す
②お話しに戻るときは、内線ボタンを押す

お知らせ

●索線ボタンに登録されている外線を保留にしたときは、個別保留となります（BX ／ BXⅡ-RMでは、索線ボタンは設定できません）。
●主装置の設定により、長時間保留のままにすると保留警報音が鳴ります（長時間保留警報）。

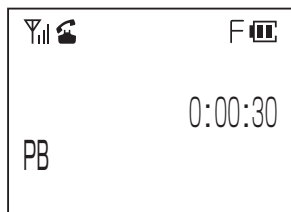
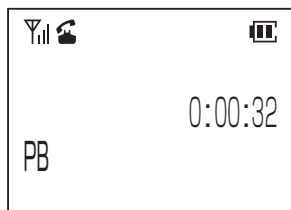
他の電話機で取れないように保留する（個別保留）

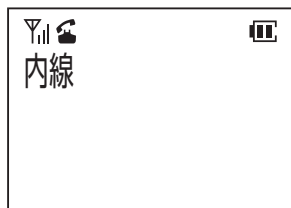
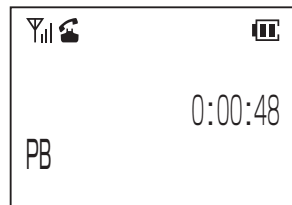
お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。

1 F ボタンを押す。

F
0:00:30
PB

2 F ボタンを押す。

0:00:32
PB

3 保留 ボタンを押す。

相手の方には保留メロディが流れます。
外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

4 お話しに戻るときは、保留にしている外線ボタンを押して、相手の方とお話しする。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。
通話時間が表示されます。

0:00:48
PB

1 2 3 4
5 6 7 8

ワンポイント

●内線通話を保留するには
①内線通話中に 保留 ボタンを押す
②お話しに戻るときは、内線 ボタンを押す

お知らせ

●「個別保留」の手順1では、F ボタンを押したあと、6秒以内に次のボタンを押してください。6秒以上経過すると F ボタンの効果がキャンセルされます（「F」ピクトの表示が消えます）。
●BX ／ BXⅡ-RMでは、個別保留はご利用できません。共通保留のみご利用できます。

相手の方に待っていただくには（保留）

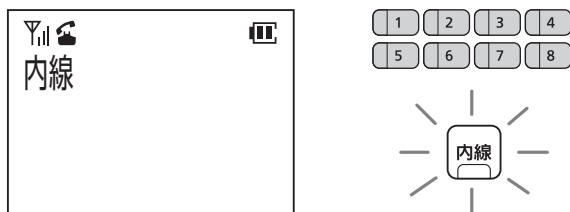
同じパーク保留ボタンを設定した電話機で取れるように保留する（パーク保留）

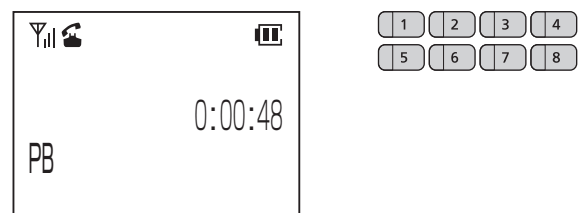
お話し中に「システム設定」した「パーク保留ボタン」を押すと、パーク保留となります。
同一パーク保留グループ内の電話機であれば、保留中の内線／外線に応答することができます。

<例>外の相手の方とお話し中のとき

お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。

1 パーク保留ボタンを押す。

相手の方には保留メロディが流れます。
パーク保留ランプが周期的に2回点灯します。
外線ランプが点灯します。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

2 お話しに戻るときは、パーク保留ボタンを押して、相手の方とお話しする。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。
通話時間が表示されます。

ワンポイント

●内線通話を保留するには
①内線通話中に［保留］ボタンを押す
②お話しに戻るときは、［内線］ボタンを押す

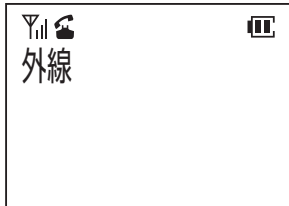
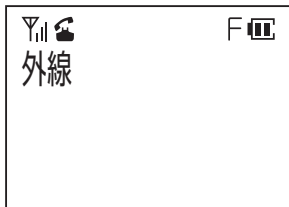
お知らせ

●パーク保留ボタンは、主装置の設定により外線ボタンに設定できます（BX ／ BXⅡ-RMでは、パーク保留ボタンは設定できません）。

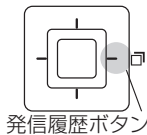
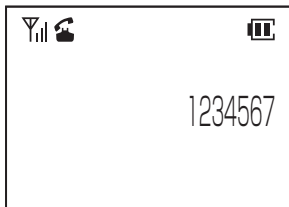
同じ相手にかけ直すには（再ダイヤル）

最後にかけた相手の方に、簡単にかけ直すことができます（再ダイヤル）。
相手の方がお話し中などでかけ直すときに便利です。

1 外線ボタンを押す。

「ツー」という発信音を確認してください。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

2 F ボタンを押す。

3 発信履歴ボタンを押す。

最後にかけた電話番号が表示され、自動的にダイヤルされます。

（BX／BXⅡ-MEでは フ を押します）

4 相手の方が出たら、お話しする。

通話時間が表示されます。

ワンポイント

●**PBXに接続しているときは**
発信時に、自動的に外線発信番号とポーズ（待ち時間）が入ります（自動ポーズ）。

●**電話番号を確認してから再ダイヤルするには（プリセットダイヤル）**
① 待ち受け状態で、F ボタンを押す
② 発信履歴ボタンを押す
③ 上下ボタンでかけたい相手の方を選択して、外線ボタンを押す

●**さらに前にかけた相手の方にかけるには（スタッキングダイヤル）(BX／BXⅡ-MEのみ)**
① 待ち受け状態で、F ボタンを押す
② フ を押す
③ F ボタン、フ を繰り返して、かけたい相手の方の電話番号が表示されたら、外線ボタンを押す

●**ディジタルシステムコードレス電話機でダイヤルを記憶して電話をかけるには**（☛P84）
ディジタルシステムコードレス電話機が独自にダイヤルを記憶することもできます。
① 待ち受け状態で、発信履歴ボタンを押す
② 上下ボタンでかけたい相手の方の電話番号を表示させ、外線ボタンを押す

お知らせ

● F ボタンを押したあと、6秒以内に次のボタンを押してください。6秒以上経過すると F ボタンの効果がキャンセルされます（「F」ピクトの表示が消えます）。
●記憶されるダイヤルの数は、接続されている主装置により異なります。接続されている主装置の取扱説明書をご覧ください。
●接続されている主装置がαNX／αNXⅡ-M、αNX／αNXⅡ-S、BX／BXⅡ-MEの場合は、内線への再ダイヤルはご利用できません。
●BX／BXⅡ-RMでは、内線および外線への再ダイヤルはご利用できません。

▶ *主装置側で「プリセレクションサービス」を利用されているときは（☛P113）*

ワンタッチダイヤルを登録するには

よくかける相手の電話番号をワンタッチダイヤルに登録しておくと、簡単に電話をかけることができます。

αNX ／αNXⅡ-Lの場合

1 フックボタンを押す。
「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

2 Fボタンを押す。

3 ＃記号マナーボタンを押す。

内線

4 Fボタンを押す。

F
内線

5 ワンタッチダイヤルの番号1ア～6ハMNOを押す。

6 登録する電話番号をダイヤルボタンで押す。
電話番号が表示されます。

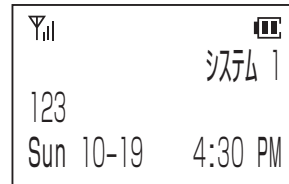
12345

7 Fボタンを押す。

F
12345

8 手順5で押したワンタッチダイヤルの番号（1ア～6ハMNO）を押す。

9 電源ボタンを押す。

ｼｽﾃﾑ 1
123
Sun 10-19 4:30 PM

ワンポイント

●登録した番号を変更するには、最初から登録し直してください。

お知らせ

●Fボタンを押したあと、6秒以内に次のボタンを押してください。6秒以上経過するとFボタンの効果がキャンセルされます（「F」ピクトの表示が消えます）。
●ワンタッチダイヤルは、電話番号を6か所まで登録することができます。

αNX／αNXⅡ-S、αNX／αNXⅡ-M、BX／BXⅡ-MEの場合

ここでは、αNX／αNXⅡ-S、αNX／αNXⅡ-M、BX／BXⅡ-MEに接続した場合の液晶ディスプレイ表示を例に記述しています。

1 **［フック］ボタンを押す。**

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

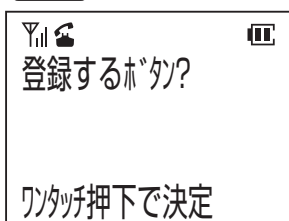
2 **［F］ボタンを押す。**

3 **［♯ 記号 マナー］を押す。**

内線
設定

（BX／BXⅡ-MEでは「設定」の表示はありません）

4 **［F］ボタンを押す。**

5 **ワンタッチダイヤルの番号［1 ア］～［6 ハ MNO］を押す。**

（BX／BXⅡ-MEでは「ワンタッチ押下で決定」の表示はありません）

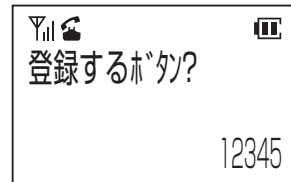
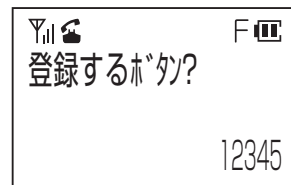
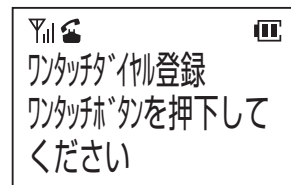
6 **登録する電話番号をダイヤルボタンで押す。**

電話番号が表示されます。

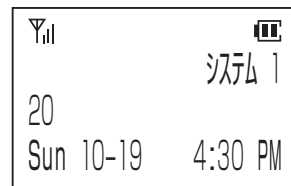
7 **［F］ボタンを押す。**

F
登録するﾎﾞﾀﾝ?
12345

8 **手順5で押したワンタッチダイヤルの番号（［1 ア］～［6 ハ MNO］）を押す。**

ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ登録
ﾜﾝﾀｯﾁﾎﾞﾀﾝを押下して
ください

（BX／BXⅡ-MEでは「ワンタッチボタンを押下してください」の表示はありません）

9 **［電源］ボタンを押す。**

ｼｽﾃﾑ 1
20
Sun 10-19　4:30 PM

（BX／BXⅡ-MEでは「内線番号」と「内線名称」が表示されます）

ワンポイント

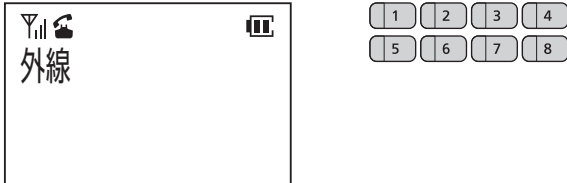
- **登録した番号を変更するには、最初から登録し直してください。**
- **BX／BXⅡ-RMでは、ワンタッチダイヤル（［F］＋［1 ア］～［6 ハ MNO］）の代わりに外線が割り当てられていない外線ボタンを使用します。**

お知らせ

- ［F］ボタンを押したあと、6秒以内に次のボタンを押してください。6秒以上経過すると無効となり「F」ピクトの表示が消えます。
- ワンタッチダイヤルは、電話番号を6か所まで登録することができます。

ワンタッチダイヤルで電話をかけるには

ワンタッチダイヤルでかける

1 外線ボタンを押す。

「ツー」という発信音を確認してください。外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

1 2 3 4
5 6 7 8

2 [F] ボタンを押す。

F
外線

3 ワンタッチダイヤルの番号 [1 ア] ～ [6 ハ MNO] を押す。

登録されている電話番号が表示され、自動的にダイヤルされます。

4 相手の方が出たら、お話しする。

通話時間が表示されます。

ワンポイント

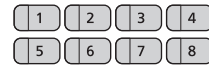
●BX ／ BXⅡ-RMでは、ワンタッチダイヤル（[F]＋[1 ア]～[6 ハ MNO]）の代わりに外線が割り当てられていない外線ボタンを使用します。

電話番号を確認してからかける（プリセットダイヤル）

1 待ち受け状態で、[F] ボタンを押す。

F
システム 1
123
Sun 10-19 4:30 PM

2 ワンタッチダイヤルの番号 [1 ア] ～ [6 ハ MNO] を押す。

登録されている電話番号が表示されます。

3 外線ボタンを押す。

4 相手の方が出たら、お話しする。

通話時間が表示されます。

お知らせ

●[F] ボタンを押したあと、6秒以内に次のボタンを押してください。6秒以上経過すると [F] ボタンの効果がキャンセルされます（「F」ピクトの表示が消えます）。

▶ *主装置側で「プリセレクションサービス」を利用されているときは（☞P113）*

短縮ダイヤルで電話をかけるには（短縮ダイヤル）

主装置に設定した共通短縮ダイヤルを利用して、ディジタルシステムコードレス電話機から電話をかけることができます。

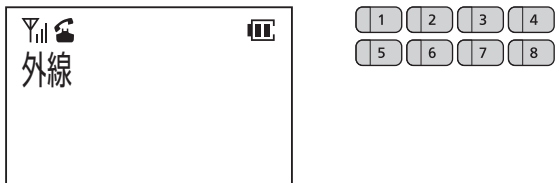
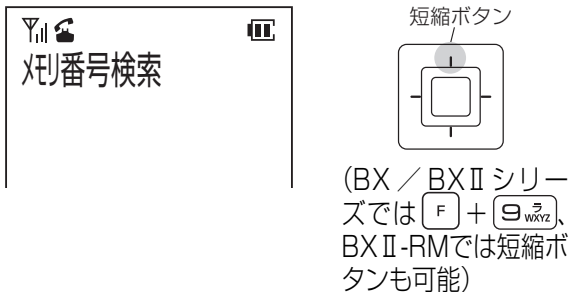
共通短縮ダイヤルでかける

1 外線ボタンを押す。

「ツー」という発信音を確認してください。外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

2 短縮ボタンを押す。

短縮ボタン

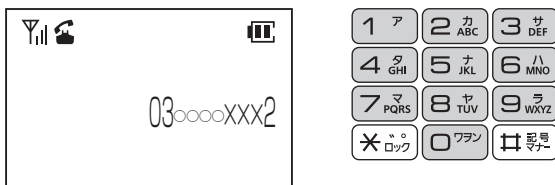
（BX／BXⅡシリーズでは F ＋ 9、BXⅡ-RMでは短縮ボタンも可能）

3 共通短縮ダイヤルの短縮番号を押す。

登録されている電話番号が表示され、自動的にダイヤルされます。

4 相手の方が出たら、お話しする。

通話時間が表示されます。

ワンポイント

●**共通短縮ダイヤルについて**

共通短縮ダイヤルは、主装置のメモリ検索機能を利用して発信します。なお、個別短縮ダイヤルについても同様にご利用になれます。

共通短縮ダイヤルの電話番号を確認してから電話をかける（プリセットダイヤル）

1 待ち受け状態で、短縮ボタンを押す。

（BX／BXⅡシリーズでは F ＋ 9、BXⅡ-RMでは短縮ボタンも可能）

2 共通短縮ダイヤルの短縮番号を押す。

登録されている電話番号が表示されます。

3 外線ボタンを押す。

お知らせ

● F ボタンを押したあと、6秒以内に次のボタンを押してください。6秒以上経過すると F ボタンの効果がキャンセルされます（「F」ピクトの表示が消えます）。

●接続されている主装置の種類や設定により、ご利用になれる共通短縮ダイヤルの短縮番号が異なります。詳しくは、接続されている主装置の取扱説明書をご覧ください。

●αNX／αNXⅡシリーズ、BX／BXⅡシリーズでは、上下ボタンで短縮番号（メモリ番号）を選択（スクロール）できます。
BXシリーズ／BXⅡ-MEでは、短縮ボタンでの共通短縮ダイヤル操作はできません。

▶ *主装置側で「プリセレクションサービス」を利用されているときは（☛P113）*

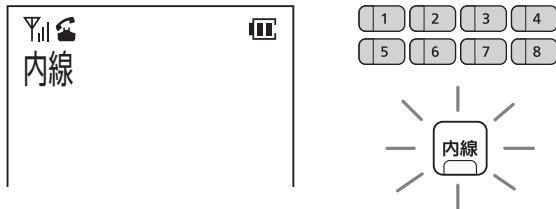
電話を取りつぐには　（保留転送）

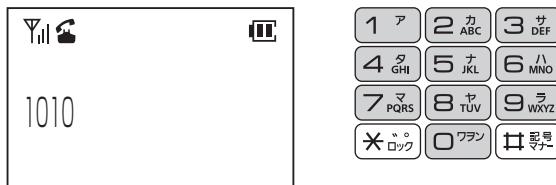
外の相手の方とのお話しや内線通話を他の内線電話機に取りつぐことができます。

呼び出す方

お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。

1 保留 **ボタンを押す。**

相手の方には保留メロディが流れます。
外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

2 **呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す。**

呼出音が聞こえます。

3 **呼び出された方が応答したら、電話を取りつぐことを伝え、** F **ボタン、** ♯記号マナー **の順に押す。**

電話が転送され、呼び出された方がお話しできるようになります。

4 ☎電源 **ボタンを押す。**

お知らせ

- 「呼び出す方」の手順2のあと「プープー…」という話中音が聞こえるときは、相手の方がお話し中です。
- 保留転送の操作を行っても、転送できない場合があります。その場合は接続されている主装置の取扱説明書をご覧ください。
- BX ／ BXⅡ-RMでは、手順1、2のあと、呼び出された方が応答したら、手順4を操作してください。

呼び出される方

呼び出されると着信音が鳴り、着信ランプと内線ランプが点滅します。

1 ☎フック **ボタンを押す。**

内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

2 **呼び出した方が転送操作を行うと電話がつながり、相手の方とお話しする。**

ワンポイント

- **呼び出される方が近くにいるときは（口頭転送）**
  「呼び出す方」の手順1の操作のあと、口頭で連絡してください。ディジタルシステムコードレス電話機で保留にしている外線ボタンを押すと、電話に出ることができます。
- **呼び出された方の応答を待たずに転送するには（呼出状態転送）**
  手順2で内線番号をダイヤルボタンで押したあと、F ボタン、♯記号マナー ボタンを押して、☎電源 ボタンを押します。
  ※ BX ／ BXⅡ-RMでは、呼出状態転送はご利用できません。
- **相手の方とのお話しに戻るには**
  呼び出された方が応答しなかったときは、保留にしている外線ボタンを押すと相手の方とのお話しに戻ることができます。
- **別の電話機で応答するには（代理応答）**
  着信音が鳴っている電話機の近くの方が不在のときなどは、代わりに応答することができます。（☛P56）

内線でお話するには（内線通話）

呼び出す方

1 [フック]ボタンを押す。
「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

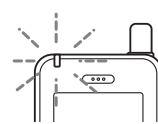
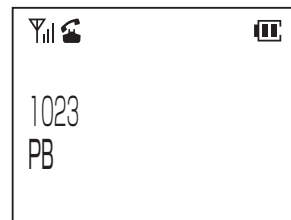
2 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す。
呼出音が聞こえます。

3 呼び出された方が応答したら、お話しする。

4 お話しが終わったら、[電源]ボタンを押す。

呼び出される方

呼び出されると着信音が鳴り、着信ランプと内線ランプが点滅します。

1 [フック]ボタンを押す。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

ワンポイント

●**別の電話機で応答するには（代理応答）**
着信音が鳴っている電話機の近くの方が不在のときなどは、代わりに応答することができます。（☛P56）

●「呼び出す方」の手順2のあと「プープー…」という話中音が聞こえるときは、相手の方がお話し中です。

別の電話機で応対するには（代理応答）

着信音が鳴っている電話機の近くの方が不在のときなどは、代わりにディジタルシステムコードレス電話機で応答することができます。

1 **フックボタンを押す。**

「ツーツー…」という音を確認してください。

内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

2 **統合代理応答用の番号（＃＃【　　】）を押す。**

全グループの着信に応答することができます。

3 **相手の方とお話しする。**

ワンポイント

●**代理応答とは**

自グループ内の着信に応答したり、他グループの着信に応答したりすることができます。詳しくは接続されている主装置の取扱説明書をご覧ください。

●**BX／BXⅡ-RMでは、代理応答はご利用できません。**

プッシュホンサービスを利用するには　（DP→PB切替）

ダイヤル回線をご利用の場合でも、プッシュホンサービスをご利用になれます。

1 **電話がつながったらPB送出用の ［#］ボタンを押す。**

プッシュホンサービスを利用できる状態になります。

2 **必要なダイヤルボタンを押す。**

ワンポイント

●プッシュホンサービスの種類

- クレジット通話サービス
- ポケットベルサービス
- 銀行ANSERサービス
- ホームテレホンによるテレコントロール
- 留守番電話へのリモコン操作など

お知らせ

●銀行ANSERサービスなどの一部のシステムでは、プッシュホンサービスをご利用できない場合があります。

●DP→PB切替のあと、電話を切るとダイヤル信号に戻ります。

●ご利用中の回線がプッシュ回線かどうかは状態表示（☛P61）で確認できます。「PB」の表示がでなければダイヤル回線です。

空いている外線を選んで電話をかけるには　（空き外線自動捕捉）

空いている外線を自動的に選んで、電話をかけることができます。「システム設定」により、外線発信と、自動発信可能な外線の中から選ぶ方法（外線群指定発信）が選択できます。

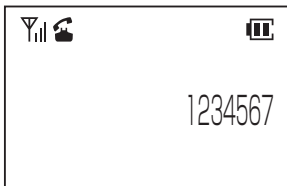
外線発信

1 **［フック］ボタンを押す。**
「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

内線

2 **外線発信番号（［0 ワラン］【　　】）を押す。**
「ツー」という発信音を確認してください。
空いている外線の外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

外線

3 **電話番号をダイヤルボタンで押す。**
電話番号が表示されます。

4 **相手の方が出たら、お話しする。**
通話時間が表示されます。

自動発信可能な外線の中から選ぶ

1 **［フック］ボタンを押す。**
「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

内線

2 **外線群指定発信番号（【　】～【　】）をダイヤルボタンで押す。**
「ツー」という発信音を確認してください。
対応する外線の外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

外線

3 **電話番号をダイヤルボタンで押す。**
電話番号が表示されます。

1234567

4 **相手の方が出たら、お話しする。**
通話時間が表示されます。

お知らせ

- 空いている外線がないときは、電話をかけられません。
  しばらく待ってからかけ直してください。
- 外線群指定発信番号は、接続されている主装置により異なります。詳しくは接続されている主装置の取扱説明書をご覧ください。
- BX ／ BXⅡ-RMでは、外線群指定発信はご利用できません。

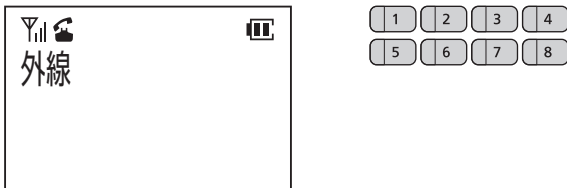
索線ボタンを使って電話をかけるには

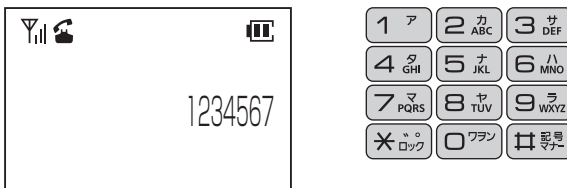
「システム設定」で外線ボタンに索線ボタンを設定しているときは、索線グループ内の空いている外線を自動的に選んで電話をかけることができます。

外線発信

1 索線ランプが消えていることを確認し、索線ボタンを押す。

「ツー」という発信音を確認してください。
索線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

1 2 3 4
5 6 7 8

2 電話番号をダイヤルボタンで押す。

電話番号が表示されます。

3 相手の方が出たら、お話しする。

通話時間が表示されます。

ワンポイント

●**索線ランプが赤く点灯しているときは**
索線グループ内の外線が全部お話し中のため、電話をかけることはできません。

●索線ボタンは、主装置の設定により外線ボタンに設定されます。
●BX ／ BXⅡ-RMでは、索線ボタンは設定できません。

▶ *PBXなどに接続しているときは(☛P113)*
▶ *主装置側で「プリセレクションサービス」を利用されているときは(☛P113)*

外部スピーカで音声ページングするには

主装置で「システム設定」された内線電話機から、構内放送用のスピーカで音声ページングができます。内線電話機も同時に音声ページングします。

1 **[フック]ボタンを押す。**

「ツーツー…」という音を確認してください。

内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

2 **音声ページング用の番号（[9][3][1]【　　】）を押す。**

ページンググループ応答番号（932【　　】）が表示されます。

<例>ページンググループ応答番号が932の場合

3 **お話しする。**

お知らせ

- 音声ページング用の番号は、接続されている主装置により異なります。詳しくは、接続されている主装置の取扱説明書をご覧ください。
- BXシリーズ／ BXⅡ-RMでは、構内放送用のスピーカでの音声ページングはご利用できません。

サービス機能の登録状態を表示するには

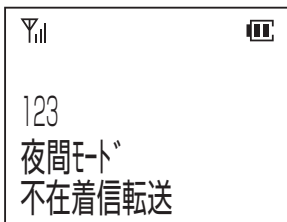
主装置の機能により登録された状態をディジタルシステムコードレス電話機の液晶ディスプレイに表示することができます。

・アラーム
・着信拒否
・システムモード（昼／夜など）
・回線種別
・不在
・不在転送

また、INSネット64サービスの識別着信サービスも表示することができます。

1 [F]ボタンを押す。

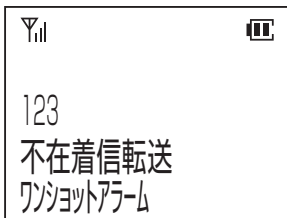
2 [＊ロック]ボタンを押す。

登録内容が表示されます。

（BX ／ BXⅡシリーズでは、1、2行目のみ表示できます）

3 3秒以内に[F]ボタンを押す。

4 [＊ロック]ボタンを押す。

次の登録内容が表示されます。

123
不在着信転送
ﾜﾝｼｮｯﾄｱﾗｰﾑ

お知らせ

●αNX ／αNXⅡ-S、αNX ／αNXⅡ-Mでは、手順3、4の操作は無効となります。
●サービス機能の登録状態の表示については、主装置取扱説明書を参照ください。

話中着信音を設定するには

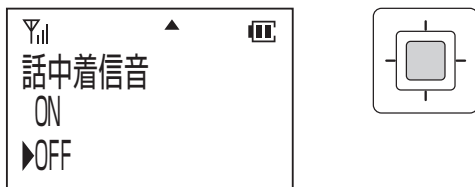
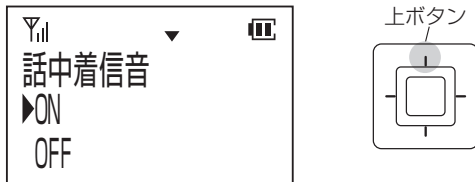
通話中の着信音は、主装置の「システム設定」によりますが「システム設定」で着信ありとなっている場合でも、ディジタルシステムコードレス電話機で、着信音の有無を設定できます。

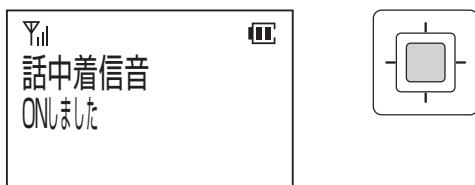
話中着信音を設定する

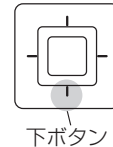
1 待ち受け状態で、［メニュー］ボタン、［3 サ DEF］［5 ナ JKL］の順に押す。

「話中着信音」が表示されます。

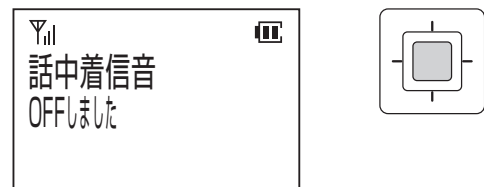
2 決定ボタンを押す。

「話中着信音 ON ／ OFF」が表示されます。

3 上ボタンで「ON」を選択する。

4 決定ボタンを押す。

話中着信音が設定されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

話中着信音を解除する

3 下ボタンで「OFF」を選択する。

4 決定ボタンを押す。

話中着信音が解除されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

トランシーバモードの使いかた

トランシーバモードでは、同一の主装置に収容されたディジタルシステムコードレス電話機どうしで、接続装置や主装置を介さないで通話ができます。また、トランシーバグループ登録をすることで、同じ主装置に収容されていないディジタルシステムコードレス電話機どうしでも通話ができるようになります。
例えば、接続装置の電波の届かないサービスエリア外であるとか、サービスエリア内でも接続装置の無線チャネルが一杯で普通には通話のできない場合でも、ディジタルシステムコードレス電話機どうしで通話をすることができます。

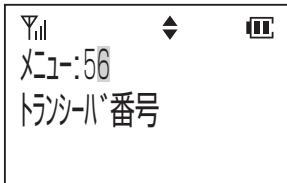
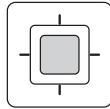
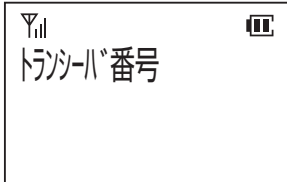
お知らせ

- トランシーバモードで通話ができるのは2台1組です。同時に3人で会議通話のようなことはできません。
- トランシーバモードで通話をしている組が多い場合には、無線チャネルが一杯で新たに通話できない場合もあります。
- トランシーバモードで通話ができるのは、半径約100 mの範囲です。ただし間に障害物などがある場合など、周囲の状況によってはもっと短くなることがあります。
- 通話中、約3分ごとに約7秒間通話が途切れますが異常ではありません。通話が途切れる約20秒前に「プー」という予告音が受話口から聞こえます。また通話が途切れている間は「ププ、ププ…」という音が受話口から聞こえます。
- 電波状態の悪いところでお使いの場合は、まれに通話の途中で切れてしまうことがあります。このときは再度呼び出してください。

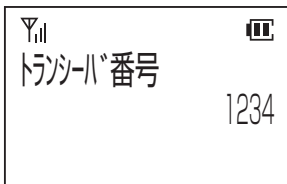
トランシーバモードの番号を設定するには

トランシーバモードの電話番号として、1桁から4桁の数字で1から7999までのどれか1つをこの電話機で設定することができます（8000から9999までの数字は使えません）。

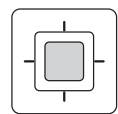
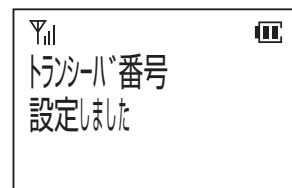
1 待ち受け状態で、メニューボタン、5 6の順に押す。

「トランシーバ番号」が表示されます。

2 決定ボタンを押す。

3 設定したいトランシーバモードの電話番号を入力する。

必ず1から7999までの数字を入力してください。

<例>1234の番号を設定するとき

4 決定ボタンを押す。

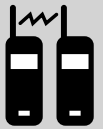
正常に設定されたときは「ピピ」という音がして待ち受け状態に戻ります。

8000以上の番号を入れるなど正常に設定できなかったときには「ピピピピピ」という音がして番号入力待ちの状態に戻ります。このときは手順3から操作をやり直してください。

ワンポイント

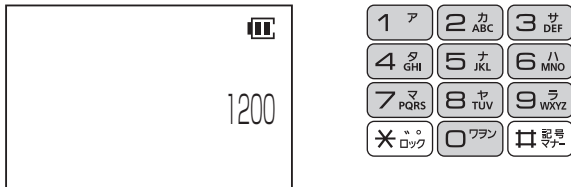
- 設定されたトランシーバモードの電話番号は「電話番号を確認する」(☛P31)で確認できます。
- 使用者名表示が登録されていない場合、待ち受け状態のときにトランシーバ番号が表示されます。

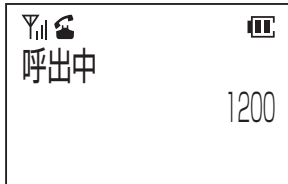
お知らせ

- 2つ以上のディジタルシステムコードレス電話機に同じ番号を設定すると、正常に呼び出しできないことがあります。絶対に同じ番号を設定しないでください。
- 当社製のディジタルシステムコードレス電話機以外の電話機とは通話できません。

トランシーバモードで電話をかけるには

電話をかける

1 **待ち受け状態から、相手の方のトランシーバモードの電話番号をダイヤルする。**

<例>1200番の人に電話するとき

2 **［フック］ボタンを押す。**

しばらくすると相手の方を呼び出している音が聞こえます。

3 **相手の方が応答したらお話しする。**

4 **お話しが終わったら、［電源］ボタンを押す。**

ワンポイント

- **前に電話をかけた相手に再びかけるには**
  (☛P84)
- **トランシーバモードで電話をかける前に**
  トランシーバモードに切り替えてお使いください。(☛P30)

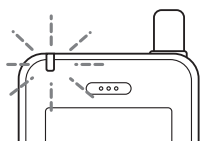
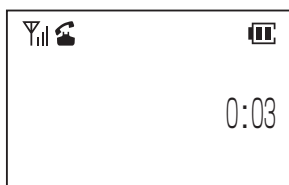
お知らせ

- 待ち受け状態で［フック］ボタンを押してから相手の電話番号をダイヤルして電話をかけることもできます。

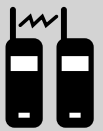
トランシーバモードで電話を受けるには

トランシーバモードを利用して電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが赤く点滅します。

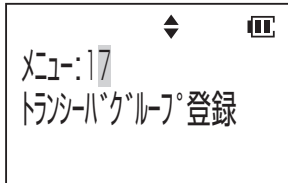
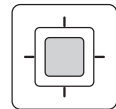
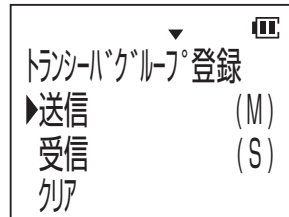
電話を受ける

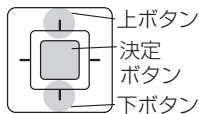
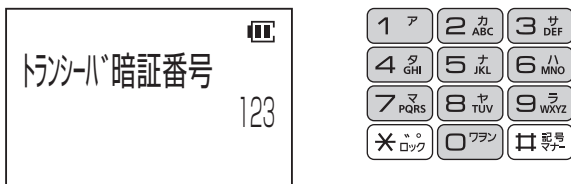
相手の方から呼び出しを受けると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。
<例> 1200番の人から電話がかかってきたとき

1 フック ボタンを押す。

2 相手の方とお話しする。

3 お話しが終わったら、電源 ボタンを押す。

トランシーバグループを登録するには

トランシーバグループ登録をすることで、同じ主装置に収容されていないディジタルシステムコードレス電話機どうしでもトランシーバ通話ができるようになります。
トランシーバグループ登録では、送信側の電話機から受信側の電話機にトランシーバグループのデータが転送されます。
また、以下の操作ではあらかじめトランシーバモードにしておき、登録開始の操作（手順6）を送信側と受信側でほぼ同時に行う必要があります。

トランシーバグループ登録を行う

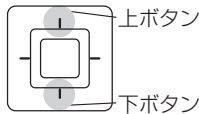
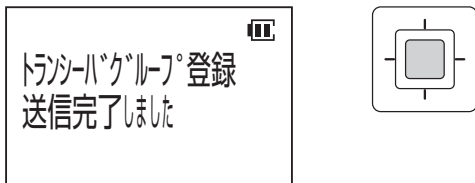
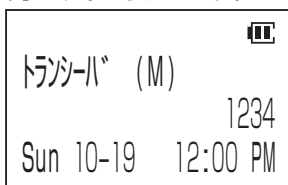
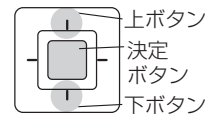
1 待ち受け状態で、[メニュー]ボタン、[1 ア][7 マ PQRS]の順に押す。
「トランシーバグループ登録」が表示されます。

2 決定ボタンを押す。

送信側

3 上下ボタンで「送信」を選択して、決定ボタンを押す。

4 受信側と同じ暗証番号4桁（0000 ～ 9999）を入力する。

5 上下ボタンで登録開始の「YES」を選択する。

6 決定ボタンを押す。 同時（5秒以内）

トランシーバグループ登録
送信完了しました

7 登録が完了したら[電源]ボタンを押す。
待ち受け状態に戻ります。

受信側

3 上下ボタンで「受信」を選択して、決定ボタンを押す。

4 送信側と同じ暗証番号4桁（0000 ～ 9999）を入力する。

5 上下ボタンで登録開始の「YES」を選択する。

6 決定ボタンを押す。

トランシーバグループ登録
受信完了しました

7 登録が完了したら[電源]ボタンを押す。
待ち受け状態に戻ります。

トランシーバ (S)
5678
Sun 10-19 12:00 PM

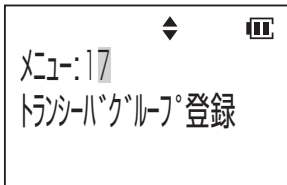
トランシーバグループ登録を解除するには

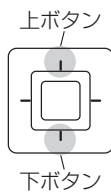
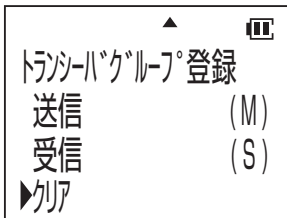
トランシーバグループ登録を解除することができます。

トランシーバグループ登録を解除する

1 待ち受け状態で、メニューボタン、1ア 7マPQRS の順に押す。

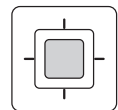
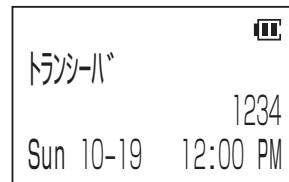
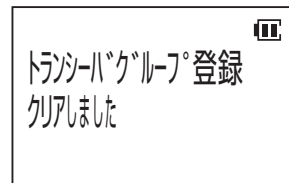
「トランシーバグループ登録」が表示されます。

メニュー:17
ﾄﾗﾝｼｰﾊﾞｸﾞﾙｰﾌﾟ登録

2 決定ボタンを押す。

3 上下ボタンで「クリア」を選択する。

4 決定ボタンを押す。

トランシーバグループ登録が解除され、待ち受け状態に戻ります。

ﾄﾗﾝｼｰﾊﾞｸﾞﾙｰﾌﾟ登録
ｸﾘｱしました

ﾄﾗﾝｼｰﾊﾞ
1234
Sun 10-19 12:00 PM

ワンポイント

- **登録に失敗したときは、手順1からやり直してください。**

お知らせ

- トランシーバグループ登録を行うと、同一のグループ以外のディジタルシステムコードレス電話機とはトランシーバ通話ができなくなります。
- 3台以上でグループ登録を行うときは、送信側を特定の1台にして、残りを受信側にして登録してください。

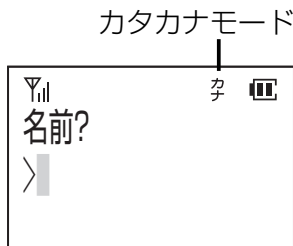
文字を入力するには

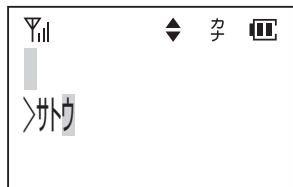
文字入力時には「漢字」「ひらがな」「カタカナ」「英字」「数字」「絵文字」「記号」を入力することができます。F ボタンを押して入力モードを選択し、ダイヤルボタンで希望する文字を表示させて入力します。

カタカナモード

<例>「佐藤」と入力する場合

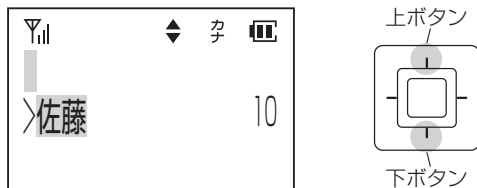
漢字、ひらがなおよびカタカナを入力することができます。

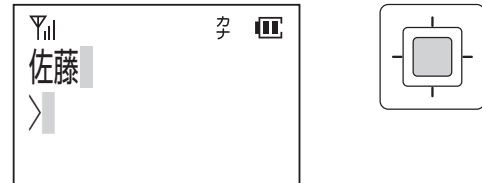
1 **F ボタンを押して入力モードを選択する。**

2 **3 サ DEF を1回、4 タ GHI を5回、1 ア を3回押す。**

カタカナを入力したい場合は決定ボタンを押します。

3 **上下ボタンで文字を変換する。**

漢字→全角カタカナ→半角カタカナ→全角ひらがなの順に変換されます。

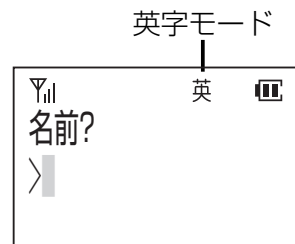
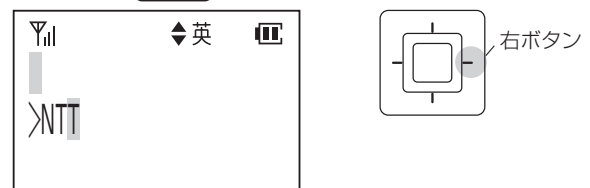
残り候補数が右端に表示されます。

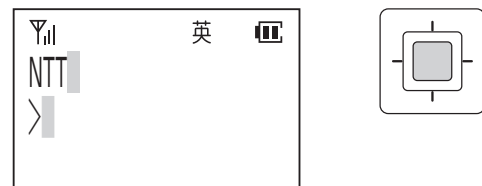
入力したい文字に変換できない場合は、左右ボタンで変換対象を漢字1文字分にしたり、濁点や半濁点をはずしたり、読みかたを変えて（音読み／訓読み）入力し直してください。

4 **入力したい文字が表示されたら決定ボタンを押す。**

確定した文字が上段に移動します。

英字モード

<例>「NTT」と入力する場合

英字、絵文字および記号を入力することができます。

1 **F ボタンを押して入力モードを選択する。**

2 **6 ハ MNO を2回、8 ヤ TUV を1回、右ボタンを1回、8 ヤ TUV を1回押す。**

3 **決定ボタンを押す。**

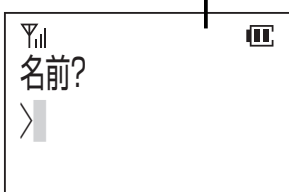
確定した文字が上段に移動します。

文字を入力するには

数字モード

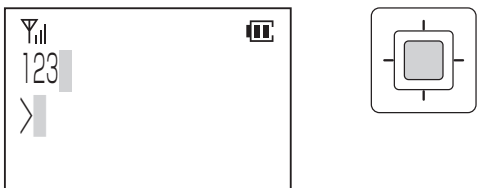
<例>「123」と入力する場合

数字を入力することができます。

1 **[F]ボタンを押して入力モードを選択する。**

数字モードのときはピクトが消えます。

2 **[1][2][3]の順に押す。**

3 **決定ボタンを押す。**

確定した文字が上段に移動します。

ワンポイント

●文字入力は文字が割り当てられているボタンを、入力したい文字が表示されるまで押してください。
入力したい文字が表示されたら、別のボタンを押すか右ボタンを押してください。
続けて同じボタン上の文字を入力するときは、右ボタンを押してカーソルを移動させてください。

●文字入力を間違えたときは、[クリア]ボタンを押してください。カーソルの位置の1文字が削除され、後ろの文字が詰められます。また、[クリア]ボタンを1秒以上押し続けることで全桁削除することができます。

●入力文字を修正したいときは、左右ボタンでカーソルを修正したい桁まで移動し、再度入力してください。

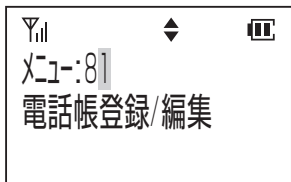
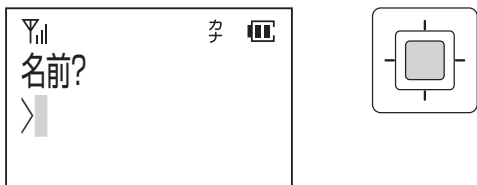
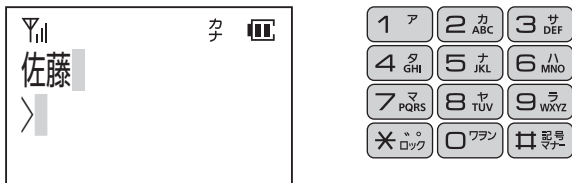
●文字入力はカーソル位置への挿入となります。ただし、入力桁数を超えた場合は最後尾から削除されます。

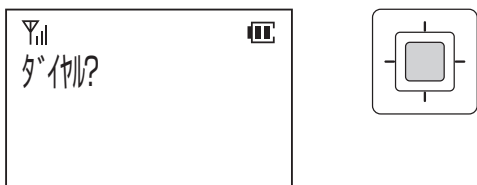
●文字を入力するときのカタカナ／英字／数字の各モードでの入力キーは以下のとおりです。[F]ボタンを押すたびに入力モードが切り替わります。

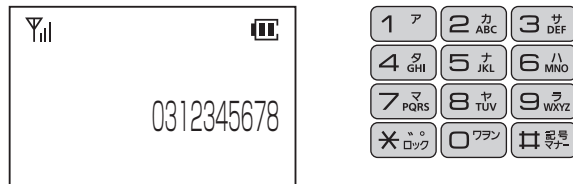
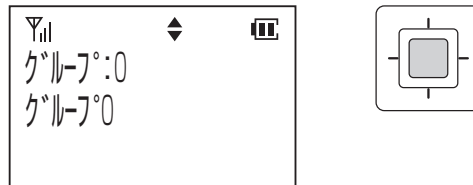
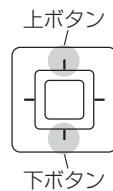
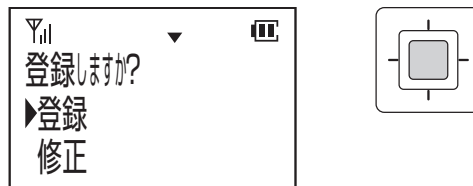
ボタン	カタカナモード	英字モード	数字モード
[1 ア]	アイウエオ ｱｲｳｴｵ	(記号)	1
[2 カ ABC]	カキクケコ	ABCabc	2
[3 サ DEF]	サシスセソ	DEFdef	3
[4 タ GHI]	タチツテトッ	GHIghi	4
[5 ナ JKL]	ナニヌネノ	JKLjkl	5
[6 ハ MNO]	ハヒフヘホ	MNOmno	6
[7 マ PQRS]	マミムメモ	PQRSpqrs	7
[8 ヤ TUV]	ヤユヨｬｭｮ	TUVtuv	8
[9 ラ WXYZ]	ラリルレロ	WXYZwxyz	9
[0 ワヲン]	ワヲンー（空白）	－（空白）	0
(左ボタン)	カーソルを左に		
(右ボタン)	カーソルを右に		
[F]	英字モードにシフト	数字モードにシフト	カタカナモードにシフト
[クリア]	1文字削除		
[クリア] 1秒	全文字削除		
[＊ ﾟﾞ ロック]	゛ ゜	＊	＊
[＃ 記号 マナー]	ー！？	－・&/[]＃＊	＃

電話帳ダイヤルに登録するには

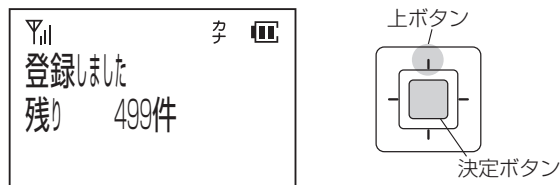
電話帳には500件の電話番号が登録できます。1件あたり、名前16文字（漢字8文字）、読み仮名6文字、ダイヤル24桁まで入力することができます。また、グループを選択することによりグループ登録を行うことができます。

1 **待ち受け状態で、[メニュー]ボタン、[8][1]の順に押す。**
「電話帳登録／編集」が表示されます。

2 **決定ボタンを押す。**
名前入力画面が表示されます。

3 **登録する相手の名前を入力する。**

4 **決定ボタンを押す。**
読み仮名入力画面が表示されます。
読み仮名は名前入力時に入力された6文字までがそのまま表示されます。

5 **入力内容を確認し、決定ボタンを押す。**
電話番号入力画面が表示されます。

6 **登録する相手の電話番号を入力する。**
入力された電話番号が表示されます。

0312345678

7 **決定ボタンを押す。**
グループ選択画面が表示されます。

8 **上下ボタンでグループを選択する。**

9 **決定ボタンを押す。**
登録確認画面が表示されます。

10 **上ボタンで「登録」を選択し、決定ボタンを押す。**
「ピピ」という確認音が鳴り、登録が完了します。

カナ
登録しました
残り 499件

電話帳ダイヤルに登録するには

ワンポイント

- **文字を入力するには**
  文字の入力、読み仮名の修正が行えます。(☛P69)
- **電話帳ダイヤルを修正する場合は、手順9で「修正」を選択します。**
- **読み仮名には「カタカナ」「英字」「数字」「絵文字」「記号」が入力できます。**
- **電話番号の入力を間違えたときは、［クリア］ボタンを押してください。最後の桁から1桁ずつ削除されます。また、［クリア］ボタンを1秒以上押し続けることで全桁削除することができます。**
- **入力データ（下段）が何もないときに［クリア］ボタンを押すと、前画面に戻ることができます。**
- **電話番号にポーズを登録するには**
  ① ［F］ボタン、［保留］ボタンに続けてポーズ時間を秒単位の数字1桁（1 ～ 9）で入力する。ただし、先頭にポーズを登録することはできません。
  ② 複数のポーズを続けて登録することができます。
  ③ ポーズは1つでダイヤル2桁分に数えます。
- **電話番号にリモートダイヤルを登録するには**
  ① ［F］ボタン、［保留］ボタンに続けて数字「0」（ポーズ0）を入力します。
  ② リモートダイヤルの操作は、電話帳ダイヤルで電話をかけたあと、［フック］ボタンを押すとポーズ0以降のダイヤルが送出されます。
- **電話帳ダイヤルには読み仮名または電話番号のどちらかを入力しないと登録できません。**
- **電話帳グループの名前を登録するには(☛P80)**
- **すでに500件登録されている状態で電話帳ダイヤル登録操作を行ったときは「ピピピピピ」という警告音が鳴り「登録できません　残り　0件」と表示されて、約2秒後に待ち受け状態に戻ります。**

▶ *PBXなどに接続しているときは(☛P113)*

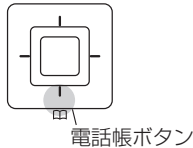
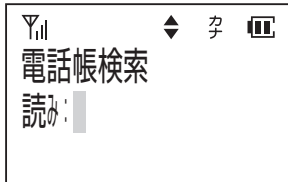
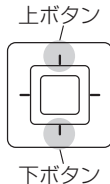
お知らせ

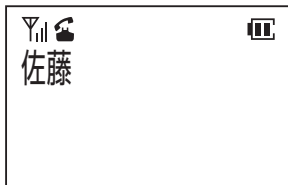
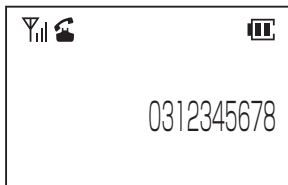
- 手順8で［0ワラン］～［9ラWXYZ］を押しても、グループが選択できます。
- 自営モードでPBXなどの交換機に接続されている外線へ発信する場合は、外線発信番号と相手の方の電話番号を登録しておく必要があります。
- 操作中に電話がかかってくると、登録操作は無効になります。

電話帳ダイヤルでかけるには

電話帳には500件の電話番号が登録できます。登録されている電話番号を50音順・読み仮名・電話帳グループのいずれかで検索してから電話をかけることができます。

50音順で検索してかける

1 待ち受け状態で、電話帳ボタンを押す。

2 上下ボタンで目的の電話帳ダイヤルを表示させる。

3 外線ボタンを押す。

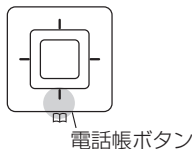
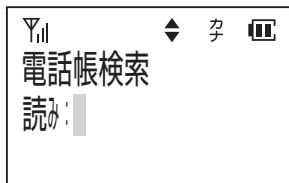
検索した電話番号がダイヤルされます。

しばらくすると相手の方を呼び出している音が聞こえます。

4 相手の方が応答してから、お話しする。

ワンポイント

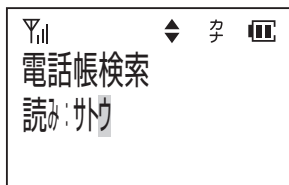
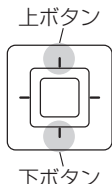
- 検索順序は次のとおりです。
  - ① 読み仮名なし
  - ② 絵文字（[絵文字]）
  - ③ 空白（スペース）
  - ④ 記号（!、#、&、＊、-、/）
  - ⑤ 数字（0 ～ 9、?）
  - ⑥ 英字（A ～ Z、[、]、a ～ z）
  - ⑦ カタカナ（･、ヲ、ァ～ッ、ー、ア～ン、゛、゜）
- 電話帳ダイヤル検索中に［0］～［9］を押すことで、ア行～ワ行で始まる読み仮名を検索表示します。
- 待ち受け状態でメニューボタン、［8］［2］、決定ボタンの順に押すと、手順1の画面が表示します。
  検索モードが「グループ」になっている場合は、決定ボタンをもう1度押してください。検索モードが「読み」になります。

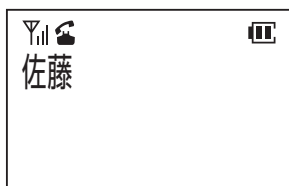
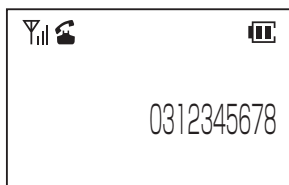
電話帳ダイヤルでかけるには

読み仮名を検索してかける

1 待ち受け状態で、電話帳ボタンを押す。

2 検索したい読み仮名を入力する。

F ボタンを押して入力モードを選択してください。

入力できる読み仮名は6文字までです。

3 上下ボタンを押して選択する。

4 外線ボタンを押す。

検索した電話番号がダイヤルされます。

しばらくすると相手の方を呼び出している音が聞こえます。

5 相手の方が応答してから、お話しする。

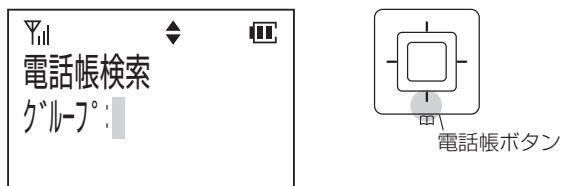
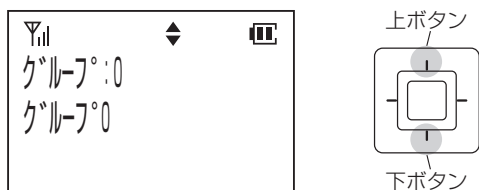
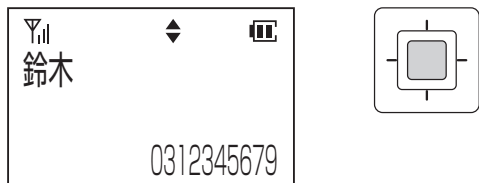
ワンポイント

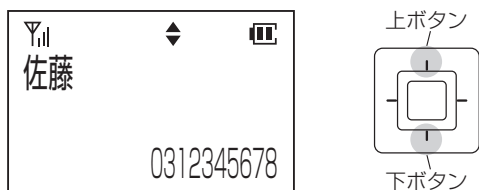
- ●トランシーバモードで電話をかけるときは、フック ボタンを押してください。
- ●どの検索方法の場合でも、検索中に上ボタンまたは下ボタンを1秒以上押し続けると、押している間は液晶ディスプレイの表示がスクロールします。
- ●読み仮名の入力を間違えたときは、クリア ボタンを押してください。カーソルの位置の1文字が削除され､後ろの文字が詰められます。また、クリア ボタンを1秒以上押し続けることで、全桁削除することができます。
- ●読み仮名検索の場合で、入力した読み仮名の登録がない場合は、その近くのデータを表示します。
- ●電話帳ロックを設定しているときは電話帳は使えません。〈電話帳ロック〉（☛P99）
- ●電話帳に登録された番号が内線番号の場合は、手順4で外線ボタンの代わりに内線ボタンを押してください。

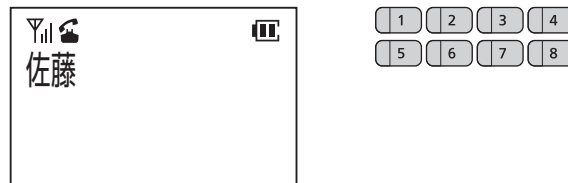
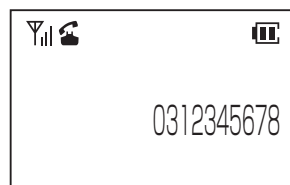
お知らせ

- ●名前のみ登録されている内容を読み出した状態で フック ボタンを押しても操作は無効になります。
- ●電話帳ダイヤルに1件も登録していないときは、電話帳ボタンを押しても操作は無効になります。

電話帳グループの電話番号を検索してかける

1 **待ち受け状態で、電話帳ボタン、メニューボタンの順に押す。**

2 **上下ボタンで目的のグループを表示させる。**

3 **決定ボタンを押す。**

4 **上下ボタンを押して選択する。**

選択したグループ内の電話帳ダイヤルが表示されます。

5 **外線ボタンを押す。**

検索した電話番号がダイヤルされます。

しばらくすると相手の方を呼び出している音が聞こえます。

6 **相手の方が応答してから、お話しする。**

電話帳ダイヤルでかけるには

ワンポイント

- **検索順序は次のとおりです。**
  ① 読み仮名なし
  ② 絵文字（絵文字記号）
  ③ 空白（スペース）
  ④ 記号（!、#、&、＊、-、/）
  ⑤ 数字（0～9、?）
  ⑥ 英字（A～Z、[、]、a～z）
  ⑦ カタカナ（･、ヲ、ァ～ッ、ー、ア～ン、゛、゜）
- **手順4で電話帳ダイヤル検索中に［0 ワヲン］～［9 ラ WXYZ］を押すことで、ア行～ワ行で始まる読み仮名を検索表示します。**
- **トランシーバモードで電話をかけるときは、［フック］ボタンを押してください。**
- **どの検索方法の場合でも、検索中に上ボタンまたは下ボタンを1秒以上押し続けると、押している間は液晶ディスプレイの表示がスクロールします。**
- **電話帳グループ検索の場合、登録が1件もないグループは表示されません。**
- **電話帳ロックを設定しているときは電話帳は使えません。〈電話帳ロック〉（☛P99）**
- **待ち受け状態でメニューボタン、［8 ヤ TUV］［2 カ ABC］、決定ボタンの順に押すと、手順1の画面が表示します。**
  検索モードが「読み」になっている場合は、決定ボタンをもう1度押してください。検索モードが「グループ」になります。

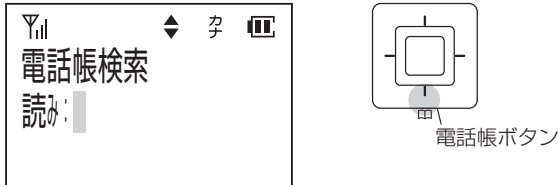
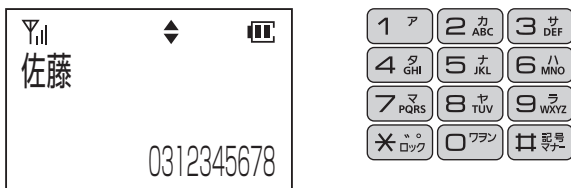
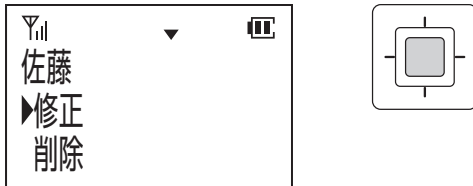
お知らせ

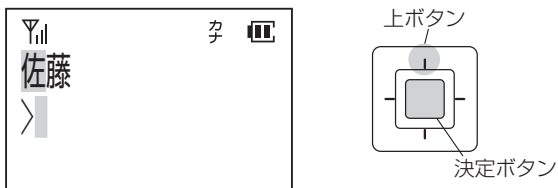
- 名前のみ登録されている内容を読み出した状態で［フック］ボタンを押しても操作は無効になります。
- 電話帳ダイヤルに1件も登録していないときは、電話帳ボタンを押しても操作は無効になります。

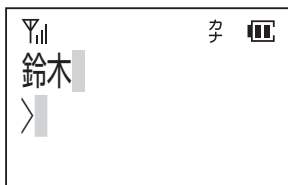
電話帳ダイヤルを修正するには

50音順、読み仮名または電話帳グループのいずれかで、登録された電話番号を検索したあと、電話帳ダイヤルを修正することができます。

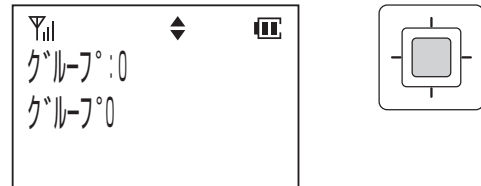
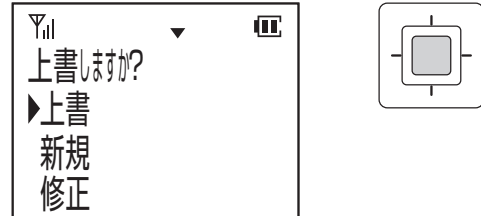
1 待ち受け状態で、電話帳ボタンを押す。

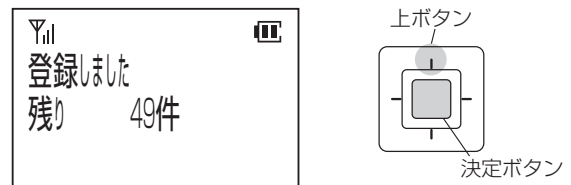
読み仮名入力画面が表示されます。

2 読みを入力して、修正する電話帳ダイヤルを選択する。

3 決定ボタンを押す。

4 上ボタンで「修正」を選択し、決定ボタンを押す。

名前修正画面が表示されます。

5 名前を修正する。

<例>「佐藤」を「鈴木」に修正する場合

6 決定ボタンを押す。

7 読み仮名を修正し、決定ボタンを押す。

8 電話番号を修正し、決定ボタンを押す。

9 グループを選択し、決定ボタンを押す。

10 上ボタンで「上書」を選択し、決定ボタンを押す。

元の電話帳データが上書きされます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

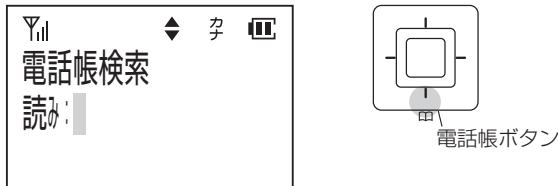
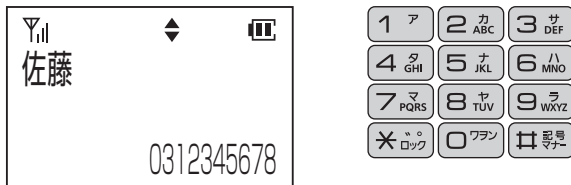
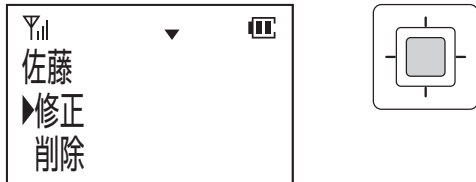
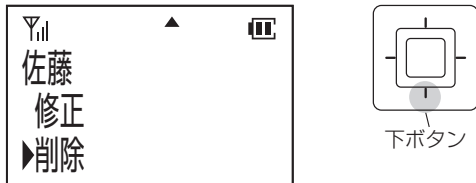
- 電話番号を修正するには（☛P72）
- 文字を修正するには（☛P70）
- 「新規」を選択した場合は、元の電話帳データは修正せずに新規の登録になります。
- 「新規」を選択した場合で、すでに500件登録されているときは
  「ピピピピピ」という警告音が鳴り「登録できません　残り　0件」が表示されます。そして、約2秒後に「上書しますか？」の表示に戻ります。
- 手順9で「修正」を選択した場合は、登録は行わず名前修正画面に戻ります。

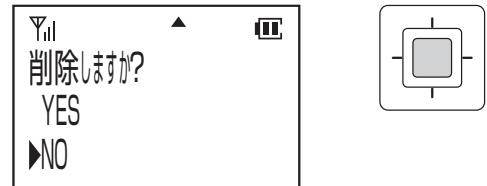
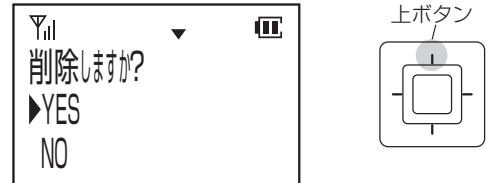
電話帳ダイヤルを削除するには

50音順、読み仮名または電話帳グループのいずれかで、登録された電話番号を検索したあと、電話帳ダイヤルを削除することができます。また、電話帳ダイヤルの全データを消去することもできます。

登録データを削除する

1 待ち受け状態で、電話帳ボタンを押す。

読み仮名入力画面が表示されます。

2 読みを入力して、削除する電話帳ダイヤルを選択する。

3 決定ボタンを押す。

4 下ボタンで「削除」を選択する。

5 決定ボタンを押す。

「削除しますか？」が表示されます。

6 上ボタンで「YES」を選択する。

7 決定ボタンを押す。

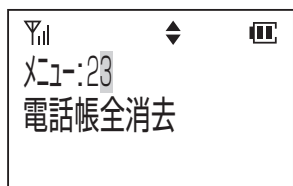
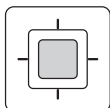
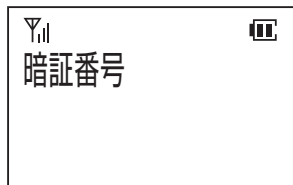
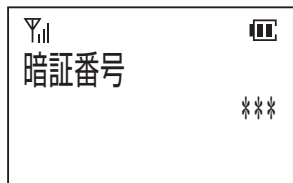
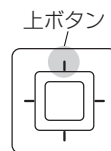
「ピピ」という確認音が鳴り内容が削除され、待ち受け状態に戻ります。

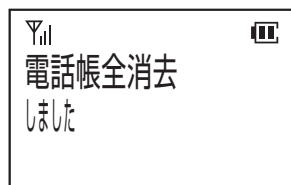
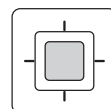
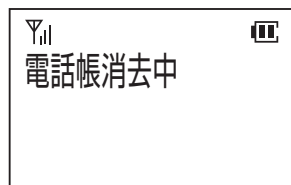
ワンポイント

●手順6で「NO」を選択した場合は、データの削除は中止され、待ち受け状態に戻ります。

全登録データを消去する

1 **待ち受け状態で、[メニュー]ボタン、[2]、[3]の順に押す。**

「電話帳全消去」が表示されます。

2 **決定ボタンを押す。**

3 **登録している暗証番号（4桁）を入力する。**

4 **上ボタンで「YES」を選択する。**

5 **決定ボタンを押す。**

「電話帳消去中」が表示されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

電話帳全消去
しました

ワンポイント

- **暗証番号が登録されていないときは〈暗証番号を新規に登録する〉（☛P96）**
  「暗証番号未登録です」と表示され「ピピピピピ」という警告音が鳴ります。電話帳全消去は行えません。
- **手順4で「NO」を選択した場合は、電話帳全消去は中止され、待ち受け状態に戻ります。**

お知らせ

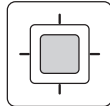
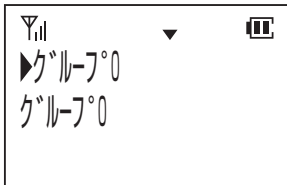
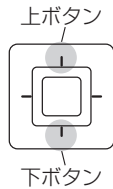
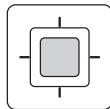
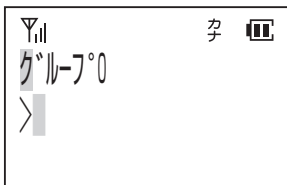
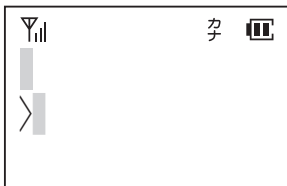
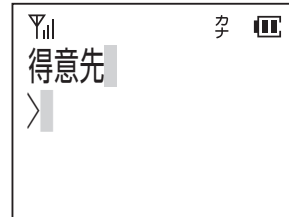
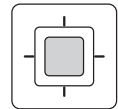
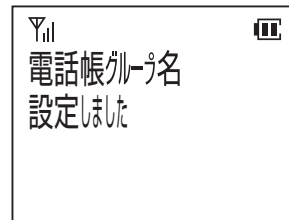
- 登録されている暗証番号と入力暗証番号が違うときには「ピピピピピ」という警告音が鳴ります。

電話帳グループの名前をつけるには

電話帳グループに「得意先」「友人」などグループの名前を設定することができます。

グループ名をつける

1 待ち受け状態で、メニューボタン、5 8 の順に押す。
「電話帳グループ名」が表示されます。

2 決定ボタンを押す。

3 上下ボタンでグループを選択する。

4 決定ボタンを押す。

5 クリアボタンを1秒以上押す。
現在のグループ名を消去します。

6 グループ名を入力する。
<例>「得意先」と入力した場合

7 決定ボタンを押す。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

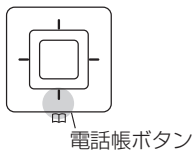
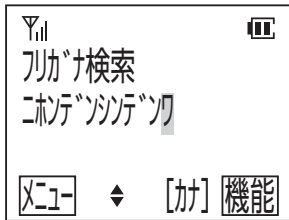
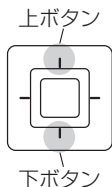
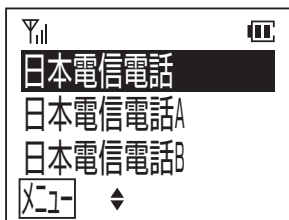
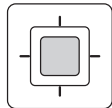
●文字を入力するには（☛P69）

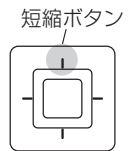
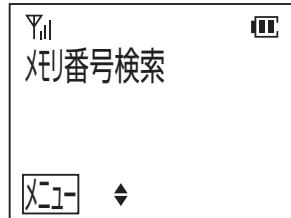
主装置電話帳を利用するには

主装置電話帳（個別電話帳、共通電話帳）を利用できます。

主装置電話帳を読み出す

1 F ボタンを押す。

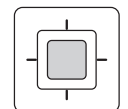
2 電話帳ボタンを押す。

3 検索するフリガナを入力する。

4 上下ボタンを押し、検索された名称から該当する名称を選択する。

5 決定ボタンを押す。

短縮（メモリ番号）検索

1 短縮ボタンを押す。

（BX／BXⅡシリーズでは F ＋ 9、BXⅡ-RMのみ短縮ボタンも可能）

2 メモリ番号を入力する。

入力されたメモリ番号順に表示されます。

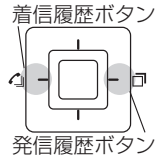
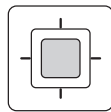
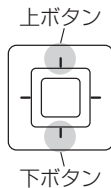
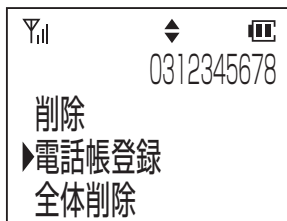
3 該当するメモリ番号を選択し、決定ボタンを押す。

詳細情報が表示されます。

お知らせ

- 主装置電話帳利用については、主装置取扱説明書を参照ください。
- BX／BXⅡシリーズでは、主装置電話帳読み出しはご利用できません。また、BX／BXⅡシリーズでは短縮（メモリ番号）検索には、短縮ボタンではなく、F ＋ 9 を使用してください。
BXⅡ-RMのみ短縮ボタンも使用できます。

発信記録や着信記録の電話番号を登録するには

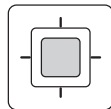
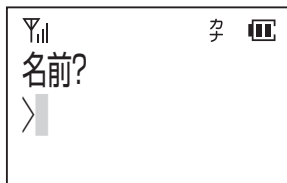
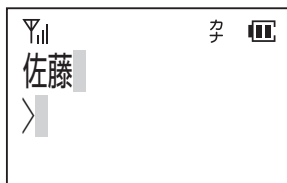
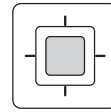
発信記録や着信記録の電話番号を電話帳ダイヤルに登録することができます。

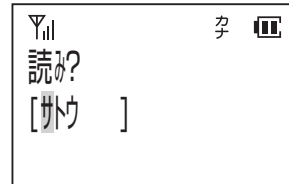
1 発信履歴ボタンまたは着信履歴ボタンを押して、登録する発信記録または着信記録を選択する。

2 決定ボタンを押す。

3 上下ボタンで「電話帳登録」を選択する。

4 決定ボタンを押す。

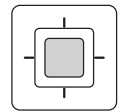
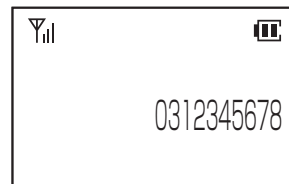
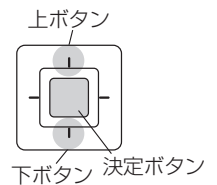
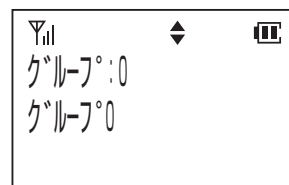
名前入力画面が表示されます。

5 名前を入力する。

ワンポイント

- 文字を入力するには（☛P69）
- すでに500件登録されているときは（☛P72）
- 発信者名が通知されているときは、手順4で決定ボタン押下後に、発信者名が入力済みになっています。

6 決定ボタンを押す。

7 読み仮名を修正する。

8 決定ボタンを押す。

登録する相手の電話番号が表示されます。

9 決定ボタンを押し、上下ボタンでグループを選択する。

10 決定ボタンを押す。

登録確認画面が表示されます。

11 上ボタンで「登録」を選択し、決定ボタンを押す。

「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

電話番号を組み合わせてかけるには

外線発信特番などと電話帳ダイヤルを組み合わせて発信することができます。

電話番号を組み合わせて発信する

<例>外線発信番号“0”と電話帳ダイヤルの組み合わせ

1

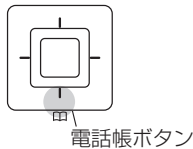
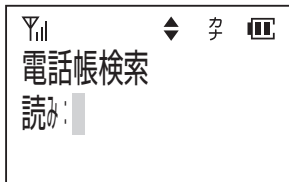
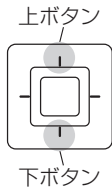
2 電話帳ボタンを押す。

3 上下ボタンで組み合わせる電話帳データを検索する。

4

ワンポイント

●電話帳ダイヤルを検索するには（☛P73）

●BX／BXⅡ-RMでは、電話帳ダイヤルと外線発信特番などを組み合わせて発信することはできません。

追加ダイヤルを組み合わせて発信する

<例>電話帳ダイヤルのあとにサブアドレスダイヤル“＊201”を追加する

1 電話帳ボタンを押す。

2 上下ボタンで組み合わせる電話帳データを検索する。

3

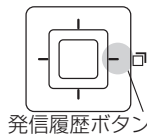
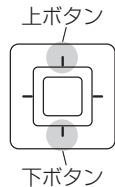
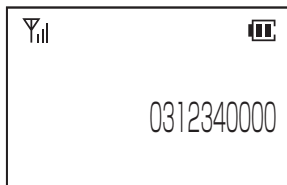
4

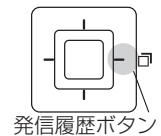
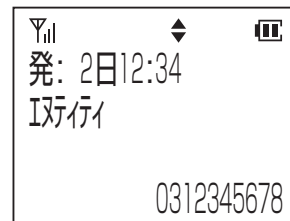
5 外線ボタンを押す。

前に電話をかけた相手に再びかけるには（発信記録）

こちらからかけた電話番号を最大10件記録することができます。その電話番号を呼び出して、電話をかけることができます。
電話番号は1件につき24桁まで記録できます。

かけた相手に再びかける

1 待ち受け状態で、発信履歴ボタンを押す。
発信記録が新しい順に表示されます。

2 上下ボタンでかけたい相手を選択する。

3 外線ボタンを押す。
表示されている電話番号がダイヤルされます。

電話帳にネーム情報が登録されているとき

1 待ち受け状態で、発信履歴ボタンを押す。
発信記録が新しい順に表示されます。
電話帳のネーム情報が表示されます。

ワンポイント

- 相手の方の電話番号が電話帳に登録されている場合は名前が表示されます。
- トランシーバモードで電話をかけるときは、［フック］ボタンを押してください。
- 待ち受け状態でメニューボタン、［8］［3］、決定ボタンの順に押すと、手順1の画面が表示します。

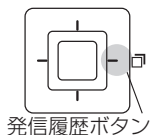
お知らせ

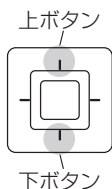
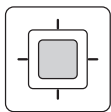
- 発信記録は電源を切っても保持されます。

発信記録を削除するには

発信記録を検索したあとに削除することができます。また、発信記録の全データを一度に削除することもできます。

記録されたデータの削除

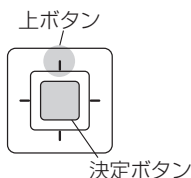
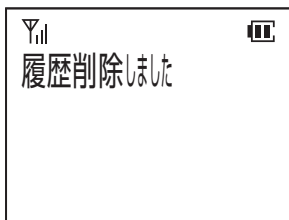
1 **待ち受け状態で、発信履歴ボタンを押す。**

発信記録が新しい順に表示されます。

2 **上下ボタンで削除する発信記録を選択する。**

3 **決定ボタンを押す。**

4 **上ボタンで「削除」を選択して、決定ボタンを押す。**

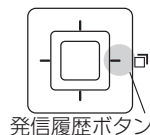
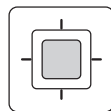
「ピピ」という確認音が鳴ります。

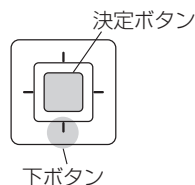
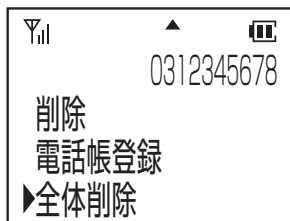
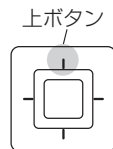
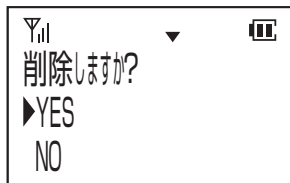
発信記録が削除され、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

●全データの削除で「NO」を選択した場合は、全データの削除が中止され、待ち受け状態に戻ります。

記録された全データの削除

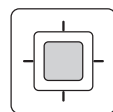
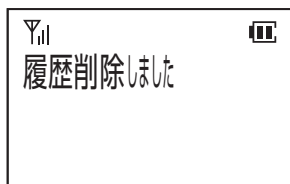
1 **待ち受け状態で、発信履歴ボタンを押す。**

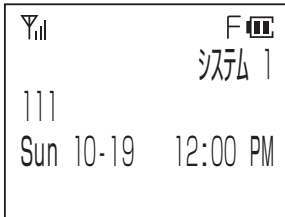
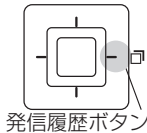
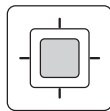
発信記録が新しい順に表示されます。

2 **決定ボタンを押す。**

3 **下ボタンで「全体削除」を選択して、決定ボタンを押す。**

4 **上ボタンで「YES」を選択する。**

5 **決定ボタンを押す。**

「ピピ」という確認音が鳴ります。

発信記録の全データが削除され、待ち受け状態に戻ります。

主装置発信記録を利用するには

発信履歴を読み出す

1 F ボタンを押す。

2 発信履歴ボタンを押す。

3 発信履歴より該当する番号／名称を選択し、決定ボタンを押す。

ワンポイント

●主装置発信記録表示中に、メニューボタンを押し、電話帳登録、1件削除、全体削除を選択操作することができます。

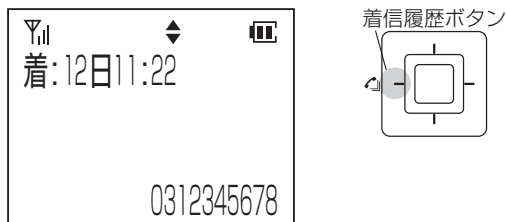
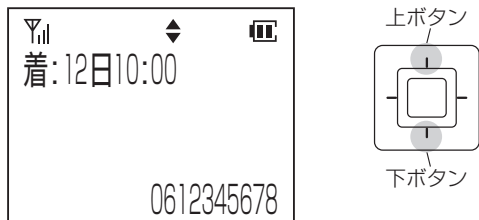
お知らせ

●主装置発信記録利用については、主装置取扱説明書を参照してください。
●BX ／ BXⅡシリーズでは、主装置発信記録はご利用できません。

電話をかけてきた相手にこちらからかけるには（着信記録）

電話がかかってきたときに、発信番号が通知されている場合は、その電話番号を最大10件記録することができます。その電話番号を呼び出して、電話をかけることができます。
電話番号は1件につき24桁まで記録できます。

かけてきた相手にこちらからかける

1 待ち受け状態で、着信履歴ボタンを押す。
着信記録が新しい順に表示されます。

2 上下ボタンでかけたい相手先を選択する。

3 外線ボタンを押す。
表示されている電話番号がダイヤルされます。

電話帳に登録されているとき

1 待ち受け状態で、着信履歴ボタンを押す。
着信記録が新しい順に表示されます。

ワンポイント

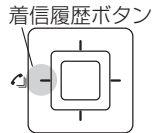
- 発信者番号が通知されている電話に出られなかったときは、待ち受け状態で 不在 が表示されます。
  不在 表示は本装置のメニュー設定で表示する／しないを変更することができます。
  待ち受け状態でメニューボタン、1、8、決定ボタンの順に押す。表示する場合には、ONを、表示しない場合には、OFFを選択し、決定ボタンを押す。
- 電話に出られなかった着信記録の表示は、時刻の右側に「不在」が表示されます。
- 発サブアドレスが通知されている場合には、発サブアドレスも記録されます（区切り文字は「＊」です）。
- かけてきた相手の方の電話番号が、電話帳に登録されている場合は名前が表示されます。
- トランシーバモードで電話をかけるときは フック ボタンを押してください。
- 待ち受け状態でメニューボタン、8、4、決定ボタンの順に押すと、手順1の画面が表示します。

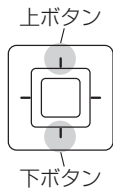
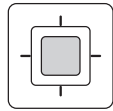
- 着信記録は電源を切っても保持されます。

着信記録を削除するには

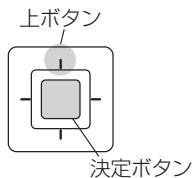
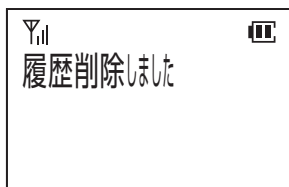
着信記録を検索したあとに削除することができます。また、着信記録の全データを一度に削除することもできます。

記録されたデータの削除

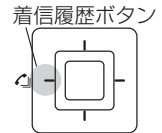
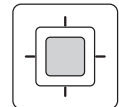
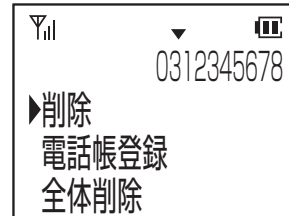
1 待ち受け状態で、着信履歴ボタンを押す。

着信記録が新しい順に表示されます。

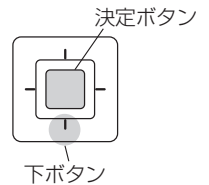
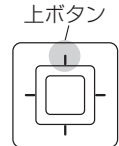
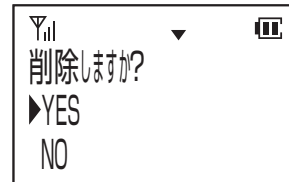
2 上下ボタンで削除する着信記録を選択する。

3 決定ボタンを押す。

4 上ボタンで「削除」を選択して、決定ボタンを押す。

「ピピ」という確認音が鳴ります。

着信記録が削除され、待ち受け状態に戻ります。

記録された全データの削除

1 待ち受け状態で、着信履歴ボタンを押す。

着信記録が新しい順に表示されます。

2 決定ボタンを押す。

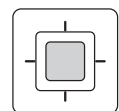
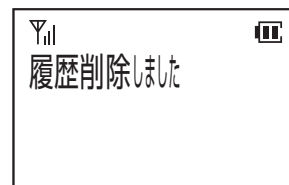
3 下ボタンで「全体削除」を選択して、決定ボタンを押す。

4 上ボタンで「YES」を選択する。

5 決定ボタンを押す。

「ピピ」という確認音が鳴ります。

着信記録の全データが削除され、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

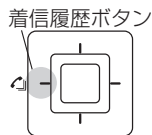
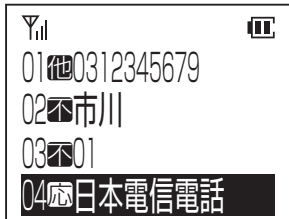
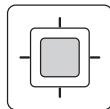
- 全データの削除で「NO」を選択した場合は、全データの削除が中止され、待ち受け状態に戻ります。

主装置着信記録を利用するには

着信履歴を読み出す

1 F ボタンを押す。

2 着信履歴ボタンを押す。

3 決定ボタンを押す。

01/01 午前 2:10 応
日本電信電話
0312345678

ワンポイント

●主装置着信記録表示中に、メニューボタンを押し、電話帳登録、1件削除、全体削除を選択操作することができます。

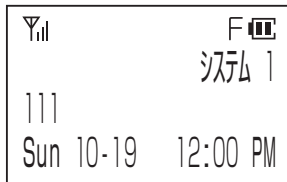
お知らせ

●主装置着信記録利用については、主装置取扱説明書を参照してください。
●BX ／ BXⅡシリーズでは、主装置着信記録はご利用できません。

主装置メニューを利用するには

システム一括設定を利用する際は、主装置システムデータの変更が必要になります。

主装置メニュー操作

1 F ボタンを押す。

2 メニュー ボタンを押す。

●主装置メニュー機能利用については、主装置取扱説明書を参照してください。
●BX ／ BXⅡシリーズでは、主装置メニューはご利用できません。

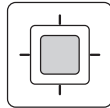
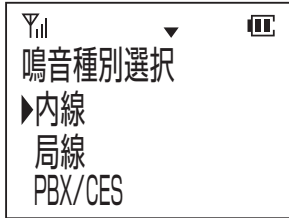
着信の種類ごとに音を変えるには

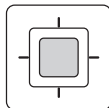
音を変えることのできる着信の種類は、内線着信、局線着信（外線着信）、PBX／CES着信、時計アラーム、トランシーバ着信、ドアホン着信です。それぞれの着信の種類に対応する着信音を設定できます。

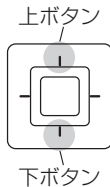
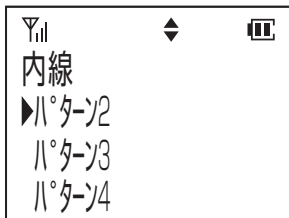
内線着信の着信音を変更する

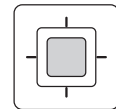
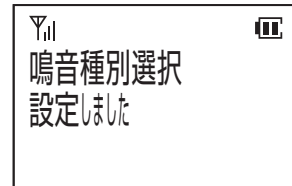
1 **待ち受け状態で、メニューボタン、3 2の順に押す。**

「鳴音種別選択」が表示されます。

2 **決定ボタンを押す。**

3 **設定する内容を選択し、決定ボタンを押す。**

現在設定している着信音が鳴ります。

4 **上下ボタンで音の種類を選択する。**

上下ボタンを押すたびに選択された着信音が鳴ります。

5 **決定ボタンを押す。**

「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

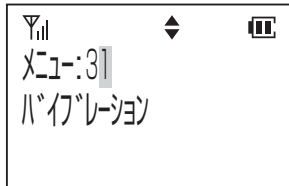
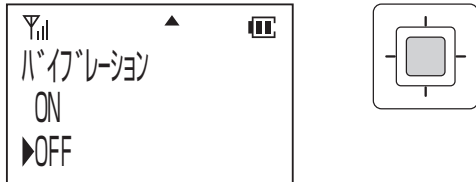
●選択できる着信音は以下のとおりです。

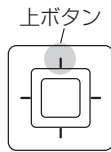
パターン1～6
ドアホン1～2
メロディ１：エンターテナー／ジョプリン
メロディ２：四季～春～／ビバルディ
メロディ３：軍隊行進曲／シューベルト
メロディ４：アビニヨンの橋の上で／フランス民謡
メロディ５：故郷の空／スコットランド民謡

着信を振動で知らせるには（バイブレーション着信）

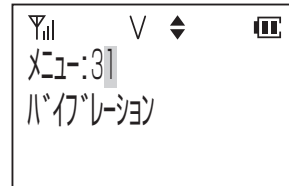
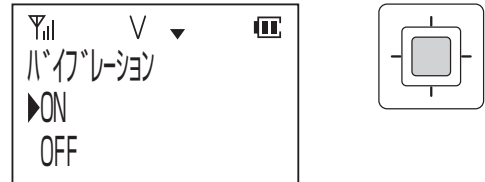
バイブレーション着信を設定すると、着信音量に関係なく着信を振動でお知らせします。また、着信音を鳴らす設定にしているときは、着信音とバイブレーション着信が同時に行われます。

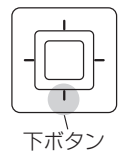
バイブレーション着信を設定する

1 待ち受け状態で、メニューボタン、3 サ DEF 1 ア の順に押す。
「バイブレーション」が表示されます。

2 決定ボタンを押す。

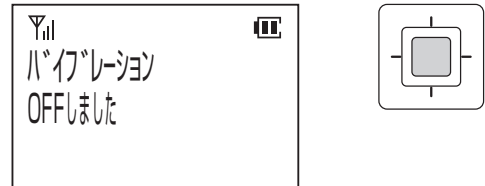
3 上ボタンで「ON」を選択する。

4 決定ボタンを押す。
バイブレーション着信が設定されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

バイブレーション着信を解除する

1 待ち受け状態で、メニューボタン、3 サ DEF 1 ア の順に押す。
「バイブレーション」が表示されます。

2 決定ボタンを押す。

3 下ボタンで「OFF」を選択する。

4 決定ボタンを押す。
バイブレーション着信が解除されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

- バイブレーション着信を設定すると「V」ピクトが点灯します。
- 着信音量を「ステップトーン」に、バイブレーションをONに設定すると、約10秒間バイブレーションを行ったあとにステップトーンの着信音となります。このとき、バイブレーションは停止します。
- マナーモードになっている場合は、マナー設定のバイブレーションの設定に従います。（☛P93）

お知らせ

- 充電中はバイブレーションになりません。このとき充電台から取りあげても、バイブレーションとはなりません。

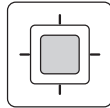
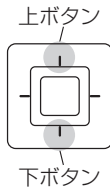
マナーモードを設定するには

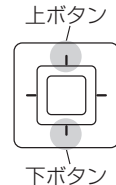
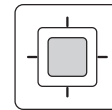
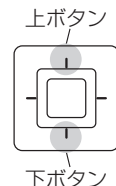
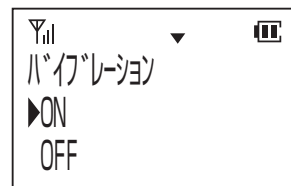
周囲の迷惑にならないように、あらかじめ着信音、確認／警告音、バイブレーションのON ／ OFFなどのマナーモードの機能をそれぞれ設定しておくことができます。マナーボタンを押すと、設定した内容に一時的に変更できます。

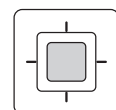
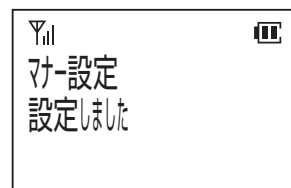
マナーモードの機能を設定する

1 待ち受け状態で、メニューボタン、1 ア 4 タ GHI の順に押す。

「マナー設定」が表示されます。

2 決定ボタンを押す。

3 上下ボタンで着信音の「ON ／ OFF ／オートオフ」を選択する。

4 決定ボタンを押す。

5 上下ボタンで確認／警告音の「ON ／ OFF」を選択する。

6 決定ボタンを押す。

7 上下ボタンでバイブレーションの「ON ／ OFF」を選択する。

8 決定ボタンを押す。

「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

- マナーモードの設定は、電源を切っても保持されます。
- 着信音量を「ステップトーン」に、バイブレーションをONに、マナー設定の着信音をONに設定すると、約10秒間バイブレーションを行ったあとにステップトーンの着信音となります。このとき、バイブレーションは停止します。
- 着信音をオートオフに設定すると、着信音が約30秒間鳴ったあとに停止します。そのあと、新たな着信（優先度の高い着信）があると、再び着信音が約30秒間鳴ります。

お知らせ

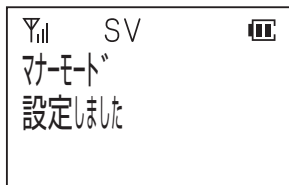
- 充電中はバイブレーションになりません。

マナーモードを設定するには

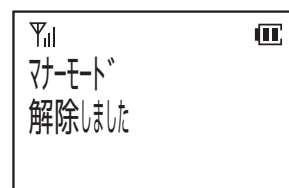
マナーモードを設定する

1 待ち受け状態で、[# 記号 マナー]ボタンを1秒以上押す。

マナーモードに設定されます。
待ち受け状態に戻ります。

SV
マナーモード
設定しました

マナーモードを解除する

1 マナーモード状態で、[# 記号 マナー]ボタンを1秒以上押す。

マナーモードが解除されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

- **マナーモードを設定すると、待ち受け状態で マナー が表示されます。**
- **マナーモードを設定すると、マナーモードの機能の設定に従って「S」「V」ピクトが点灯します。**

- キーロック中はマナーモードの設定操作および解除操作は無効となります。
- マナーモードを設定したときの確認音はマナーモードの機能の設定に従います。

誤操作を防止するには　（キーロック）

電話機を持ち歩くときなどに間違えてボタンを押してしまわないようにするには、キーロックを設定すると便利です。

キーロックを設定する

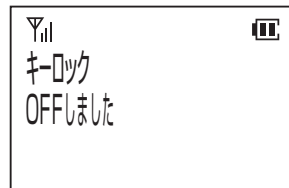
1 待ち受け状態で、[＊ ロック]ボタンを1秒以上押す。

キーロックが設定されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

キーロック
ONしました

キーロックを解除する

1 キーロック状態で、[＊ ロック]ボタンを1秒以上秒押す。

キーロックが解除されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

キーロック
OFFしました

ワンポイント

- **キーロックの設定は電源を切っても保持されます。**
- **電話がかかってきたときに、[フック]ボタンを1秒以上押すと電話を受けることができ、通話中は一時解除されます。通話を切ると再びキーロックが設定されます。**
- **エニーキー応答設定がONのときも、キーロックが優先されます。**
- **通話中にはキーロックの設定操作、解除操作はできません。**
- **キーロック中であっても時刻のアラーム鳴音停止、着信中の鳴音停止（クイックサイレント）を[電源]ボタンを押して行うことができます。**

お知らせ

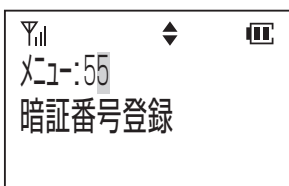
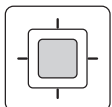
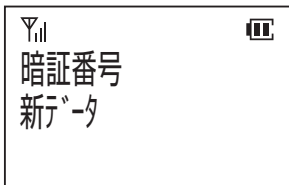
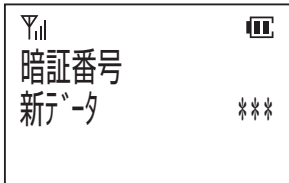
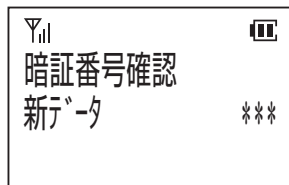
- キーロック中にボタンを押すと、液晶ディスプレイに「キーロック」と一定時間表示されます。このとき、液晶バックライト・ダイヤルライトは点灯しません。

暗証番号を登録／変更するには

暗証番号（4桁）は、ダイヤルロックや電話帳ロックを設定したり解除したりするために必要です。暗証番号は4桁の数字を使って登録します。

暗証番号を新規に登録する

1 **待ち受け状態で、［メニュー］ボタン、［5］［5］の順に押す。**

「暗証番号登録」が表示されます。

2 **決定ボタンを押す。**

3 **暗証番号4桁を入力する。**

4 **暗証番号4桁を確認のため、もう一度入力する。**

暗証番号が登録されます。

「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

お知らせ

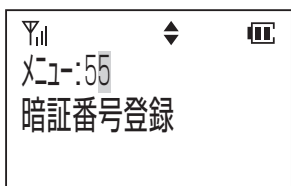
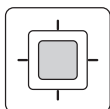
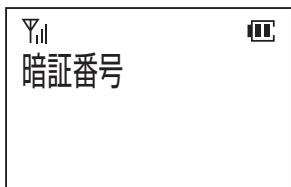
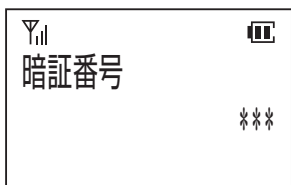
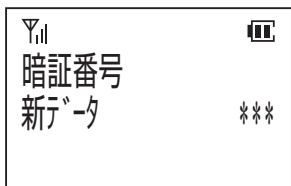
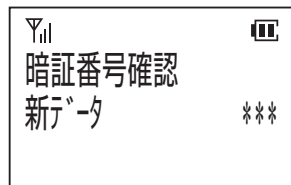
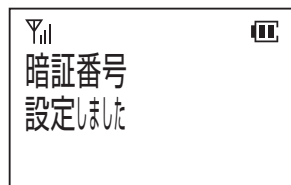
- ●登録した暗証番号は、ダイヤルロックや電話帳ロックを解除するときに必要ですので、メモを取っておくなどして忘れないように気を付けてください。万一、登録した暗証番号を忘れてしまったときは、当社のサービス取扱所にご相談ください。
- ●暗証番号の削除はできません。
- ●登録した暗証番号は、電源を切っても保持されます。
- ●入力した番号は「＊」で表示されます。

ワンポイント

- ●**登録済み暗証番号や確認のための暗証番号を間違って入力すると「ピピピピピ」という警告音が鳴ります。**

暗証番号を変更する

1 **待ち受け状態で、[メニュー]ボタン、[5][5]の順に押す。**

「暗証番号登録」が表示されます。

2 **決定ボタンを押す。**

3 **登録済みの暗証番号4桁（0000 ～ 9999）を入力する。**

4 **新しい暗証番号4桁を入力する。**

5 **新しい暗証番号4桁を確認のため、もう一度入力する。**

暗証番号が変更されます。

「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

- **登録済み暗証番号や確認のための暗証番号を間違って入力すると「ピピピピピ」という警告音が鳴ります。**

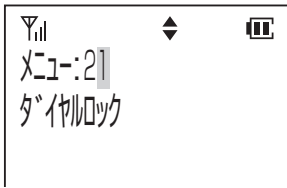
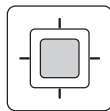
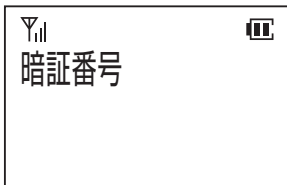
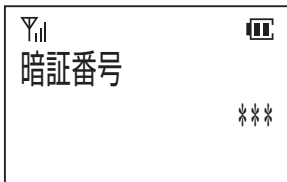
お知らせ

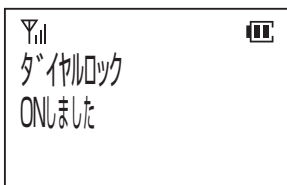
- 登録した暗証番号は、ダイヤルロックや電話帳ロックを解除するときに必要ですので、メモを取っておくなどして忘れないように気を付けてください。万一、登録した暗証番号を忘れてしまったときは、当社のサービス取扱所にご相談ください。
- 暗証番号の削除はできません。
- 登録した暗証番号は、電源を切っても保持されます。
- 入力した番号は「＊」で表示されます。

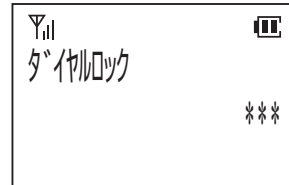
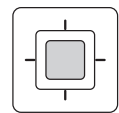
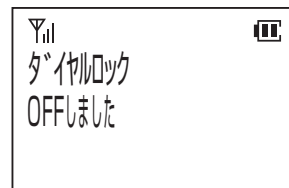
電話をかけられないようにするには（ダイヤルロック）

登録した暗証番号を入力してダイヤルロックを設定することができます。ダイヤルロックを設定すると、自営モード・トランシーバモードの各モードでは電話をかけることができません。
また、電話を受けること、電源のON／OFFは行えますが、キーロック以外の登録操作は行えません。

ダイヤルロックの設定

1 待ち受け状態で、[メニュー]ボタン、[2 カ ABC][1 ア]の順に押す。
「ダイヤルロック」が表示されます。

2 決定ボタンを押す。

3 暗証番号4桁を入力する。

ダイヤルロックが設定されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ダイヤルロックの解除

1 暗証番号4桁を入力する。

2 決定ボタンを押す。
ダイヤルロックが解除されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

- 暗証番号が登録されていないときは「ピピピピピ」という警告音が鳴り、ダイヤルロックを設定することはできません。<暗証番号を新規に登録する>(☛P96)
- ダイヤルロックの設定／解除を途中でやめたいときは、[☎ 電源]ボタンを押してください。

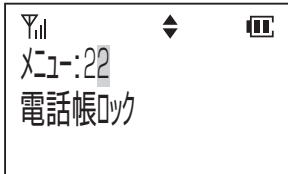
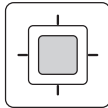
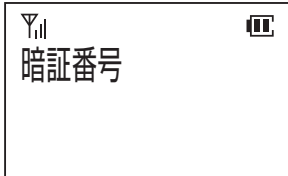
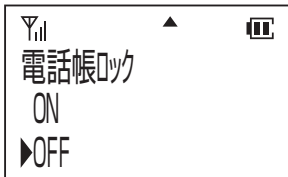
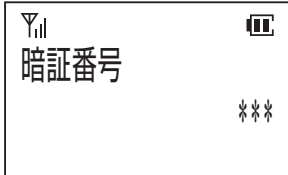
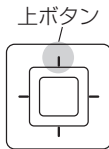
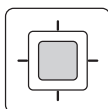
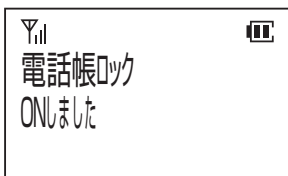
お知らせ

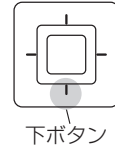
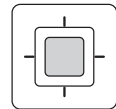
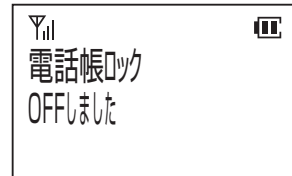
- 登録した暗証番号を忘れてしまったときは、当社のサービス取扱所にご相談ください。
- ダイヤルロック中に無効なボタンを押すと、ディスプレイに「ダイヤルロック」と表示され「ピピピピピ」という警告音が鳴ります。
- キーロックとダイヤルロックが両方とも設定されているときは、キーロックを解除したあとでダイヤルロックを解除してください。
- ダイヤルロック解除の操作の途中で6秒以上ボタンを押さないと、ディスプレイは待ち受け状態の表示に戻ります。

電話帳を開けないようにするには（電話帳ロック）

登録した暗証番号を入力して電話帳ロックを設定することができます。
電話帳ロックを設定すると、電話帳を開くことができません。
電話をかけたり受けたりすることや、電源のON ／ OFFは行えます。

電話帳ロックを設定する

1 待ち受け状態で、メニューボタン、2 2 の順に押す。
「電話帳ロック」が表示されます。

2 決定ボタンを押す。

3 暗証番号4桁を入力する。

4 上ボタンで「ON」を選択する。

5 決定ボタンを押す。
電話帳ロックが設定されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

電話帳ロックを解除する

4 下ボタンで「OFF」を選択する。

5 決定ボタンを押す。
電話帳ロックが解除されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

- **電話帳ロックの設定解除を途中でやめたいときは、電源ボタンを押します。**

お知らせ

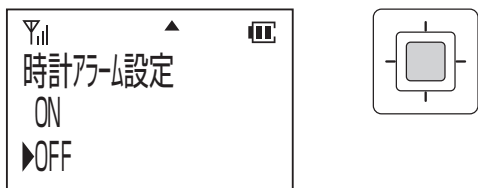
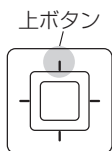
- 電話帳ロック中に電話帳ボタンを押すと、液晶ディスプレイに「電話帳ロック」と表示されます。
- 電話帳ロックの設定は、電源を切っても保持されます。
- キーロックまたはダイヤルロックと電話帳ロックが設定されているときは、キーロックまたはダイヤルロックを解除したあとで電話帳ロックを解除してください。
- 登録した暗証番号を忘れてしまったときは、当社のサービス取扱所にご相談ください。

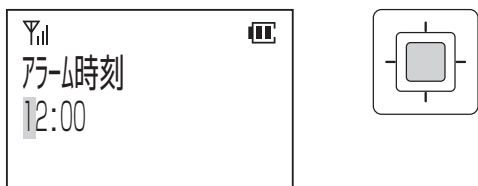
アラーム時刻を設定するには

アラーム時刻を設定して、一度だけアラームを鳴らしたり、毎日同じ時刻にアラームを鳴らすことができます。アラームは設定した着信音と着信音量で1分間鳴ります。

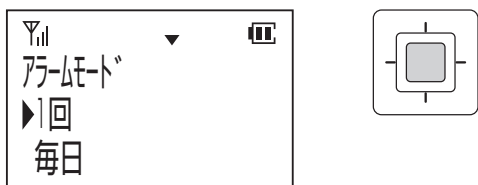
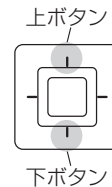
アラームを設定する

1 待ち受け状態で、メニューボタン、1ア 1ア、決定ボタンの順に押す。

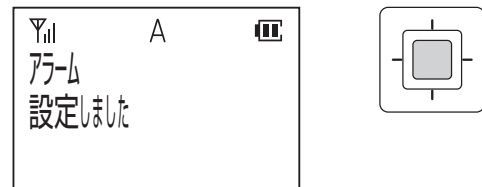
「時計アラーム設定」の設定画面が表示されます。

2 上ボタンで「ON」を選択する。

3 決定ボタンを押す。

「アラーム時刻」が表示されます。

4 アラーム時刻をダイヤルボタンで入力する。

5 決定ボタンを押す。

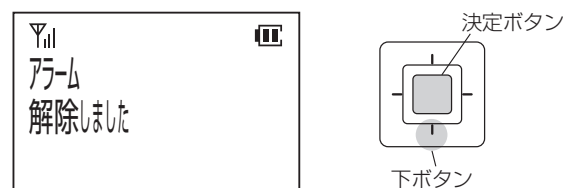
「アラームモード」が表示されます。

6 上下ボタンで「1回／毎日」を選択する。

7 決定ボタンを押す。

アラームが設定されます。

「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

アラームを解除する

2 下ボタンで「OFF」を選択して、決定ボタンを押す。

アラームが解除されます。

「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

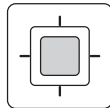
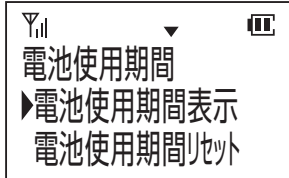
- アラームが設定されているときは「A」ピクトが点灯します。
- アラーム鳴音はマナーモード時はマナー設定に従います。
- アラーム鳴音を停止するときは電源ボタンを押します。キーロック中でも電源ボタンを押すと、アラーム鳴音は停止します。
- アラーム時刻の設定は、電源を切っても保持されます。

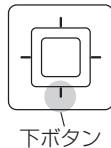
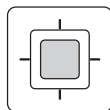
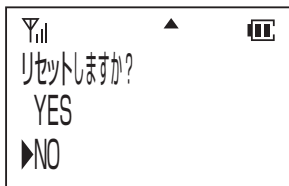
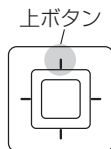
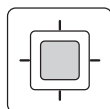
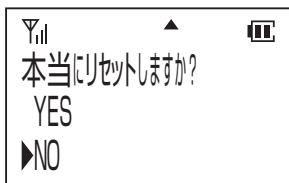
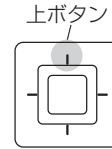
電池使用期間を確認するには

電池パックの交換時に使用開始日を設定することにより、電池パックの使用日数を確認することができます。

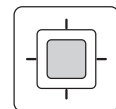
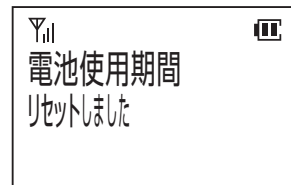
使用開始日を設定する

1 待ち受け状態で、メニューボタン、1ア 9ラWXYZ の順に押す。

「電池使用期間」が表示されます。

2 決定ボタンを押す。

3 下ボタンで「電池使用期間リセット」を選択する。

4 決定ボタンを押す。

5 上ボタンで「YES」を選択する。

6 決定ボタンを押す。

7 上ボタンで「YES」を選択する。

8 決定ボタンを押す。

現在の年月日が使用開始日に設定されます。

「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

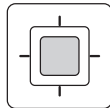
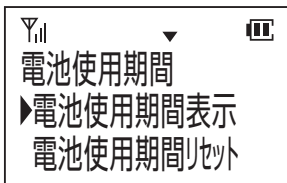
- **はじめてお使いの時の最初の時刻設定時には、設定された年月日が自動的に使用開始日に設定されます。**
- **手順5、手順7で「NO」を選択した場合は、使用開始日の設定は中止され、待ち受け状態に戻ります。**

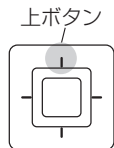
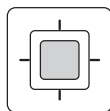
お知らせ

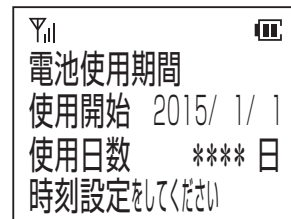
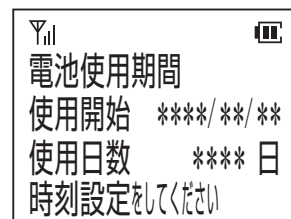
- 電池パックを交換したときは、必ず時刻の設定(☛P33)を行ってから使用開始日の設定を行ってください。
- 電池パックを交換したときに、時刻の設定を行わずに使用開始日の設定を行ったときは「ピピピピピ」という警告音が鳴り「時刻設定後リセットしてください」と表示されて、約2秒後に待ち受け状態に戻ります。
- 使用開始日は、電源を切っても保持されます。

電池使用期間を確認するには

電池使用期間を表示する

1 **待ち受け状態で、[メニュー]ボタン、[1 ア][9 ラ WXYZ]の順に押す。**
「電池使用期間」が表示されます。

2 **決定ボタンを押す。**

3 **上ボタンで「電池使用期間表示」を選択する。**

4 **決定ボタンを押す。**
電池パックの使用開始日と使用日数が表示されます。約2秒後に待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

- 使用日数の表示は最大9999日となります。また、1日未満の場合は0日となります。
- 電池パック抜き差し後に時刻設定が行われていない場合は、使用日数は「＊＊＊＊日」と表示されます。

この場合は、時刻の設定(☛P33)を行ってください。
また、使用開始日の設定が行われていない場合は、使用開始は「＊＊＊＊/＊＊/＊＊」と表示されます。

この場合は、時刻の設定(☛P33)と使用開始日の設定(☛P101)を行ってください。

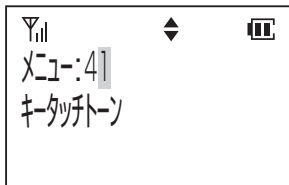
いろいろな機能を設定するには

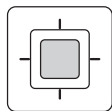
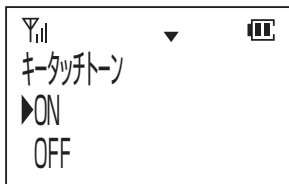
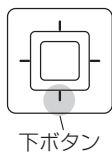
ご使用方法にあわせて、ディジタルシステムコードレス電話機のいろいろな機能を設定することができます。

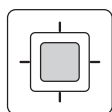
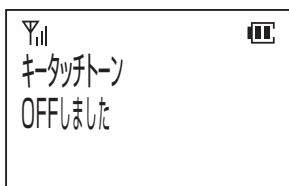
- 決定ボタンを押したときに表示されるメニュー項目は「設定できる機能の一覧」(☛P114)でご確認ください。
- 操作を途中でやめたいときは［電源］ボタンを押してください。
- 操作の途中で約30秒間ボタンを押さないと設定は無効になります。もう一度最初からやり直してください。［クリア］ボタンを押すと前の画面に戻ることができます。
- 登録操作中に電話がかかってくると登録は無効となり、着信音が鳴ります。通話が終わってからもう一度最初からやり直してください。

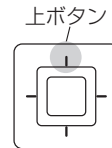
操作するときの音を消す（キータッチトーン）

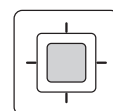
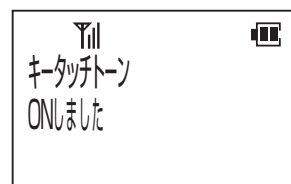
1 待ち受け状態で、［メニュー］ボタン、［4］［1］の順に押す。

「キータッチトーン」が表示されます。

2 決定ボタンを押す。

「キータッチトーンON／OFF」が表示されます。

3 下ボタンでキータッチトーンの「OFF」を選択する。

4 決定ボタンを押す。

キータッチトーンがOFFに設定されます。「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

操作するときの音を出す（キータッチトーン）

3 上ボタンでキータッチトーンの「ON」を選択する。

4 決定ボタンを押す。

キータッチトーンがONに設定されます。「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

いろいろな機能を設定するには

クイック通話を設定すると、電話をかけるとき、受けるとき、切るときの操作が次のようになります。

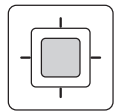
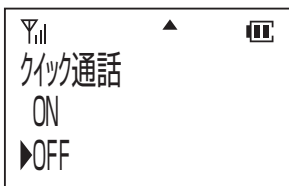
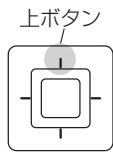
- 電話がかかってきたときは、充電台から取りあげたあとそのまま相手の方と通話できます。
- 通話が終わったらそのままディジタルシステムコードレス電話機を充電台に戻すと、自動的に通話が切れます。
- 待ち受け中に充電台から取りあげるだけで発信状態になります。

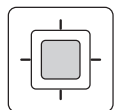
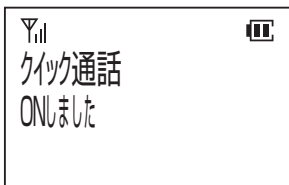
クイック通話を設定する

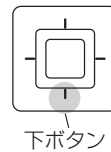
1 待ち受け状態で、[メニュー]ボタン、[5][2]の順に押す。

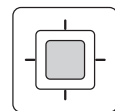
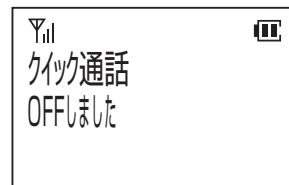
「クイック通話」が表示されます。

2 決定ボタンを押す。

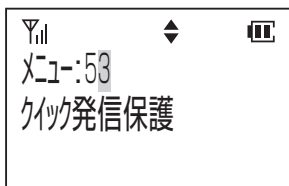
「クイック通話ON／OFF」が表示されます。

3 上ボタンで「ON」を選択する。

4 決定ボタンを押す。

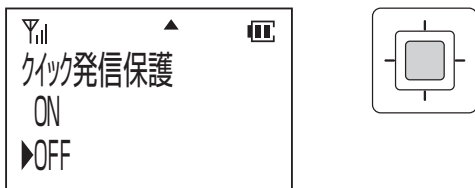
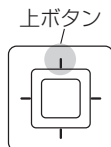
クイック通話が設定されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

クイック通話を解除する

3 下ボタンで「OFF」を選択する。

4 決定ボタンを押す。

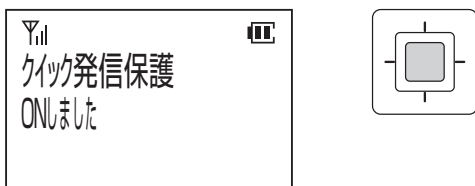
クイック通話が解除されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

クイック発信保護を設定する

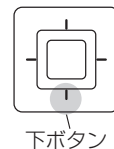
1 **待ち受け状態で、[メニュー]ボタン、[5][3]の順に押す。**

「クイック発信保護」が表示されます。

2 **決定ボタンを押す。**

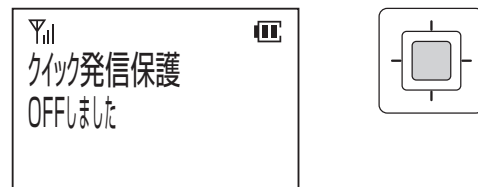
「クイック発信保護ON ／ OFF」が表示されます。

3 **上ボタンで「ON」を選択する。**

4 **決定ボタンを押す。**

クイック発信保護が設定されます。

「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

クイック発信保護を解除する

3 **下ボタンで「OFF」を選択する。**

4 **決定ボタンを押す。**

クイック発信保護が解除されます。

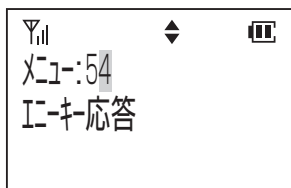
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

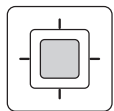
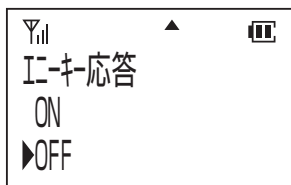
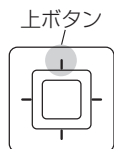
- クイック発信保護をONにすると、ディジタルシステムコードレス電話機を充電台から取りあげたときにクイック通話による自動発信が行われた場合、その後約30秒間ボタンを押さないと自動的に回線が切れます。

いろいろな機能を設定するには

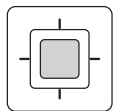
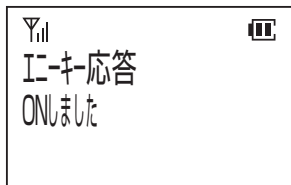
ダイヤルを押すだけで着信に応答する（エニーキー応答）

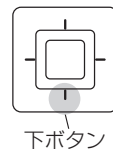
1 **待ち受け状態で、メニューボタン、5 4の順に押す。**

「エニーキー応答」が表示されます。

2 **決定ボタンを押す。**

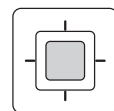
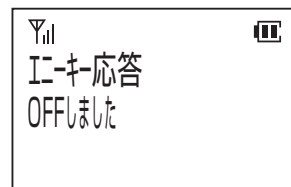
「エニーキー応答ON ／ OFF」が表示されます。

3 **上ボタンで「ON」を選択する。**

4 **決定ボタンを押す。**

エニーキー応答が登録されます。

「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

エニーキー応答を解除する

3 **下ボタンで「OFF」を選択する。**

4 **決定ボタンを押す。**

エニーキー応答が解除されます。

「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

- **エニーキー応答を設定すると、電話がかかってきたとき0～9、＊、＃ボタンを押しても、電話に出ることができます。**

お知らせ

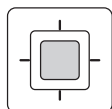
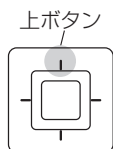
- キーロック中にエニーキー応答はできません。キーロック中に着信応答するにはフックボタンを1秒以上押し続けます。
- 自営モードでは、主装置の「システム設定」で着信自動応答が設定されていないと着信応答となりません。

モデム通信を設定する

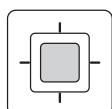
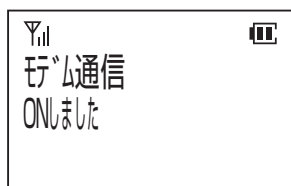
1 **待ち受け状態で、［メニュー］ボタン、［1 ア］［5 ナ JKL］の順に押す。**

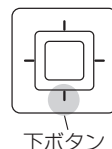
「モデム通信」が表示されます。

2 **決定ボタンを押す。**

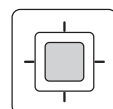
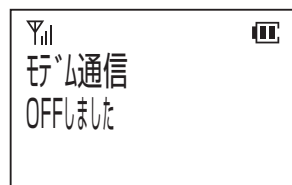
「モデム通信ON ／ OFF」が表示されます。

3 **上ボタンで「ON」を選択する。**

4 **決定ボタンを押す。**

モデム通信が設定されます。

「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

モデム通信を解除する

3 **下ボタンで「OFF」を選択する。**

4 **決定ボタンを押す。**

モデム通信が解除されます。

「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

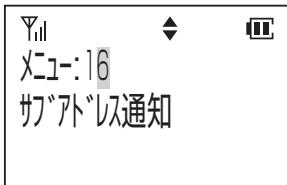
- **モデム通信を設定すると、ディジタルシステムコードレス電話機のイヤホンマイク差込口に接続した市販モデムで、データ通信が行えます。**
- **ディジタルシステムコードレス電話機は、モデムからのダイヤルで電話をかけることはできません。まず通信ケーブルでイヤホンマイク差込口と市販モデムを接続してから、ディジタルシステムコードレス電話機で電話をかけたのちにモデム通信を開始してください。**
- **モデムを使用したデータ通信はモデム通信が設定され、イヤホンマイク差込口に通信ケーブルが差し込まれた状態で、通信可能となります。**

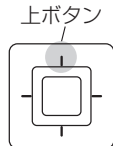
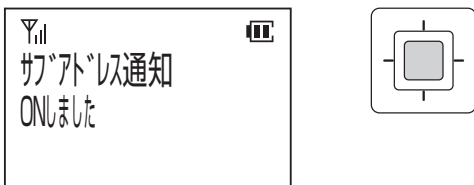
お知らせ

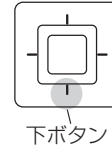
- イヤホンマイクを使用して通話を行う場合は、モデム通信を解除してください。
- 電源を切ると、モデム通信の設定が解除されます。
- モデム通信が終わりましたら、モデム通信の設定を「OFF」にしてから使用してください。
- モデム通信は周囲の環境により、データ誤りが発生することがあります。
- モデム通信中にキャッチホンなどの着信があるとデータ誤りが著しく発生し、正常に通信できなくなる場合があります。

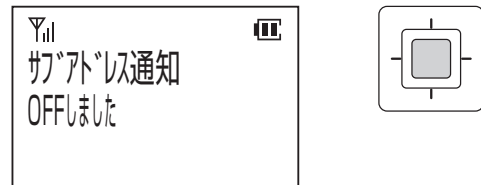
いろいろな機能を設定するには

サブアドレス通知を設定する

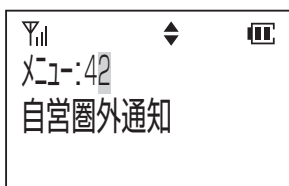
1 **待ち受け状態で、［メニュー］ボタン、［1］［6］の順に押す。**
「サブアドレス通知」が表示されます。

2 **決定ボタンを押す。**
「サブアドレス通知ON／OFF」が表示されます。

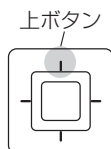
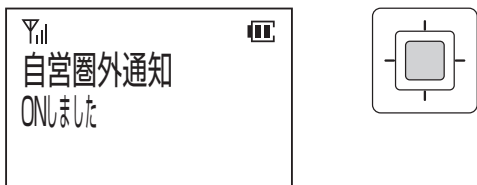
3 **上ボタンで「ON」を選択する。**

4 **決定ボタンを押す。**
サブアドレス通知が設定されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

サブアドレス通知を解除する

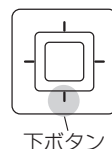
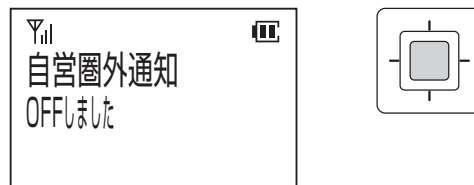
3 **下ボタンで「OFF」を選択する。**

4 **決定ボタンを押す。**
サブアドレス通知が解除されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

サブアドレス通知
OFFしました

●内線電話機としてお使いのときは、OFFに設定してください。

自営圏外通知を設定する

1 **待ち受け状態で、［メニュー］ボタン、［4］［2］の順に押す。**
「自営圏外通知」が表示されます。

2 **決定ボタンを押す。**
「自営圏外通知ON ／ OFF」が表示されます。

3 **上ボタンで「ON」を選択する。**

4 **決定ボタンを押す。**
自営圏外通知が設定されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

自営圏外通知を解除する

3 **下ボタンで「OFF」を選択する。**

4 **決定ボタンを押す。**
自営圏外通知が解除されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

●自営圏外通知を設定すると、自営モードで圏外へ移動した場合に「ピー…ピー…ピー…」という音で通知します。

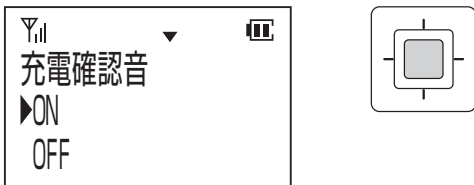
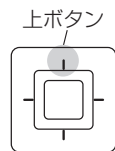
いろいろな機能を設定するには

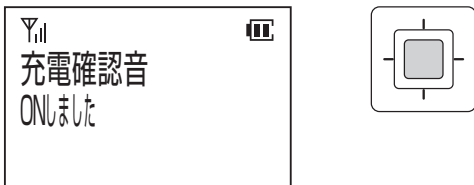
充電確認音を設定する

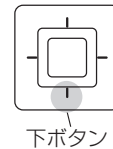
1 **待ち受け状態で、［メニュー］ボタン、［4 タ GHI］［3 サ DEF］の順に押す。**

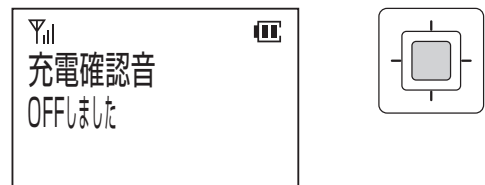
「充電確認音」が表示されます。

2 **決定ボタンを押す。**

「充電確認音ON ／ OFF」が表示されます。

3 **上ボタンで「ON」を選択する。**

4 **決定ボタンを押す。**

充電確認音が設定されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

充電確認音を解除する

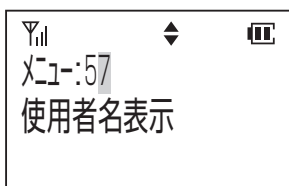
3 **下ボタンで「OFF」を選択する。**

4 **決定ボタンを押す。**

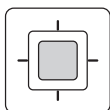
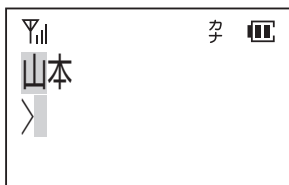
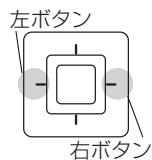
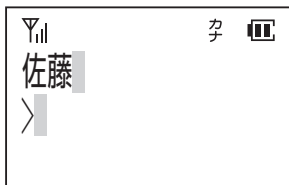
充電確認音が解除されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

●充電確認音は、ディジタルシステムコードレス電話機が充電台に正しく置かれたことをお知らせするものです。

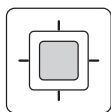
使用者名を登録する

1 **待ち受け状態で、メニューボタン、5 7の順に押す。**

「使用者名表示」が表示されます。

2 **決定ボタンを押す。**

現在登録されている名称が上段に表示されます。

3 **左右ボタンでカーソルを移動し、新しい名称を入力する。**

4 **決定ボタンを押す。**

使用者名が登録されます。

「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

- 使用者名を登録すると、待ち受け状態のとき、液晶ディスプレイに使用者名が表示されます。
- 文字を入力するには（☛P69）

お知らせ

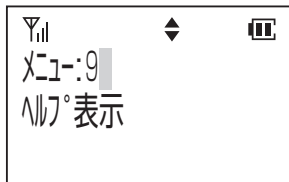
- 自営モードのときは接続されている主装置の表示機能が優先されます。

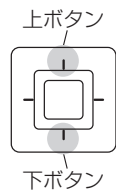
いろいろな機能を設定するには

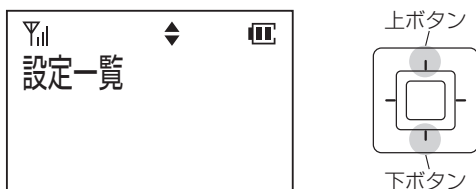
操作が分からないときは（ヘルプ表示）

操作が分からないときや、使いかたを忘れたときにご利用ください。ヘルプを表示していろいろな機能を設定できます。

1 待ち受け状態で、メニューボタン、9 ラ WXYZの順に押す。

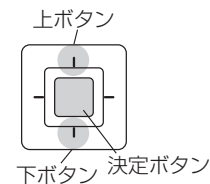
「ヘルプ表示」が表示されます。

2 決定ボタンを押す。

3 上下ボタンでヘルプ表示を切り替える。

4 設定一覧を見たいときは上下ボタンで「設定一覧」を選択する。

上ボタン
下ボタン

5 決定ボタンを押す。

6 上下ボタンで設定したい項目を選択し、決定ボタンを押す。

選択した設定の操作ができます。

Q&A

この取扱説明書で説明している操作方法に関して、共通して役に立つ便利な操作や操作上の注意点などをまとめています。アイコンを目印にして、本文中から簡単に参照できるようになっています。

電話をかける／受ける

通　話

クイック通話が設定されているときは？

- ディジタルシステムコードレス電話機を充電台から取りあげると、内線の発信ができます。また、ディスプレイには「内線」と表示されます。

- スピーカ受話中に充電台に戻すと、通話は切れます。

PBXなどに接続しているときは？

- 外線発信番号と相手の方の電話番号を押して電話をかけます。

主装置側で「プリセレクションサービス」を利用されているときは？

- 外線ボタンを押したあとに、［フック］ボタンを押します。
- BX ／ BXⅡ-RMでは、プリセレクションサービスはご利用できません。

表　示

液晶ディスプレイに表示される通話時間は？

- 通話時間の表示は目安です。実際の通話時間とは異なる場合があります。

設定できる機能の一覧

登録操作は［メニュー］ボタンを押し、メニュー番号を入力して行います。また、［メニュー］ボタンを押したあと、上下ボタンで目的のメニューを表示することもできます。

表示	メニュー番号	機能の説明	初期値	参照ページ
自番号表示	0	内線番号の確認をします	－	☛P31
時計アラーム設定	11	アラーム時刻を設定します	－	☛P100
システム選択	12	システムを手動で切り替えます	－	☛P40
モード切替	13	動作モードを切り替えます	自営	☛P30
マナー設定	14	マナーモード時の動作を設定します	（注1）	☛P94
モデム通信	15	モデム通信を設定します	OFF	☛P107
サブアドレス通知	16	サブアドレス通知を設定／解除します	OFF	☛P108
トランシーバグループ登録	17	トランシーバグループを登録します	－	☛P67
不在着信表示（注2）	18	「不在」表示する／しないを設定します	ON	☛P87
電池使用期間	19	電池パックの使用日数の確認をします	－	☛P101
ダイヤルロック	21	ダイヤルロックを設定／解除します	OFF	☛P98
電話帳ロック	22	電話帳ロックを設定／解除します	OFF	☛P99
電話帳全消去	23	電話帳の登録データをすべて消去します	－	☛P79
バイブレーション	31	バイブレーション着信を設定／解除します	OFF	☛P92
鳴音種別選択	32	着信音のパターンを切り替えます	－	☛P91
話中着信音	35	自営モードで通話中の着信音を設定／解除します	ON	☛P62
着信音量	36	着信音量の設定をします	－	☛P37
受話音量	37	通話中の受話音量を設定します	－	☛P34
スピーカ音量	38	スピーカ受話の音量を設定します	－	☛P36
キータッチトーン	41	キータッチトーンを設定／解除します	ON	☛P103
自営圏外通知	42	自営圏外通知を設定／解除します	OFF	☛P109
充電確認音	43	充電確認音を設定／解除します	ON	☛P110
時刻設定	51	時刻を設定します	－	☛P33
クイック通話	52	クイック通話を設定／解除します	OFF	☛P104
クイック発信保護	53	クイック発信保護を設定／解除します	OFF	☛P105
エニーキー応答	54	エニーキー応答を設定／解除します	OFF	☛P106
暗証番号登録	55	暗証番号を登録します	－	☛P96
トランシーバ番号	56	トランシーバ番号を設定します	－	☛P64
使用者名表示	57	使用者名を設定します	－	☛P111
電話帳グループ名	58	電話帳グループ名を設定します	－	☛P80
液晶バックライト	59	省電力のために液晶バックライト点灯を設定／解除します	ON	☛P23
電話帳登録／編集	81	電話帳の登録編集をします	－	☛P71
電話帳検索	82	電話帳の検索をします	－	☛P73
発信履歴	83	発信履歴の検索／削除をします	－	☛P84
着信履歴	84	着信履歴の検索／削除をします	－	☛P87
ヘルプ表示	9	ヘルプを表示します	－	☛P112

（注1）着信音　OFF　　確認／警告音　OFF　　バイブレーション　ON
（注2）ディジタルシステムコードレス電話機のバージョンにより異なります。当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。
●「トランシーバグループ登録」はトランシーバモード時のみ表示されます。

電池パックの取り扱い

電池パックは消耗品です。ディジタルシステムコードレス電話機の使用頻度にもよりますが、1年程度ご使用になれます。ただし、以下のような場合は、電池パックが消耗しており寿命が近づいている可能性があります。新しい電池パック（カナ品名『A1-DCL-デンチパック-<1>』）に交換してください。

・長時間充電してもすぐに電池の残量がなくなる。

・電池が膨れる。

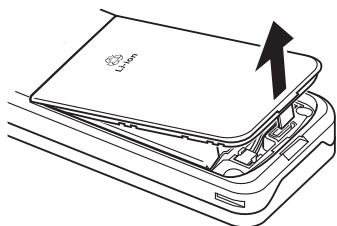
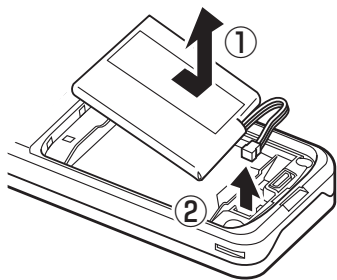
なお、ご購入についてはサプライセンタ 0120-868289、またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

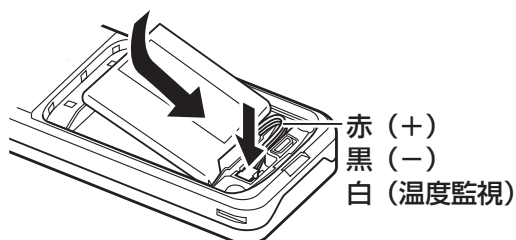
■電池パックを交換する

1 電源が入っているときは、電源ボタンを2秒以上押す。

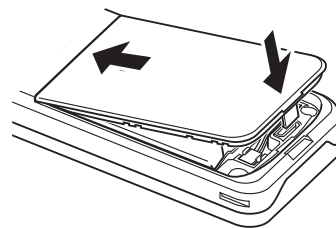
電源が切れます。

2 電池カバーを取り外す。

電池カバー下部のすき間に指をかけ、ゆっくりと持ち上げて取り外します。

3 電池パックを取り出し（①）、コネクタを外す（②）。

4 コネクタを差し込み、新しい電池パックを入れる。

バッテリーケーブルを溝に押し込んでください。

5 電池カバーを取り付ける。

電池カバーのツメを本体に差し込み、本体と電池カバーの間にすき間ができないように上から押さえます。

バッテリーケーブルをケースに挟まないように取り付けてください。

6 充電台に置き、9時間以上充電する。

電池パックの取り扱い

⚠危険

●電池パックについて

電池パックの取り扱いは、次の点にご注意ください。
- 必ず専用のものをお使いください。
- 取り出して充電しないでください。
- 火の中に投入したり、分解・加熱しないでください。
- 充電には、専用の充電台をお使いください。
- 端子を短絡させないでください。

お願い

●電池カバーを取り付けるときは、ゴムパッキンが付いていることを確認してください。

●電池カバーをしっかり取り付けてください。電池カバーの間に細かいゴミ（微細な繊維・砂・毛髪など）が挟まると、電話機内部に水が入る原因となります。

●充電は周囲の温度が5℃～ 35℃の環境で行ってください。5℃～ 35℃以外のときは正しく充電できないことがあります。

お知らせ

●電池パックをディジタルシステムコードレス電話機から取り外すときは、電池パック本体を外し、電池コードを3本同時に持って同軸線上に引き抜きます。また、電線を持って引き抜くときの角度は30°以内で行ってください。

●電池を取り付けるときは、電池パックのコネクタを本体のコネクタにあわせた後、PUSHの場所を押して取り付けてください。

●電池パックの交換は、必ず電源を切ってから行ってください。

●電池パックを交換したときは、必ず時刻の設定(☛P33)を行ってから使用開始日の設定(☛P101)を行ってください。

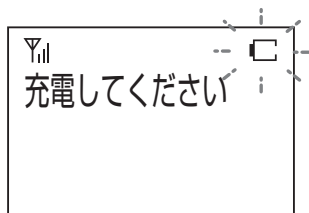
■電池パック回収のお願い

電池パックはリサイクル可能なリチウムイオン電池です。交換の際は当社のサービス取扱所へご持参いただくか、当社販売担当者にお渡しいただくなど、リサイクルの推進にご協力をお願いします。

電池の残量がなくなったときは

電池の残量がなくなったときは、ディジタルシステムコードレス電話機を充電してください。

1 電池がなくなると「ピ…ピ…ピ……」という警報音が鳴り、液晶ディスプレイの□マークが点滅する。

通話中の場合は、すみやかに通話を終わらせてディジタルシステムコードレス電話機を充電してください。

ワンポイント

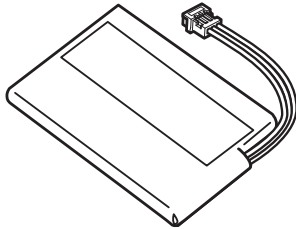
- 通話中に警報音が鳴ってもそのまま通話を続けると、約1分で電話が切れてしまいますのでご注意ください（電池パックの状態や周囲の温度などによってはそれよりも短い時間で切れてしまうこともあります）（電池が消耗している時は、通話が切れた後、警告音が鳴る場合もあります）。
- 電池の状態や周囲の温度などの影響で、液晶ディスプレイの▮マークでまだ残っているように見えても、電池切れの警報音が鳴ることがあります。
- 電話機の充電を行い、一定の電圧に達した場合に「充電してください」表示は消えます。

オプションおよび市販品をご利用になるには

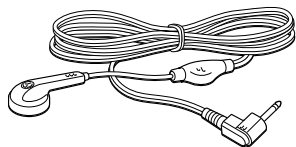
より便利にお使いになるためのオプションが用意されています。オプションをご利用になるときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

オプション

■電池パック
（A1-DCL-デンチパック-<1>）

ディジタルシステムコードレス電話機の電池パックを交換するときは、オプションの電池パックをご利用ください。

市販品

■イヤホンマイク

市販のイヤホンマイクをディジタルシステムコードレス電話機のイヤホンマイク差込口に接続すると、両手を自由に使いながら通話ができます。

お願い

●イヤホンマイクのプラグは、イヤホンマイク差込口にしっかりと差し込んでご使用ください。プラグがしっかりと差し込まれていないと、ハウリング音が発生することがあります。
●イヤホンマイクをご使用になる場合は、モデム通信を解除してからお使いください。

お知らせ

●3.5φ 4極プラグタイプのイヤホンマイクに対応しています。
●市販のiPhoneまたはAndroidスマートフォン用のイヤホンマイクがご使用できます。
●両耳タイプ・片耳タイプのいずれもご利用できます。
●市販のイヤホンマイクの通話ボタンには対応していません。通話の際は、本体の通話／切ボタンを押してください。
●市販のイヤホンマイクによっては、送話音量や受話音量が小さい場合があります。

ディジタルシステムコードレス電話機と他の内線標準電話機との違い（自営モードのとき）

ネットコミュニティシステムαNX／αNXⅡシリーズ、ネットコミュニティシステムBX／BXⅡシリーズでは、ディジタルシステムコードレス接続装置を使うことで、ディジタルシステムコードレス電話機を内線電話機として使用できます。この場合、主装置のほとんどの機能はディジタルシステムコードレス電話機で利用できますが、一部お使いになれない機能もあります。

■制限される機能

スピーカを利用した以下の機能は使えません。

- 音声によりディジタルシステムコードレス電話機を呼び出す機能（音声呼出・ハンズフリー通話・一斉放送など）
- 簡易自動再発信
- 着信音を保留音などで知らせる機能

以下のシステム設定は無効になります。

- 着信音音色切替
- 長周期鳴動

以下の機能はディジタルシステムコードレス電話機の機能が優先されるため、主装置の設定は無効になります。

- キータッチトーン

■確認音について

主装置の種類やサービス機能により、確認音がスピーカ口から聞こえる場合や、受話口から聞こえる場合があります。

■液晶ディスプレイ表示

- 主装置で内線番号、名前表示機能が設定されている場合、ディジタルシステムコードレス電話機の使用者名表示は表示されません。
- 最大20桁表示が可能ですが、接続装置の種類または、接続されている主装置の種類によっては、10桁、12桁または16桁分の表示のみとなります。

お知らせ

●他の内線標準電話機とは、液晶ディスプレイ付き24回線タイプの標準電話機などのことです。

●BX／BXⅡ-RMでは、長周期鳴動などの機能はご利用できません。

通話できる範囲から外れたときは（圏外）

ディジタルシステムコードレス電話機が通話できる範囲から外れたときは、通話できる範囲まで移動してください。

■待ち受け中や電話をかけようとしたとき

お話しできる範囲から外れると、液晶ディスプレイの Y が消えます。Yıl が表示される場所まで移動して、おかけ直しください。（☛P32）ただし、トランシーバモードでの待ち受け中は、液晶ディスプレイの Y は表示されません。

<自営モード>
あらかじめ、ディジタルシステムコードレス電話機で電話をかけて、ディジタルシステムコードレス接続装置からの電波の弱い場所を確認しておくことをお勧めします。なるべく電波の強い場所でご使用ください。

<トランシーバモード>
トランシーバ通話の相手の方が見通し距離約100 m以内か確認してください。

ワンポイント

● **圏外でないのに「ツー…ツー」という音が聞こえるのは**

- 他のコードレス電話機がディジタルシステムコードレス接続装置のチャネルをすべて使っていて、空いているチャネルがないときには液晶ディスプレイに「混み合っています」と表示され「ツー…ツー」という音が聞こえます。しばらく待ってから、おかけ直しください。
- 電波が強い場所でもディジタルシステムコードレス接続装置などに登録動作を自動的に行っているときは、［フック］ボタンやダイヤルボタンを押しても受け付けられない場合があります。しばらく待ってから、おかけ直しください。

■お話し中のとき

お話しできる範囲から外れると「ピー…ピー…ピー」という警報音が鳴ります。または、相手の声が聞こえなくなります。警報音が鳴らなくなる所（電波の強い場所）まで移動してください。（☛P32）ただし、トランシーバ通話のときは、警報音は鳴りません。

<自営モード>
ディジタルシステムコードレス接続装置に近づいて、警報音が鳴らなくなる電波の強い場所まで移動してください。

<トランシーバモード>
トランシーバ通話の相手の方に近づいてください。

お知らせ

● お話し中に圏外になったときは、警報音が鳴ったあと、電話が切れますのでご注意ください。
● 自営モードのときの圏外を知らせる警報音は、あらかじめ設定しておく必要があります。（☛P109）
● コンクリートパネル板で仕切られている場所など、周囲の状況によってお話しできる範囲が狭くなることがあります。
● 警報音が鳴っているときは、お話しすることができません。

こんな音がしたら

ディジタルシステムコードレス電話機から聞こえる音には、以下の意味があります。

●受話口から聞こえる音

音	ディジタルシステムコードレス電話機	音の意味
ツーツー…（内線発信音）	自営モードまたはトランシーバモードで充電台から取りあげるか、[フック]ボタンを押したとき	他の内線電話機を呼び出せます
ツー（外線発信音）	自営モードで外線ボタンを押したとき	電話をかけられます
プルプルプル…プルプルプル（呼出音）	外線または内線で相手を呼び出しているとき	相手の方を呼び出しています（自営モードとトランシーバモードとでは音が少し違います）
プープー…（話中音）	電話をかけた相手の方がお話し中のとき、または他の内線電話機や他のディジタルコードレス電話機などがお話し中のとき	お話し中です
ツー…ツー…（空きチャネルがないとき）	ディジタルシステムコードレス接続装置の空きチャネルがないとき	他のディジタルシステムコードレス電話機がディジタルシステムコードレス接続装置のすべてのチャネルを使っています
プププ…（ゾーン切替音）	ディジタルシステムコードレス接続装置間を移動しているとき、または接続装置の切り替えを行っているとき	ディジタルシステムコードレス接続装置などに近づいてください。
プー（約1秒間）（通話休止予告音）	トランシーバモードでお話し中のとき（約3分ごとに約3秒間聞こえます）	この音が聞こえた約20秒後に、約3秒間通話が途切れます
ププ、ププ…（約3秒間）（通話休止中音）	トランシーバモードでお話し中のとき（約3分ごとに聞こえます）	約3秒間通話が途切れます
ツツツツツツ…（接続中音）	電話をかけたとき	相手の方を呼び出すまでの間、聞こえます

●スピーカ口から聞こえる音

音	ディジタルシステムコードレス電話機	音の意味
ピー…ピー…ピー（圏外警報音）	待ち受け中にお話しできる範囲から外れたとき	ディジタルシステムコードレス接続装置などに近づいてください
ピ…ピ…ピ…（電池残量警報音）	電池残量が規定値以下になったとき	充電台に置いて充電してください
ピピ（確認音）	登録操作がうまくできたとき	登録操作が正しく行われました
ピピピピピ（警報音）	登録操作がうまくできなかったとき	登録操作が間違っています
ピピピ…ピピピ…（内線着信音）	内線で呼び出されているとき	内線で呼び出されています
ピピピピピピピピピ…（外線着信音）	外の相手の方から電話がかかってきたとき	電話がかかってきています
ピー…ピー…ピー…ピー…（トランシーバ着信音）	トランシーバモードで呼び出されているとき	トランシーバモードで呼び出されています
ピッ（電源投入確認音）	電源を入れたとき	電源が入りました
ピッ（キータッチトーン）	ボタンを押したとき	ボタンが押されました

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったときは、修理に出す前に以下の点をご確認ください。

●基本的な使いかた

こんなときは	原　因	確認してください	参照ページ
動作しない	電源ボタンを電源が入るまで押していない（5秒以上押しても電源が入らない場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。）	電源ボタンを電源が入るまで押してください（5秒以上押しても電源が入らない場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。）	☛P26
	バッテリ切れになっている	充電してください	☛P27
	電池パックが正しく接続されていない	電池パックを正しく接続してください	☛P26
	ディジタルシステムコードレス接続装置などから離れすぎている	ディジタルシステムコードレス接続装置などに近づいてください	☛P32
	停電のため	故障ではありません	☛P124
電話がかけられない	ディジタルシステムコードレス接続装置などから離れすぎている	ディジタルシステムコードレス接続装置などに近づいてください	☛P32
	モード設定が異なっている	正しいモードに切り替えてください	☛P29
	キーロックが設定されている	キーロックを解除してください	☛P95
	ダイヤルロックが設定されている	ダイヤルロックを解除してください	☛P98
	回線がいっぱいになっている	少し待ってからかけ直してみてください	—
	高速で移動しながら電話をしている	ディジタルシステムコードレス電話機は乗り物などに乗って高速で移動しているときは使用できません 停止してかけ直してみてください	—
電話帳が使えない	電話帳ロックが設定されている	電話帳ロックを解除してください	☛P99
着信音が鳴らない	不在着信転送が設定されている	不在着信転送を解除してください	—
	着信拒否が設定されている	着信拒否を解除してください	—
	着信音量を「OFF」に設定している	着信音量設定を「小」「中」「大」「ステップトーン」のいずれかに切り替えてください	☛P37
	モード設定が異なっている	正しいモードに切り替えてください	☛P29
	電池残量が少なくなっている	充電してください	☛P27
	ディジタルシステムコードレス電話機の電源が入っていない	電源ボタンを電源が入るまで押してください（5秒以上押しても電源が入らない場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。）	☛P26
	ディジタルシステムコードレス接続装置などから離れすぎている	ディジタルシステムコードレス接続装置などに近づいてください	☛P32
	近くに雑音を発生する家電製品などがある	家電製品などから離してください	☛P8
通話が突然切れた	電波が届かないため	電波の届く場所に移動してかけ直してください	☛P32
	電池残量が少なくなった	充電してください	☛P117
	電池が消耗しているため	電池パックを交換してください	☛P115
通話に雑音が入ったり、お話しが途切れる	ディジタルシステムコードレス接続装置などから離れすぎている	ディジタルシステムコードレス接続装置などに近づいてください	☛P32
	電波の弱いところにいる	通話に雑音が入らないところやお話しが途切れないところ（電波の強いところ）に移動してお話しください	☛P120
	近くに雑音を発生する家電製品などがある	家電製品などから離してください	☛P8
	ディジタルシステムコードレス接続装置などとの間に障害物がある	場所を変えてお話ししてみてください	☛P120
相手の声が小さい	受話音量を小さく設定している	受話音量を上げてみてください	☛P34
	受話口に耳がきちんと当たっていない	耳をきちんと受話口に当ててください	—

こんなときは	原　因	確認してください	参照ページ
お話し中の相手の声が大きすぎる、ひずんで聞こえる	受話音量を大きく設定しすぎている	受話音量を下げてみてください	☛P34
無線機の音が混信して聞こえる	近くに無線機などがある	場所を変えてお話ししてみてください	—
着信音が小さい	着信音量を小さく設定している	着信音量を上げてみてください	☛P37
着信音が大きすぎる	着信音量を大きく設定しすぎている	着信音量を下げてみてください	☛P37
充電台に置いても充電ランプが点灯しない	充電台の電源プラグがコンセントから外れている	電源プラグをきちんとコンセントへ差し込んでください	☛P27
	充電台に正しく置かれていない	充電台に正しく置いてください	☛P27
	電池パックが正しく接続されていない	電池パックを正しく接続してください	☛P26
	充電台の電源コードが傷んでいる	電源プラグをコンセントから抜いて当社のサービス取扱所へご相談ください	—
充電ランプが点滅する	充電台に正しく置かれていない	充電台に正しく置いてください	☛P27
	電池パックが正しく接続されていない	電池パックを正しく接続してください	☛P26
	電池が消耗しているため	電池パックを交換してください	☛P115
	充電する環境が5℃〜35℃以外のため	充電時の環境を5℃〜35℃の範囲に調節してください。	☛P27
9時間以上充電しても、すぐに使えなくなる	充電台に正しく置かれていない	正しく充電台に置いてください	☛P27
	電池が消耗しているため	電池パックを交換してください	☛P115
さわるとあたたかい	充電されたため	故障ではありません	☛P27

●トランシーバモード

こんなときは	原　因	確認してください	参照ページ
他のディジタルシステムコードレス電話機を呼び出せない	「トランシーバモード」に設定されていない	両方のディジタルシステムコードレス電話機を「トランシーバモード」に設定してください	☛P29
	呼び出す方と呼び出される方が離れすぎている	見通し距離で約100 m以内に近づいてください	☛P63
	「トランシーバモード」の番号や登録が合っていない	「トランシーバモード」の番号をもう一度登録してください	☛P64

停電になったとき

停電中は、ディジタルシステムコードレス接続装置の電源が切れてしまうため、ディジタルシステムコードレス接続装置のモードでは、ディジタルシステムコードレス電話機を使用することはできません。

●停電になったときは

外の相手の方とお話し中	電話は切れます
保留中	保留中が解除され、電話は切れます
内線通話中	お話しは切れます

索　引

アルファベット

五十音

【ア行】

【カ行】

索　引

【サ行】

【タ行】

【ナ行】

索　引

【ハ行】

【マ行】

【ヤ行】

【ラ行】

【ワ行】

仕　様

■仕　様

	電話機本体	充電台
寸法・質量	48mm（幅）×16mm（奥行）×142mm（高さ）（アンテナおよび突起部を含まず） 約110g（電池パックを含む）	75mm（幅）×93mm（奥行）×56mm（高さ） 約147g（電源コード含む）
使用電源	専用リチウムイオン電池　DC3.7V　1000mAh	AC100V（50/60Hz）
消費電力	約0.5VA	約4VA
連続通話時間	約4.5時間	――
連続待ち受け時間	約320時間	――

- 連続通話時間は常温での算出値です。周囲温度や電池の状態によって変わります。
- 連続待ち受け時間は、自営モードで接続装置からの電波が安定している場所における算出値です。モードが異なる場合や電波の弱い場所、電波の届かない場所では電池の消耗が多いため、表中の数値とは異なります。
- 仕様および外観は、性能改善等により予告なく変更する場合があります。

保守サービスのご案内

■保守サービスのご案内

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	● 修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へお伺いするための費用が不要となります。

●故障に関するお問い合わせ

局番無しの113番（無料）へご連絡ください。

■ 携帯電話・PHSからのお問い合わせ

NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様
お問い合わせ先：0120-000113
受付時間：24時間365日　※17：00～翌日9：00までは、録音にて受付しており順次ご対応いたします。

NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様
お問い合わせ先：0120-444113
受付時間：24時間365日　※一部時間は録音受付による対応となります。

●その他

定額保守サービス料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：

0120-970413

※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間　9：00～17：00
※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：

0120-248995

受付時間　9：00～17：00
※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

●補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

電池パック（A1-DCL-デンチパック-<1>）は、環境保全のため、交換の際は当社のサービス取扱所へご持参いただくか、当社販売担当者にお渡しいただくなど、リサイクルの推進にご協力をお願いします。

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

環境を考えて大豆インクを使用しています

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ： http://web116.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：

0120-970413

※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間　9：00～17：00
※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：

0120-248995

受付時間　9：00～17：00
※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

本3358-1（2015.4）
A1-DCL-PSトリセツ-〈1〉